
仙 台 市

地 域 経 済 動 向 調 査 報 告

(40)

平成 20 年 10 月 ~ 12 月 期 (今 期) 実 績
平成 21 年 1 月 ~ 3 月 期 (来 期) 見 通 し

平成 2 1 年 1 月

仙 台 市 経 済 局

目次

1 . 調査の概要.....	1
2 . 調査結果の総括.....	2
< 仙台市企業経営動向調査結果 (D I) の総括表 >	2
< 業況判断 (事業所の業況) D I の動向 > 仙台市における業種別業況判断の動向.....	3
< 業況判断 (事業所の業況) D I の動向 > 仙台市・東北・全国の業況判断 D I の比較.....	4
3 . 企業経営動向調査結果 (D I) の概要.....	5
設問 1 - 1 売上高.....	5
設問 1 - 2 販売数量.....	6
設問 1 - 3 経常利益.....	7
設問 2 - 1 製 (商) 品単価.....	8
設問 2 - 2 原材料 (仕入) 価格.....	9
設問 3 - 1 製 (商) 品在庫.....	10
設問 3 - 2 労働力.....	11
設問 3 - 3 生産・営業用設備.....	12
設問 3 - 4 資金繰り.....	13
設問 4 - 1 正規従業員数.....	14
設問 4 - 2 非正規従業員数.....	15
設問 4 - 3 生産・営業用設備 (予定)	16
設問 5 - 1 事業所の業況 (業況の良し悪し)	17
設問 6 1 事業所の業況 (業況の変化)	18
設問 7 1 経営上の課題.....	19
4 . 業界ヒアリング調査結果.....	20
資料編.....	27
(1) 企業経営動向調査結果 (D I) の詳細	
規模別 D I	29
業種別 D I	34
経営の課題.....	48
(2) 東北、全国の調査結果	
東北.....	49
全国.....	51
(3) 主要経済指標	
主要経済指標グラフ.....	52
主要経済指標一覧表.....	56
(4) 調査票.....	62
(5) 調査票の変更について.....	65
(6) 過去の調査結果.....	66

調査票の変更について

第 38 回調査 (平成 20 年 6 月調査) より、調査票を変更した。このため、第 37 回以前の調査の結果と第 38 回調査以降の結果は連続しない。調査票の主な変更点については 65 ページに、過去の調査結果については 66 ページ以降に掲載した。

企業経営動向調査結果（DI）の用語について

DI について

DI とは、Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略であり、「良い/悪い」「増加/減少」などの定性的な判断を指標として集計加工した指数。分析にあたっては、DI 値のみではなく、回答の構成比、前回調査からの DI 値の変化に留意する必要がある。

本調査における DI の算出方法

売上高、販売数量、経常利益「増加」と答えた事業所の割合 - 「減少」と答えた事業所の割合

DI 値が大きいほど状況は良いということになる。

製（商）品単価、原材料（仕入）価格「上昇」と答えた事業所の割合 - 「下降」と答えた事業所の割合

DI 値が大きいほど、価格の上昇感が強いということになる。

製（商）品在庫、労働力、生産・営業用設備「過剰・やや過剰」と答えた事業所の割合 - 「不足・やや不足」と答えた事業所の割合

DI 値が大きいほど、過剰感が強いということになる。

資金繰り「楽である・やや楽である」と答えた事業所の割合 - 「苦しい・やや苦しい」と答えた事業所の割合

DI 値が大きいほど資金繰りが容易ということになる。

正規従業員数、非正規従業員数「増員」と答えた事業所の割合 - 「減員」と答えた事業所の割合

DI 値が大きいほど増員予定の事業所が減員予定の事業所に比べ、多いということになる。

生産・営業用設備（予定）「増強」と答えた事業所の割合 - 「縮小」と答えた事業所の割合

DI 値が大きいほど増強予定の事業所が縮小予定の事業所に比べ、多いということになる。

事業所の業況、業況の変化「良い、好転」と答えた事業所の割合 - 「悪い、悪化」と答えた事業所の割合

DI 値が大きいほど業況判断は良いということになる。

- DI 値の算出においては、事業所規模の大小に基づくウェイト付けは行っておらず、一社一票の単純平均の形をとっている。

今期 = 平成 20 年 10 月 ~ 12 月期

来期 = 平成 21 年 1 月 ~ 3 月期

前期比 = 前 3 ヶ月間との比較

前年同期比 = 1 年前の同期間との比較

事業所の規模

中小企業基本法の基準を参考に、業種毎に、従業者数をもとに、事業所の規模を下表のように区分している。

業種	製造業、建設業、運輸業、 不動産業	卸売業、 サービス業（個人向け）、 サービス業（法人向け・ほか）	小売業、 飲食店・宿泊業
大規模事業所	300 人以上	100 人以上	50 人以上
中規模事業所	20 人以上 300 人未満	5 人以上 100 人未満	5 人以上 50 人未満
小規模事業所	20 人未満	5 人未満	5 人未満

1. 調査の概要

(1) 調査目的

仙台市の経済動向を把握し、適切かつ効果的な施策を推進するための基礎的な資料とするため、仙台市が調査を実施する。

また、調査結果については、各関係機関に対し、本市経済の動向を把握する基礎資料として提供する。

(2) 調査時期

本調査は、企業経営動向調査、業界ヒアリング調査、主要経済指標の動向調査により構成しており、四半期毎に実施している。今回の調査は平成 20 年 12 月に実施した。

(3) 調査方法

企業経営動向調査 (D I)

事業所・企業統計調査対象事業所名簿から、業種や規模別に無作為に抽出した仙台市内の事業所 1,000 社に対して、郵送によりアンケート調査を実施した。

(調査期間：平成 20 年 11 月 25 日～12 月 8 日)

業種	有効回収数 (単位:件)				
	従業員規模	全規模計	大規模	中規模	小規模
全業種計 (有効回収率: %)		632 63.2	115 57.5	275 68.8	242 60.5
製造業		123	4	54	65
非製造業		509	111	221	177
建設業		76	2	40	34
運輸業		65	0	36	29
卸売業		72	20	35	17
小売業		63	20	23	20
飲食店・宿泊業		53	18	23	12
不動産業		59	0	18	41
サービス業(個人向け)		61	26	22	13
サービス業(法人向け・ほか)		60	25	24	11

業界ヒアリング調査

仙台市内の主な業種毎の事業所 30 社に対し、景気動向の現状や、各事業所における課題等について仙台市職員及び(財)仙台市産業振興事業団職員が聞き取りを行った。調査は、平成 20 年 12 月 8 日～平成 21 年 1 月 14 日にかけて実施した。

主要経済指標の動向調査

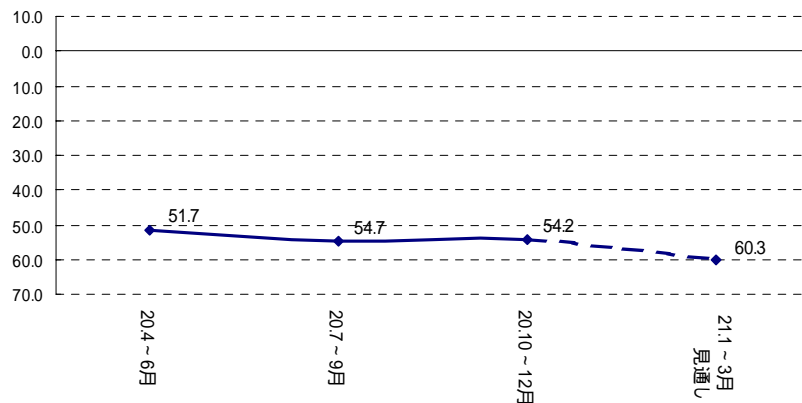
仙台市の産業関連資料、国、県、金融機関等の経済関係資料を集約し、本市域の経済活動の推移をみるための資料として、グラフと一覧表にまとめた。

2. 調査結果の総括

今期の市内事業所の業況判断は、前期に比べほぼ横ばいで推移した。業種別では、建設業、運輸業、飲食店・宿泊業、サービス業（個人向け）で上昇し、他の業種では下降した。

来期は、下降する見通しであり、業種別では小売業（横ばい）を除いた全ての業種で下降するものと見込まれる。

業況判断(事業所の業況)DIの推移



< 仙台市企業経営動向調査結果 (DI) の総括表 >


調査項目 (DI)	今期実績 (前回調査実績との比較)	来期見通し (今期実績との比較)
売上高	下降した	下降する見通し
販売数量	下降した	下降する見通し
経常利益	下降した	下降する見通し
製(商)品単価	下降した	下降する見通し
原材料(仕入)価格*	下降した	下降する見通し
製(商)品在庫*	ほぼ横ばい	
労働力*	上昇した	
生産・営業用設備*	上昇した	
資金繰り	下降した	
正規従業員数	下降した	
非正規従業員数	下降した	
生産・営業用設備(予定)	ほぼ横ばい	
事業所の業況 (業況の良し悪し)	ほぼ横ばい	下降する見通し
事業所の業況 (業況の変化)	下降した	

上昇 横ばい 下降
 DI = 「上昇」(「増加」「過剰」「良い」)と答えた事業所の割合(%)
 - 「下降」(「減少」「不足」「悪い」)と答えた事業所の割合(%)
 表中の今期はH20年10～12月、来期はH21年1～3月をあらわす。
 表中の*印は、DIがマイナス値である方が、好況、好転を示す。
 調査結果の詳細についてはP5～P19、P27～P48参照

＜業況判断（事業所の業況）DIの動向＞

～ 仙台市企業経営動向調査結果（DI）より ～

仙台市における業種別業況判断（DI）の動向

業種	状 況	今期実績	来期見通し
製造業	今期のDI値は 59.9と、前期に比べて4.7ポイント下降した。来期見通しでは 62.0と、今期に比べて2.1ポイント下降する見通しである。		
建設業	今期のDI値は 47.3と、前期に比べて13.5ポイント上昇した。来期見通しでは 65.8と、今期に比べて18.5ポイント下降する見通しである。		
運輸業	今期のDI値は 62.9と、前期に比べて1.5ポイント上昇した。来期見通しでは 71.4と、今期に比べて8.5ポイント下降する見通しである。		
卸売業	今期のDI値は 55.5と、前期に比べて10.3ポイント下降した。来期見通しでは 62.0と、今期に比べて6.5ポイント下降する見通しである。		
小売業	今期のDI値は 54.0と、前期に比べて3.2ポイント下降した。来期見通しでは 53.9と、今期に比べて0.1ポイント上昇し、ほぼ変化はない見通しである。		
飲食店・宿泊業	今期のDI値は 68.0と、前期に比べて11.6ポイント上昇した。来期見通しでは 69.8と、今期に比べて1.8ポイント下降する見通しである。		
不動産業	今期のDI値は 42.1と、前期に比べて3.5ポイント下降した。来期見通しでは 50.8と、今期に比べて8.7ポイント下降する見通しである。		
サービス業 (個人向け)	今期のDI値は 40.0と、前期に比べて24.0ポイント上昇した。来期見通しでは 47.4と、今期に比べて7.4ポイント下降する見通しである。		
サービス業 (法人向け・ほか)	今期のDI値は 55.0と、前期に比べて18.2ポイント下降した。来期見通しでは 56.7と、今期に比べて1.7ポイント下降する見通しである。		



上 昇



横 ば い



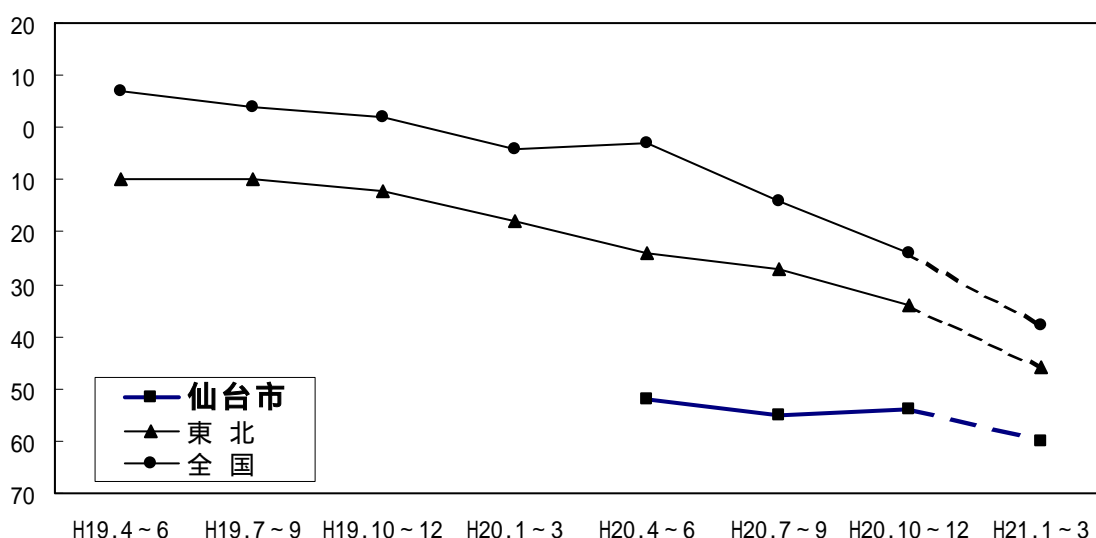
下 降

DI = 「良い」と答えた事業所の割合(%) - 「悪い」と答えた事業所の割合(%)
 表中の前期はH20年7～9月、今期はH20年10～12月、来期はH21年1～3月をあらわす。
 本調査における業況判断（事業所の業況）DIとは、事業所の業況（業況の良し悪し）DIをいう。
 調査結果の詳細については資料編のP46参照

仙台市、東北、全国の業況判断DIの比較

今期（平成20年10～12月）における仙台市の業況判断DIは、前期（平成20年7～9月）に比べ、ほぼ横ばいである。来期（平成21年1～3月）の見通しは、仙台市、東北、全国ともに下降すると捉えられている。

仙台市、東北、全国の業況判断DI比較（全業種）



調査票、設問内容を変更したため、仙台市においては、過去のデータと連続しない。H21.1～3については見通し

全国地域別の業況判断DI

全業種	地域	19/6月	19/9月	19/12月	20/3月	20/6月	20/9月	20/12月	21/3月 予測	
										20/9月比 ポイント差
全業種	仙台市					52	55	54	1	60
	東北	10	10	12	18	24	27	34	7	46
	全国	7	4	2	4	7	14	24	10	38

DI = 「良い」と答えた事業所の割合(%) - 「悪い」と答えた事業所の割合(%)

値が小さいほど、業況判断は悪いということになる。 はマイナスを表す。

仙台市については本調査における**事業所の業況（業況の良し悪し）DI値**（ P18参照）

東北については、日銀仙台支店発表の日銀全国企業短観調査（東北地区六県）におけるDI値。

全国については、日銀全国企業短観調査（平成20年12月）におけるDI値。

日銀全国企業短観調査の調査対象は、資本金2千万円以上の民間企業（金融機関を除く）であり、本調査の対象とは異なる。

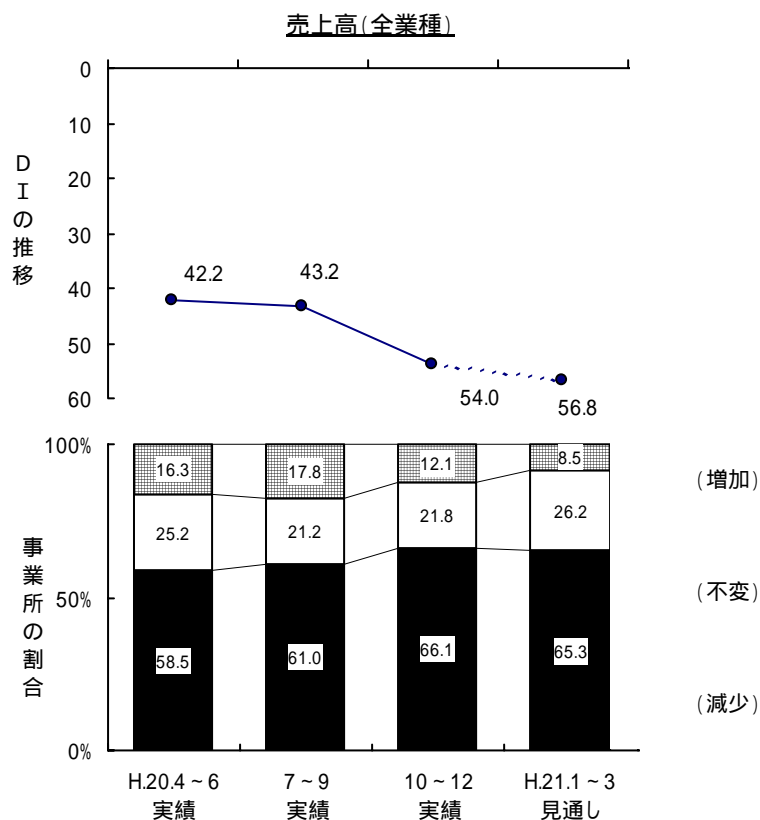
3. 企業経営動向調査結果（D I）の概要

用語の説明については目次裏参照

設問 1 - 1 売上高（前年同期比）

今期の売上高のD Iは 54.0（前期比 10.8）と、下降した。来期の売上高のD Iはやや下降する見通しである。今期の売上高のD Iを業種別で見ると、建設業、サービス業（個人向け）では上昇し、これら以外の業種では下降した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP29、P34 参照



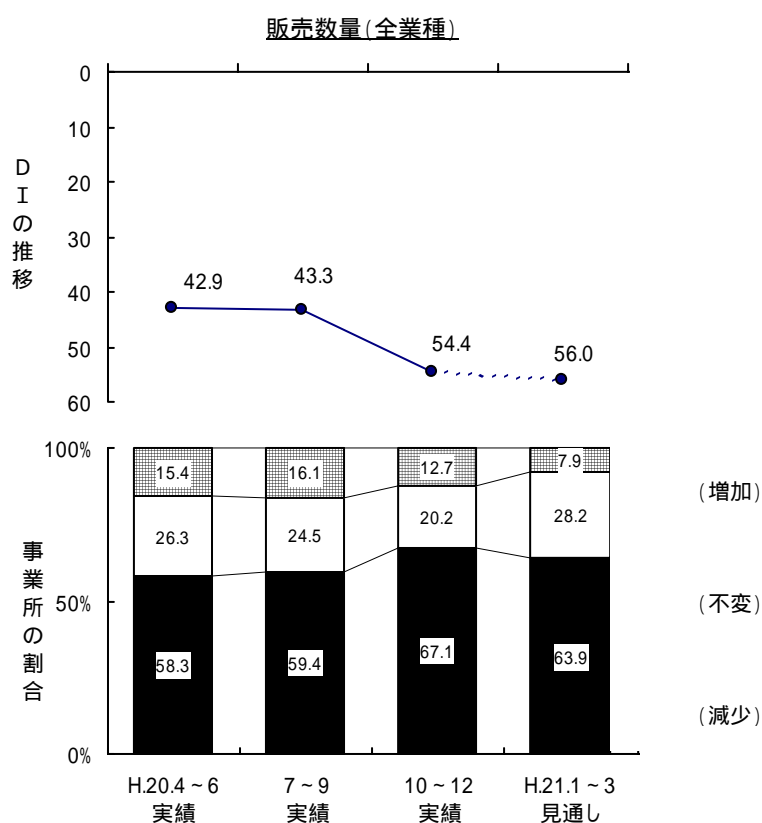
今期の売上高のD I（「増加」と答えた事業所の割合 - 「減少」と答えた事業所の割合）は、今期実績で 54.0 と、平成 20 年 9 月調査（以下、前回調査）時の 7～9 月期（以下、前期実績）D I の 43.2 と比べ下降した。前回調査時の平成 20 年 10～12 月期見通し（以下、今期見通し）D I が 39.1 であったことから、売上高のD I は予想に反し下降した。

来期の見通しは、D I が 56.8 とやや下降する見通しである。

設問 1 - 2 販売数量（前年同期比）

今期の販売数量のD Iは 54.4（前期比 11.1）と、下降した。来期の販売数量のD Iはやや下降する見通しである。今期の販売数量のD Iを業種別で見ると、建設業、小売業では上昇し、これら以外の業種では下降した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP29、P35 参照



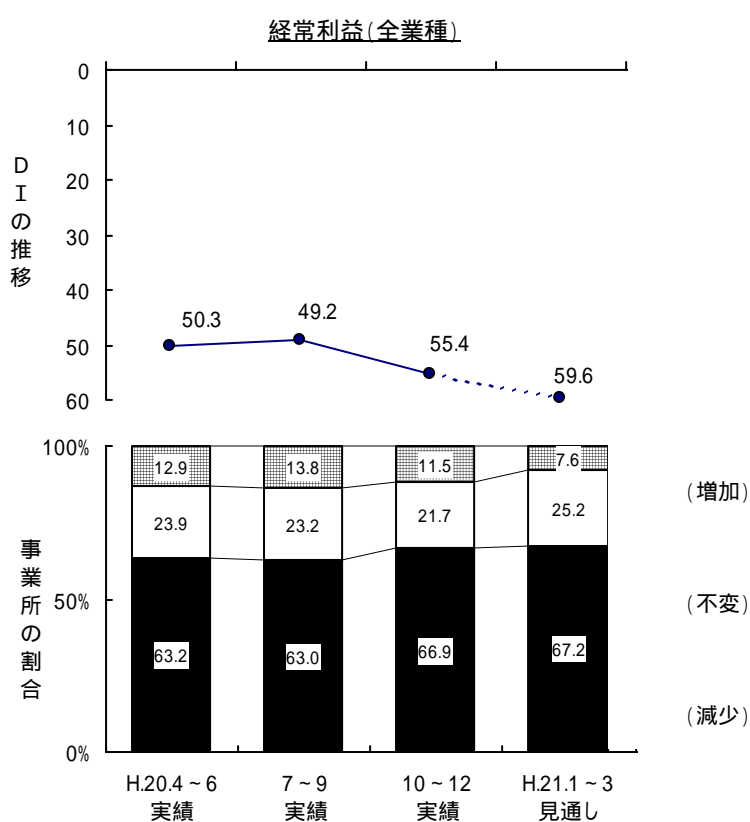
今期の販売数量のD I（「増加」と答えた事業所の割合 - 「減少」と答えた事業所の割合）は、今期実績で 54.4 と、前期実績D Iの 43.3 と比べ、下降した。今期見通しD Iが 38.0であったことから、販売数量のD Iは予想に反し下降した。

来期の見通しは、D Iが 56.0 とやや下降する見通しである。

設問 1 - 3 経常利益（前年同期比）

今期の経常利益のD Iは 55.4（前期比 6.2）と、下降した。来期の経常利益のD Iはやや下降する見通しである。今期の経常利益のD Iを業種別で見ると、建設業、小売業、飲食店・宿泊業、サービス業（個人向け）では上昇し、これら以外の業種では下降した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP29、P36 参照



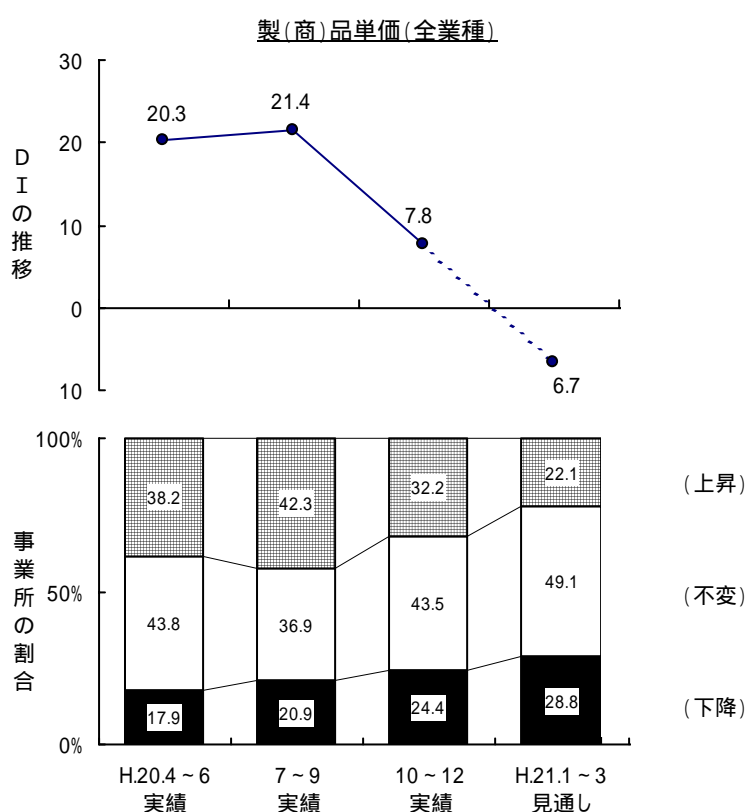
今期の経常利益のD I（「増加」と答えた事業所の割合 - 「減少」と答えた事業所の割合）は、今期実績で 55.4 と、前期実績D Iの 49.2 と比べ、下降した。今期見通しD Iが 47.4 であったことから、経常利益のD Iは予想に反し下降した。

来期の見通しは、D Iが 59.6 とやや下降する見通しである。

設問 2 - 1 製(商)品単価(前期比)

今期の製(商)品単価のD Iは7.8(前期比 13.6)と、下降した。来期の製(商)品単価のD Iは下降する見通しである。今期の製(商)品単価のD Iを業種別で見ると、飲食店・宿泊業では上昇し、これら以外の業種では下降した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP30、P37 参照



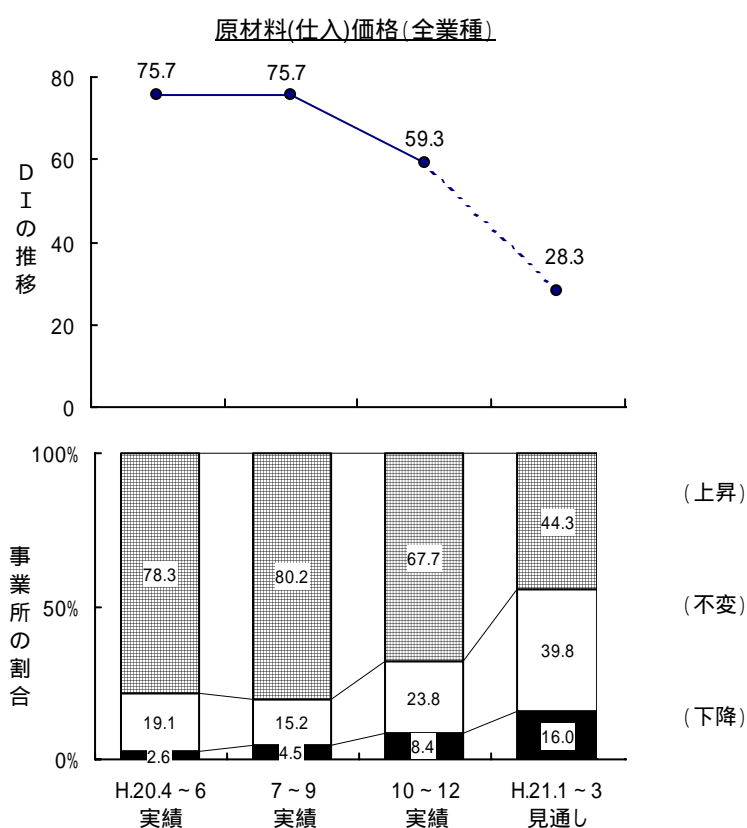
今期の製(商)品単価のD I(「上昇」と答えた事業所の割合 - 「下降」と答えた事業所の割合)は、今期実績で7.8と、前期実績D Iの21.4と比べ、下降した。今期見通しD Iが20.5であったことから、製(商)品単価のD Iは予想に反し下降した。

来期の見通しは、D Iが6.7と下降する見通しである。

設問 2 - 2 原材料(仕入)価格(前期比)

今期の原材料(仕入)価格のD Iは59.3(前期比 16.4)と、下降した。来期の原材料(仕入)価格のD Iは大幅に下降する見通しである。今期の原材料(仕入)価格のD Iを業種別で見ると、サービス業(法人向け・ほか)では上昇し、これら以外の業種では下降した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP30、P38 参照

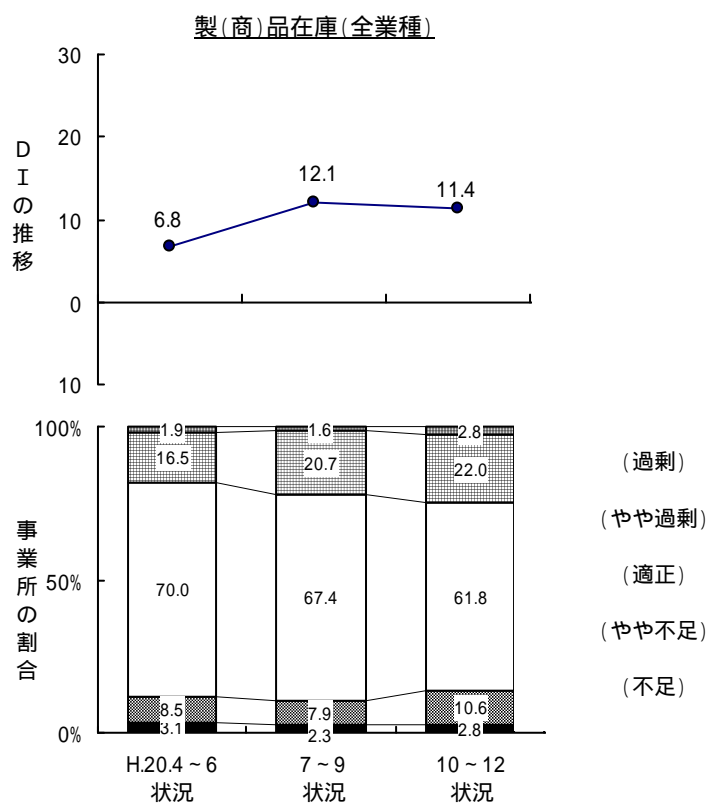


今期の原材料(仕入)価格のD I(「上昇」と答えた事業所の割合 - 「下降」と答えた事業所の割合)は、今期実績で59.3と、前期実績D Iの75.7と比べ下降した。今期見通しD Iが66.9であったことから、原材料(仕入)価格のD Iは予想よりも下降した。来期の見通しは、D Iが28.3と大幅に下降する見通しである。

設問 3 - 1 製(商)品在庫 (今期の状況)

製(商)品在庫のD Iは11.4 (前期比 0.7)と、ほぼ横ばいであった。業種別で見ると、製造業、建設業、小売業では上昇し、サービス業(個人向け)ではほぼ横ばい、これら以外の業種では下降した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP30、P39 参照

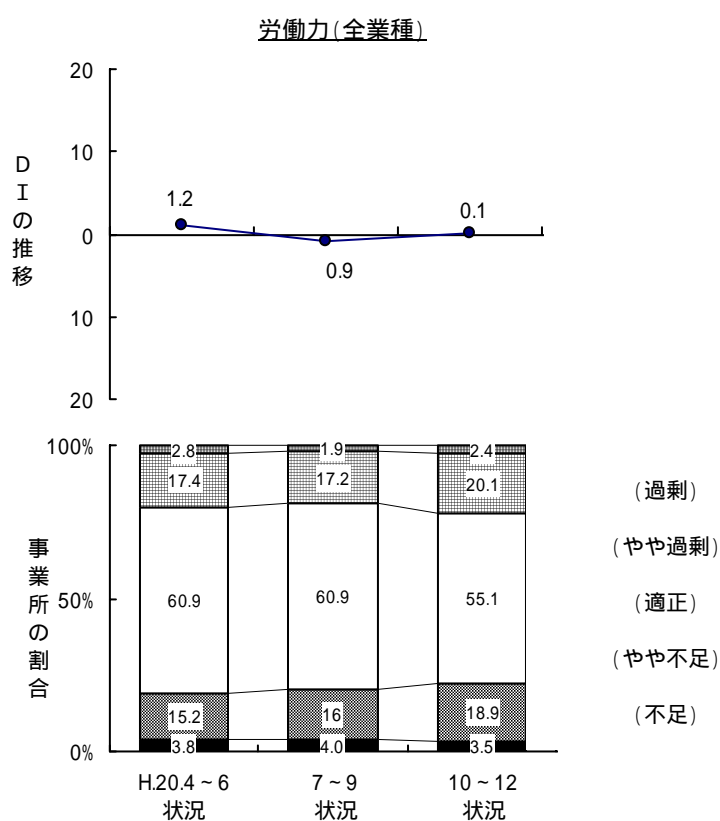


製(商)品在庫のD I (『過剰』(「過剰」+「やや過剰」)と答えた事業所の割合 - 『不足』(「不足」+「やや不足」)と答えた事業所の割合)は11.4と、前期実績D Iの12.1と比べほぼ横ばいであった。

設問 3 - 2 労働力（今期の状況）

労働力のD Iは0.1（前期比+1.0）と、やや上昇した。業種別で見ると、建設業、卸売業、サービス業（個人向け）、サービス業（法人向け・ほか）では下降し、これら以外の業種では上昇した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP31、P40 参照

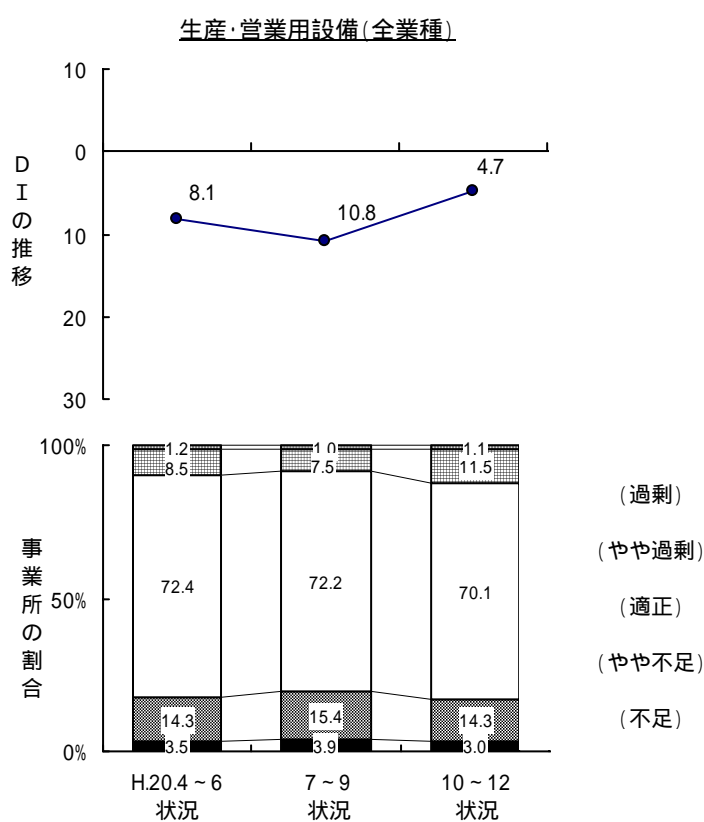


労働力のD I（『過剰』（過剰+やや過剰）と答えた事業所の割合 - 『不足』（不足+やや不足）と答えた事業所の割合）は0.1と、前期実績D Iの 0.9と比べやや上昇した。

設問 3 - 3 生産・営業用設備（今期の状況）

生産・営業用設備のD Iは 4.7（前期比+6.1）と、上昇した。業種別で見ると、建設業では下降し、卸売業でほぼ横ばい、これら以外の業種では上昇した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP31、P41 参照

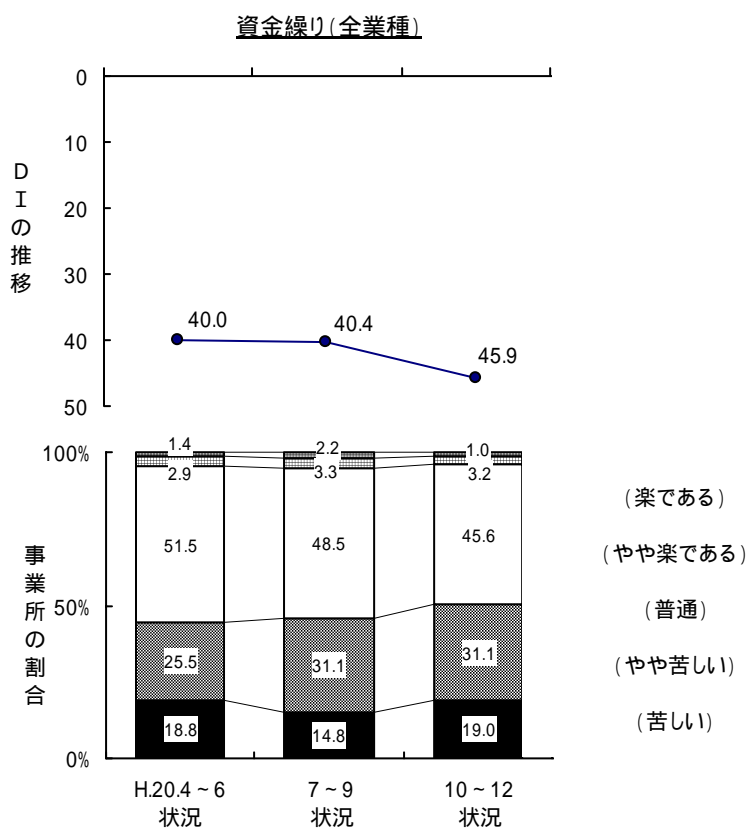


生産・営業用設備のD I（『過剰』（過剰+やや過剰）と答えた事業所の割合 - 『不足』（不足+やや不足）と答えた事業所の割合）は 4.7 と、前期実績D Iの 10.8 と比べ上昇した。

設問 3 - 4 資金繰り（今期の状況）

資金繰りのD Iは 45.9(前期比 5.5)と、下降した。業種別で見ると、建設業、飲食店・宿泊業では上昇し、運輸業でほぼ横ばい、これら以外の業種では下降した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP31、P42 参照

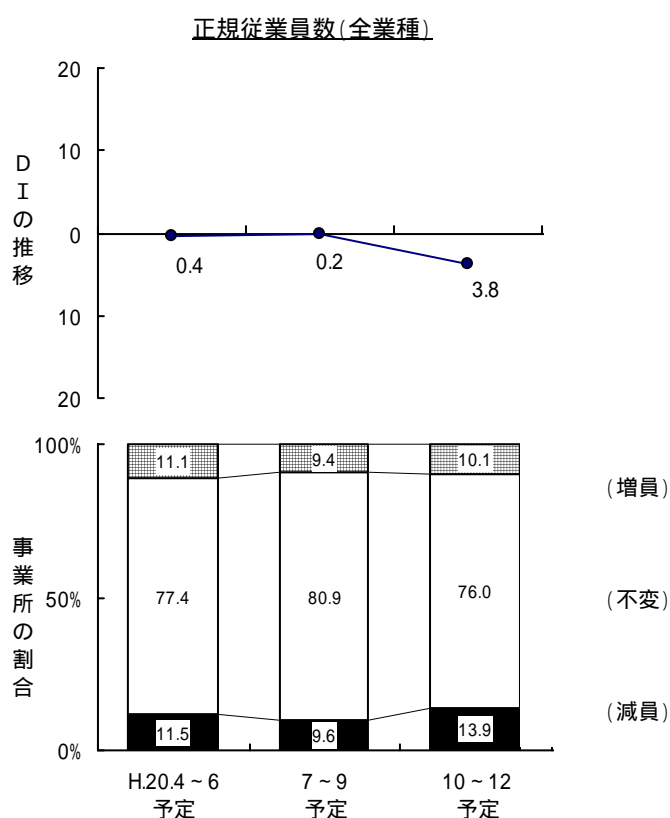


資金繰りのD I (『楽である』(楽である+やや楽である)と答えた事業所の割合 - 『苦しい』(苦しい+やや苦しい)と答えた事業所の割合)は 45.9 と、前期実績D Iの 40.4 と比べ下降した。

設問 4 - 1 正規従業員数（今後の予定）

正規従業員数のD Iは 3.8（前期比 3.6）と、やや下降した。業種別で見ると、建設業、サービス業（個人向け）では上昇し、製造業でほぼ横ばい、これら以外の業種では下降した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP32、P43 参照

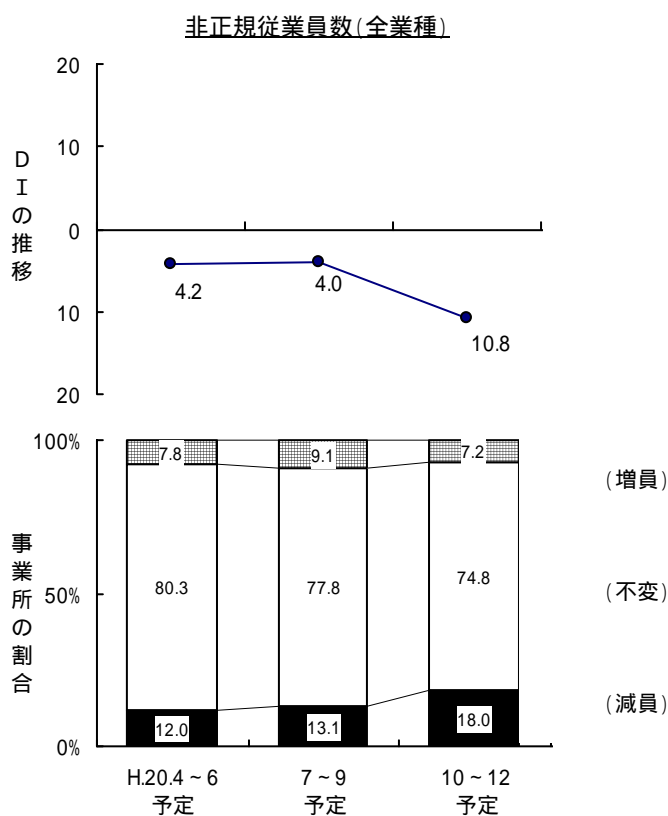


正規従業員数のD I（「増員する」と答えた事業所の割合 - 「減員する」と答えた事業所の割合）は 3.8 と、前期実績D Iの 0.2 と比べやや下降した。

設問 4 - 2 非正規従業員数（今後の予定）

非正規従業員数のD Iは 10.8（前期比 6.8）と、下降した。業種別で見ると、建設業、運輸業、サービス業（個人向け）では上昇し、これら以外の業種では下降した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP32、P44 参照

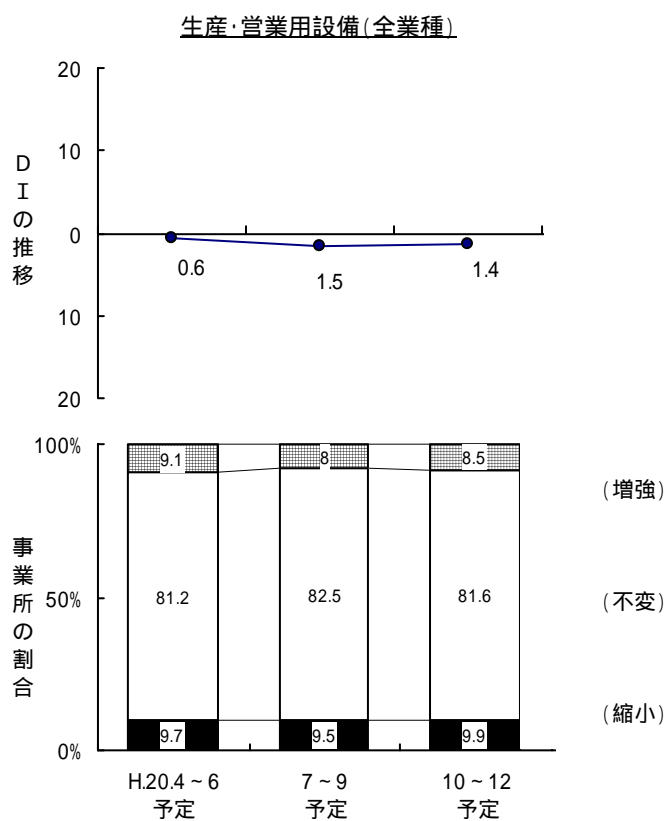


非正規従業員数のD I（「増員する」と答えた事業所の割合 - 「減員する」と答えた事業所の割合）は 10.8 と、前期実績D Iの 4.0 と比べ下降した。

設問 4 - 3 生産・営業用設備（今後の予定）

生産・営業用設備（予定）のD Iは 1.4（前期比+0.1）と、ほぼ横ばいであった。業種別で見ると、卸売業、飲食店・宿泊業、不動産業、サービス業（法人向け・ほか）では下降し、これら以外の業種では上昇した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP32、P45 参照

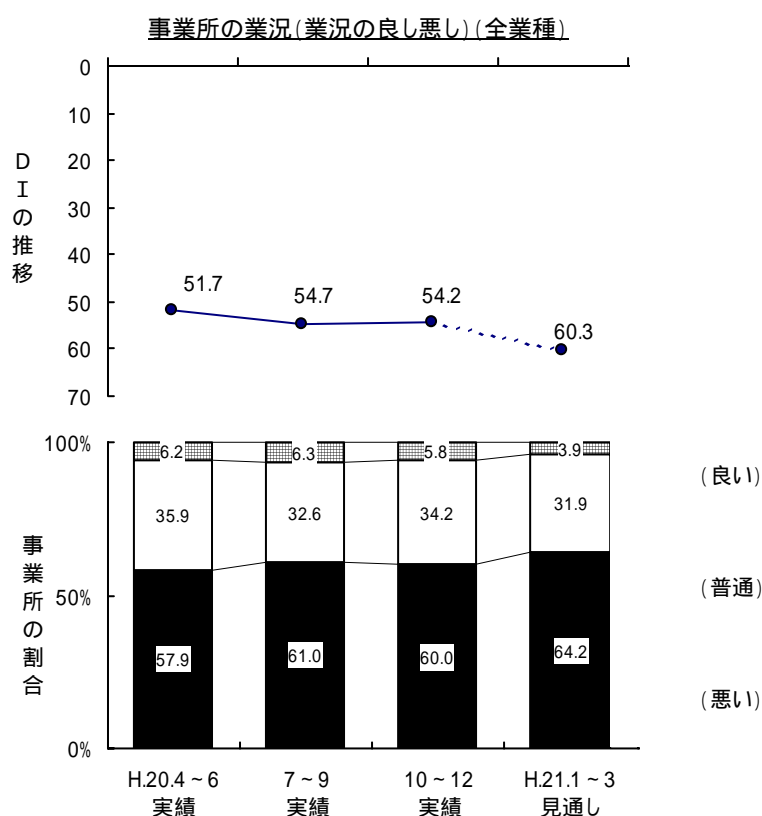


生産営業用設備（予定）のD I（「増強する」と答えた事業所の割合 - 「縮小する」と答えた事業所の割合）は 1.4 と、前期実績D Iの 1.5 と比べほぼ横ばいであった。

設問 5 - 1 事業所の業況（業況の良し悪し）

今期の事業所の業況（業況の良し悪し）のD Iは 54.2（前期比+0.5）と、ほぼ横ばいであった。来期の事業所の業況（業況の良し悪し）のD Iは、下降する見通しである。今期の事業所の業況（業況の良し悪し）のD Iを業種別で見ると、建設業、運輸業、飲食店・宿泊業、サービス業（個人向け）では上昇し、これら以外の業種では下降した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP33、P46 参照



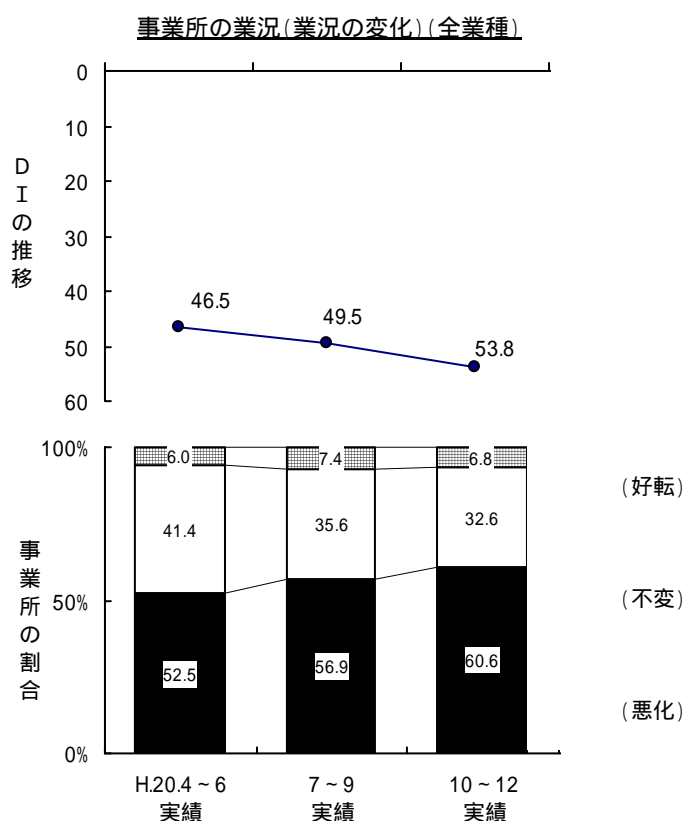
今期の事業所の業況（業況の良し悪し）のD I（「良い」と答えた事業所の割合 - 「悪い」と答えた事業所の割合）は、今期実績で 54.2と、前期実績D Iの 54.7と比べほぼ横ばいであった。今期見通しD Iが 55.5であったことから、事業所の業況（業況の良し悪し）のD Iは、予想よりもやや上昇した。

来期の見通しは、D Iが 60.3と下降する見通しである。

設問 6 - 1 事業所の業況（業況の変化）（前年同期比）

事業所の業況（業況の変化）のD Iは 53.8（前期比 4.3）と、やや下降した。業種別で見ると、飲食店・宿泊業、サービス業（個人向け）では上昇し、建設業でほぼ横ばい、これら以外の業種では下降した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP33、P47 参照

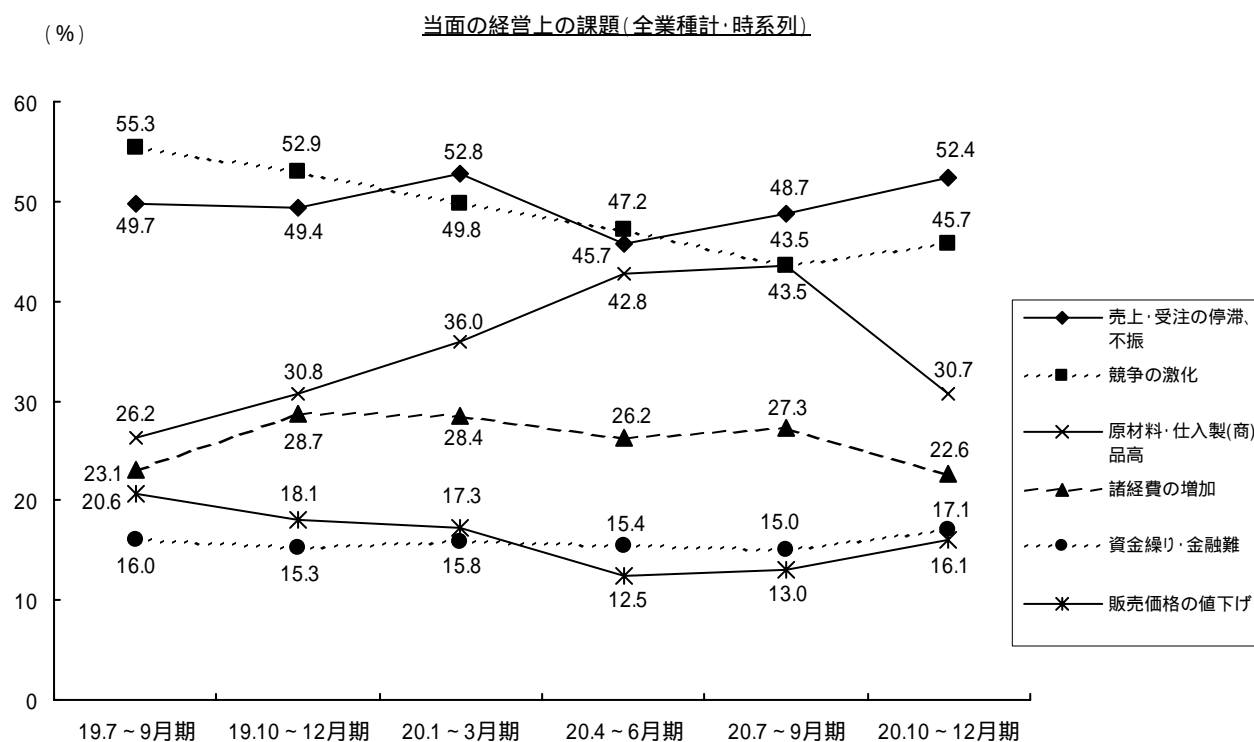


事業所の業況（業況の変化）のD I（「好転した」と答えた事業所の割合 - 「悪化した」と答えた事業所の割合）は 53.8 と、前期実績D Iの 49.5 と比べやや下降した。

設問 7 - 1 経営上の課題

経営上の課題としては、「売上・受注の停滞、不振」、「競争の激化」が 5 割前後の事業所に挙げられている。

規模別、業種別 D I の詳細については、それぞれ P48 参照



当面の経営上の課題を 3 つまで選んでもらったところ、前期同様「売上・受注の停滞・不振 (52.4%)」、「競争の激化 (45.7%)」の上位 2 つを 5 割前後の事業所が挙げているが、「原材料・仕入製(商)品高 (30.7%)」は減少し、ほぼ 3 割となっている。

以下、「諸経費の増加 (22.6%)」、「資金繰り・金融難 (17.1%)」、「販売価格の値下げ (16.1%)」と続いている。

なお、「原材料・仕入製(商)品高」については、7 期ぶりに減少に転じた。

4. 業界ヒアリング調査結果

調査期間：平成 20 年 12 月 8 日～平成 21 年 1 月 14 日
調査対象：仙台市内の主な事業所 30 社
調査方法：仙台市職員及び(財)仙台市産業振興
事業団職員の面接による聞き取り

[製造業]

製造業の業況判断（業況の良し悪し）DI は、平成 20 年 7 月～9 月期実績（以下、前期実績）の 55.2 から、平成 20 年 10 月～12 月期実績（以下、今期実績）は 59.9 と悪化した。売上高 DI、販売数量 DI、経常利益 DI は下降し悪化した。製（商）品単価 DI は下降し悪化した。原材料（仕入）価格 DI は下降し改善した。製（商）品在庫 DI、労働力 DI、生産・営業用設備 DI は上昇した。資金繰り DI は下降した。正規従業員数 DI は横ばい、非正規従業員数 DI は下降した。生産・営業用設備（予定）DI は上昇した。事業所の業況（業況の変化）DI は下降し悪化した。

製鋼・製鋼圧延業 形鋼・棒鋼・線材の製造販売等を行うこの事業所では、業況は悪いと感じている。今期は、9 月以降の金融不況前の生産分があるため、売上げは変化ないが、来期は売上げが確実に減少する見込みである。自動車向けの部品も生産しており、自動車メーカーの減産が販売減に直接影響している。業況悪化により人件費の削減も課題となっているが、雇用削減は行わず、各種手当での削減等を実施することで、雇用を守るという方針である。

印刷業 チラシ、パンフレット等の一般印刷、カレンダー等のセールスプロモーション商品の印刷を行うこの事業所では、業況は悪いと捉えている。原油高、材料高の影響により、紙類、インク類などすべての物資で価格が上昇したが、価格転嫁することができず、同業者での価格の叩き合いとなっている。パソコンの普及に伴い、自社で印刷を行う企業、自治体が増加しており、業界全体がダメージを受けている。一方で、最近では人件費抑制のため事務職員を減らしており、資料作成などの受注が増えている面もあるので、こうした面が業務拡大のヒントになるのではないかと考えている。また、金融機関からの貸し渋りがあり、資金繰りに苦慮しており、国の早急な追加経済対策が実施されないと息切れを起してしまうのではないかと感じている。

建設用・建築用金属製品製造業 地下タンク、地上タンクの工事、空気調整機の撤去・取付等を行うこの事業所では、業況は悪いと感じている。例年年末が繁忙期であり、受注が多くある傾向にあり、今年も変化はない見込みである。原油価格が下落しても鉄鋼資源は下落せず、高止まりの状況にあり、原材料価格は高止まりで推移するのではないかと考えている。顧客との個別交渉により、原材料価格の値上がり分は価格に転嫁している。資金繰りは厳しいものの、身の丈にあった経営をすることで、金融機関からの借り入れは行わずに経営を続ける考えである。

陶磁器・同関連製品製造業 半導体製造装置などの製造を行っているこの事業所では、業況は悪くなっていると感じている。9 月より毎月 1 割程度売上げが減少しており、3 月まで見通しが全くたたない状況である。原料単価は上昇しているものの、製品価格には転嫁できない状況にある。仕事量が減少しているため、人材が過剰気味にはあるが、残業の減少やワークシェアにより、人員の削減は行わずに対応する考えである。

金属加工機械製造業 生産機械の部品、金型部品、治工具の受注生産を行うこの事業所では、業況は悪いと感じている。この事業所では、昨年 9 月頃より急に受注が落ち始め、4 割程度減少した。回復までは少なくとも 1 年以上かかるのではないかと見ている。長期的には社員を増員したいという思いはあるものの、景気の回復まで様子を見る考えである。

発電用・送電用・配電用・産業用電気機械器具製造業 PC・OA機器、産業機械等向けファンモーターなどを製造しているこの事業所では、業況は悪いと感じている。受注が昨年9月以降6割程度まで減少しており、在庫がやや過剰になっている。さらに今後3ヶ月間で3割程度にまで減少するのではないかと見込んでいる。設備投資は、これまで実施していたものの、今後は控える方向である。このような中、この事業所では不景気の時期だからこそ、技術開発等に取り組む考えである。

[建設業]

建設業の業況判断(業況の良し悪し)DIは、前期実績の60.8から今期実績は47.3と改善した。売上高DI、販売数量DI、経常利益DIは上昇し改善した。製(商)品単価DIは下降し悪化した。原材料(仕入)価格DIは下降し改善した。製(商)品在庫DIは上昇した。労働力DI、生産・営業用設備DIは下降した。資金繰りDIは上昇し改善した。正規従業員数DI、非正規従業員数DI、生産・営業用設備(予定)DIは上昇した。事業所の業況(業況の変化)DIは横ばいであった。

その他の職別工事業 公共工事や大型工事の外壁タイル貼り付けを専門とするこの事業所では、業況は悪いと感じている。一昨年までは受注があったものの、昨年の9月以降、サブプライムローン問題の影響により、受注が減少している。公共工事の絶対数が少ない上、低価格競争が進んでいる。技術者の人件費など、削減できない部分が発注価格に反映されていないと感じることが多くあり、現場の従業員への給与を支払うと会社の一般管理費に回す分が残らないというのが現状である。受注がない時期にも現場の従業員への給与は支払わなければならないため、資金繰りは大変忙しく、苦しい状況である。

とび・土木・コンクリート事業 基礎整備のための山留め工事の一部を専門に行うこの事業所では、今期の業況は良いと捉えている。これは、今期は公共工事の受注があったためであり、来期は受注がなく、悪いと見通している。公共工事全体が減少する中、仕事のシェアを拡大するため、数年前より、東北で専門に行う事業所が少ない現在の職種に特化し、技術の裏づけを持ち、売り込むことで受注を増加させることができるよう力を入れてきた。労働力に見合った受注をしているため、労働力等は適正である。今後の見通しは不明であるが、特化した技術をもって、全国へ営業活動を行う予定である。

[運輸業]

運輸業の業況判断(業況の良し悪し)DIは、前期実績の64.4から今期実績は62.9と改善した。売上高DI、販売数量DI、経常利益DIは下降し悪化した。製(商)品単価DIは下降し悪化した。原材料(仕入)価格DIは下降し改善した。製(商)品在庫DIは下降した。労働力DIは上昇した。生産・営業用設備DIは上昇した。資金繰りDIは横ばいであった。正規従業員数DIは下降した。非正規従業員数DI、生産・営業用設備(予定)DIは上昇した。業況(業況の変化)DIは下降し悪化した。

倉庫業 輸入物にかかる保税蔵置場を営むこの事業所では、業況は普通であると感じている。昨年同期と比較すると売上げは減少した。これは、昨年に商社との突発的な取引があったため、売上げが大きかったためであり、これを除くと、今期は例年並みの売上げとなっている。信頼関係が築かれた顧客が固定しており、特に業況の変化は感じていないが、施設の老朽化により、更新が必要であるものの、多額の資金が必要となるため、資金調達が今後の課題となっている。

一般乗用旅客自動車運送業 タクシー事業を行うこの事業所では、業況は悪いと感じている。例年は12月の売上げが大きいものの、今期は大幅に減少している。景気後退が要因となっているとともに、規制緩和に

よる車両台数の増加が 1 台あたりの売上げを大きく下げる要因となっている。台数の増加がタクシーの利用者増加につながっており、仙台市域全体でのタクシーへの乗車数は伸びているものの、1 台あたりに換算すると減少しているというのが実態である。

一般貨物自動車運送業 県内、南東北を集荷圏域とし、中型トラックによる運搬を行うこの事業所では、業況は悪いと感じている。燃料である軽油の価格が下降しない上、価格が高騰していた時期の請求が重なっており、厳しい状況となっている。運搬量の増減がさほどない集荷物がある一方、一部の集荷物では荷主である工場の操業縮小の影響と思われる需要減少が見られる。景気悪化に伴い、設備の増強は行わず、高速道路の各種割引を利用するなど経費削減に努めている。

[卸売業]

卸売業の業況判断(業況の良し悪し)DI は、前期実績の 45.2 から今期実績は 55.5 と悪化した。売上高 DI、販売数量 DI、経常利益 DI は下降し悪化した。製(商)品単価 DI は下降し悪化した。原材料(仕入)価格 DI は下降し改善した。製(商)品在庫 DI、労働力 DI は下降した。生産・営業用設備 DI は横ばいであった。資金繰り DI は下降し悪化した。正規従業員数 DI、非正規従業員数 DI、生産・営業用設備(予定)DI は下降した。事業所の業況(業況の変化)DI は下降し悪化した。

衣服・身の回り品卸売業 紳士服、婦人服、子供服など身の回り品の卸売を行うこの事業所では、業況は悪いと捉えている。市内の大型店舗等の進出により、売上げの減少は予測していたものであったが、平成 20 年下期以降の景況の冷え込みによる買い控え等は予想以上であった。利益確保のため、経費を抑えるなど売上げに応じた対応が迫られている。来年度も同じような状況は続く予想しており、来年度の秋以降に景況が上向くことを期待している。

食料・飲料卸売業 清涼飲料水などの卸売を行うこの事業所では、業況は悪いと感じている。売上高、販売数量、経常利益は減少している。この要因としては、小売店での回転が悪くなり納品量が減少していること、飲食市場自体が減少していることがあげられる。また、野菜飲料は中国産野菜への不安感などから売上げが落ちているものの、基幹ブランドの飲料製品はライン全体で売上げが伸びている。消費者の嗜好の変化は早く、1 年間売れるとヒット商品と言われる時代であり、同じ商品でも味を少しずつ変化させることで対応している。

建築材料卸売業 生コンクリートなどの卸売を行うこの事業所では、業況は悪いと感じている。例年であれば、秋口に向け、受注が増加するところであるが、昨年 9 月以降は受注が伸びず、例年にない動きをしている。これは、アメリカの金融危機に端を発する景気の悪化により、新設の民間建設が減少したためであると考えている。民間の建築需要は落ち込んでおり、公共投資が大規模になされない限り、景気回復は望めないと考えている。

[小売業]

小売業の業況判断(業況の良し悪し)DI は、前期実績の 50.8 から今期実績は 54.0 と悪化した。売上高 DI は下降し悪化した。販売数量 DI、経常利益 DI は上昇し改善した。製(商)品単価 DI は下降し悪化した。原材料(仕入)価格 DI は下降し改善した。製(商)品在庫 DI、労働力 DI、生産・営業用設備 DI は上昇した。資金繰り DI は下降し悪化した。正規従業員数 DI、非正規従業員数 DI は下降した。生産・営業用設備(予定)DI は上昇した。事業所の業況(業況の変化)DI は下降し悪化した。

他に分類されない飲食料品小売業 国内食材、輸入食材、自家製パンなどの販売を行うこの事業所では、業況は悪いと感じている。現在の経済情勢の影響からか、買い物客の中でも余計なものは買わないという意識が浸透しつつある。特売日だけに売上げが集中する傾向がみられる。近隣に大規模な商業施設が開店したが、土日の売上げが減少しており、相乗効果は得られていないと感じている。周辺住民の高齢化、退職などにより、以前に比べると購買力が低下しているように感じられ、現在は辛抱時期と考えている。

各種食料品小売業 百貨店の関連会社として日常食料品等の販売を行うこの事業所では、業況は良いと捉えている。店内では毎週近県等からの産直イベントを企画しており、新鮮なものを生産者の説明を付けた上で安く提供しており、天気に左右されず常に催しを実施することで集客頻度の増加を図っている。原油価格が落ち着き、円高が進んでいるという好材料があるものの、物価高騰時などの含み損があるため、価格を下げることはできず、様子を見ている。仕入価格の上昇は経費抑制で補い、収益を維持している状況である。近隣で大型小売店の開店が予定されており、不安を感じているが、普段の接客・サービス等、選ばれる店になるよう努める考えである。

各種食料品小売業 食料品、酒類などの販売を行うこの事業所では、業況は悪いと感じている。原材料の値上がりに伴う売値上げにより、客の買上点数が減少しており、売上げが減少した。近隣の競合店のチラシから商品価格のバランスを調整するなど、常に競合店を意識している。また、競合店との差別化を図るべく、ポイントサービスの日を設ける、競合店と重ならない日にセールを実施するなど対策を図っている。消費期限切れ商品の廃棄などは売上げ減少につながるため、過剰仕入を抑えることを念頭においている。

各種食料品小売業 食料品等の販売を行うこの事業所では、業況は悪いと捉えている。平成20年11月以降、売上げは減少している。客数は維持しているものの、買い物点数が減少しており、景気悪化の影響、各種報道により、必要なもののみを購入している印象を受ける。かねてより低価格販売を行っていたものの、近隣の競合店が低価格販売に力を入れるようになっており、客は品目ごとに分けて安い店舗で買い物をするように見受けられる。今後も周辺に競合店の出店が決まっており、競争が激化すると思われる。景気好転の見通しがたたず、需要が伸び悩んでおり、厳しい状況は続くと考えている。

[飲食店・宿泊業]

飲食店・宿泊業の業況判断(業況の良し悪し)DIは、前期実績の79.6から今期実績は68.0と改善した。売上高DI、販売数量DIは下降し悪化した。経常利益DIは上昇し改善した。製(商)品単価DIは上昇し改善した。原材料(仕入)価格DIは下降し改善した。製(商)品在庫DIは下降した。労働力DI、生産・営業用設備DIは上昇した。資金繰りDIは上昇し悪化した。正規従業員数DI、非正規従業員数DI、生産・営業用設備(予定)DIは下降した。事業所の業況(業況の変化)DIは上昇し改善した。

中華料理店 ラーメン、定食類を提供しているこの事業所では、業況は良いと感じている。要因は不明であるが、10月～11月は業界全体で売上げが好調であった。12月は不況のあおりを受けて客足が減少しており、来期は業況が悪化すると見込んでいる。近隣に商業施設がオープンしたが、当初はあった相乗効果も最近では落ち着いている。周辺に家族連れで外食する家が少なくなり、近年来店者数は減少している。個人が消費志向から貯蓄志向へ変化しており、外食の機会が減少しているのではないかと考えている。

旅館、ホテル 飲食店の経営、宿泊施設の提供を行うこの事業所では業況は良いと感じている。昨年度に実施した設備の拡充により、売上高が増加した。食料品が値上がりし、企業努力では吸収しきれない範囲となったため、製品価格に転嫁した。また、原油価格の上昇により、冷暖房費が昨年比で最大 2 倍となった。現在は金融危機による直接の影響は感じていないものの、企業の宴会が減少傾向にあり、今後は間接的な影響があるのではないかと見込んでいる。

旅館、ホテル 旅館の経営を行うこの事業所では、業況は良くないと感じている。宿泊客数の落ち込みにより、売上は減少している。岩手・宮城内陸地震の風評被害というよりも、企業の忘年会の利用が少ないなど不況による影響であると感じている。休日の利用は多いものの、平日の予約が少ない状態である。現在のような経済状況が続いていくと、来期以降も非常に厳しい経営状況となると考えている。

[不動産業]

不動産業の業況判断（業況の良し悪し）DI は、前期実績の 38.6 から今期実績は 42.1 と悪化した。売上高 DI、販売数量 DI、経常利益 DI は下降し悪化した。製（商）品単価 DI は下降し悪化した。原材料（仕入）価格 DI は下降し改善した。製（商）品在庫 DI は下降した。生産・営業用設備 DI は上昇した。労働力 DI は上昇した。資金繰り DI は下降し悪化した。正規従業員数 DI、非正規従業員数 DI、生産・営業用設備（予定）DI は下降した。事業所の業況（業況の変化）DI は下降し悪化した。

不動産代理業・仲介業 自社所有のマンションの賃貸、駐車場賃貸の仲介を行うこの事業所では、業況は普通であると感じている。不動産業を営む傍らで行っている鈴・のぼりの販売が好調であり、来期の売上は増加する見通しである。所有するマンションは、安価で取得したものを格安で提供しているため、入居者の入れ替わりはなく、空きはない状態である。仙台は支店経済であり、今後は支店の撤退などにより景気悪化の悪影響が出てくるのではないかと懸念している。自社でもの作りを行う中、仙台には新規参入を受け入れない気風を感じており、もの作りを応援する体制が必要であると感じている。

不動産賃貸業（貸家業、貸間業を除く） オフィスビル賃貸・生命保険代理業を行うこの事業所では、今期の業況は良いと捉えている。県外のオフィスビルの賃貸が好調であり、売上は増加した。売上、経常利益は増加しているが、景気は急速に冷え込んでおり、取引先から良い話を聞くことはない。仙台のオフィスビル空室率も上昇しており、今後は厳しくなるのではないかと見込んでいる。

駐車業 貸しビル業、貸し駐車場経営、鉄筋コンクリート建設を行うこの事業所では、業況は普通であると捉えている。建設業は、業界全体が厳しい状況にある。工事価格が低下すると、工事を請けるほど赤字を抱え、自転車操業の状態になる。不動産業は、周囲に競合する駐車場が増加したため、賃貸価格を下げた。この事業所では、不動産業を行うことで建設業の厳しさを補っている。

[サービス業（個人向け）]

サービス業（個人向け）の業況判断（業況の良し悪し）DI は、前期実績の 64.0 から今期実績は 40.0 と改善した。売上高 DI、経常利益 DI は上昇し改善した。販売数量 DI は下降し悪化した。製（商）品単価 DI は下降し悪化した。原材料（仕入）価格 DI は下降し改善した。製（商）品在庫 DI は横ばいであった。労働力 DI は下降した。生産・営業用設備 DI は上昇した。資金繰り DI は下降し悪化した。正規従業員数 DI、非正規従業員数 DI、生産・営業用設備（予定）DI は上昇した。事業所の業況（業況の変化）DI は上昇し改善した。

旅行業 団体を対象とした旅行の企画・販売を行うこの事業所では、業況は悪いと捉えている。不景気のため、旅行人数が伸びない上、低価格の旅行パックを販売する事業所の参入により、市内の旅行業者は厳しい状況が続いている。また、ホテルや旅館、飛行機会社などが自社で直接旅行パックを販売するようになったり、インターネットの普及により、旅行者が自身で旅行先を調べるようになったりしたことで、旅行会社を媒介しないケースが増加している。厳しい状況にある中、協賛金などの経費が負担となっている。

介護老人施設 入所サービス、通所リハビリ、居宅介護支援などを提供するこの事業所では、業況は悪いと感じている。今期は、利用者の減少により、売上げが減少した。業況は、保険制度の改正や他の施設との競争により変化している。職員を増員し、労働力は適正となったものの、一部職種の人材難が続いている。

理容業 病院内において、理容業を営んでいるこの事業所では、業況は悪いと捉えている。病院を利用している患者の減少や、低料金の理容室の進出などの影響により、利用客が減少している。業況は病院を取り巻く環境の変化に左右されている。需要が一切なくなることはないものの、利用客は年々減少しており、今後も厳しい状況が続くと考えている。

[サービス業（法人向け・ほか）]

サービス業（法人向け・ほか）の業況判断（業況の良し悪し）DIは、前期実績の 36.8 から今期実績は 55.0 と悪化した。売上高DI、販売数量DI、経常利益DIは下降し悪化した。製（商）品単価DIは下降し悪化した。原材料（仕入）価格DIは上昇し悪化した。製（商）品在庫DI、労働力DIは下降した。生産・営業用設備DIは上昇した。資金繰りDIは下降し悪化した。正規従業員数DI、非正規従業員数DI、生産・営業用設備（予定）DIは下降した。事業所の業況（業況の変化）DIは下降し悪化した。

建物サービス業 ビル、マンションの管理、清掃業務を行うこの事業所では、業況は普通であると感じている。昨年、大口の契約先と契約が解除となったため、売上げは半減した。来期は新たな契約が成立する見込みであることから、経常利益は増加する見込みである。付き合いのある顧客を大切にすること、営業による新規顧客の確保に力をいれることを心がけている。サービス提供を行う従業員は、仕事現場に直行・直帰するため、定期的な巡回は行うものの、会社として全員一律に労務管理を行うことが困難であり、課題となっている。

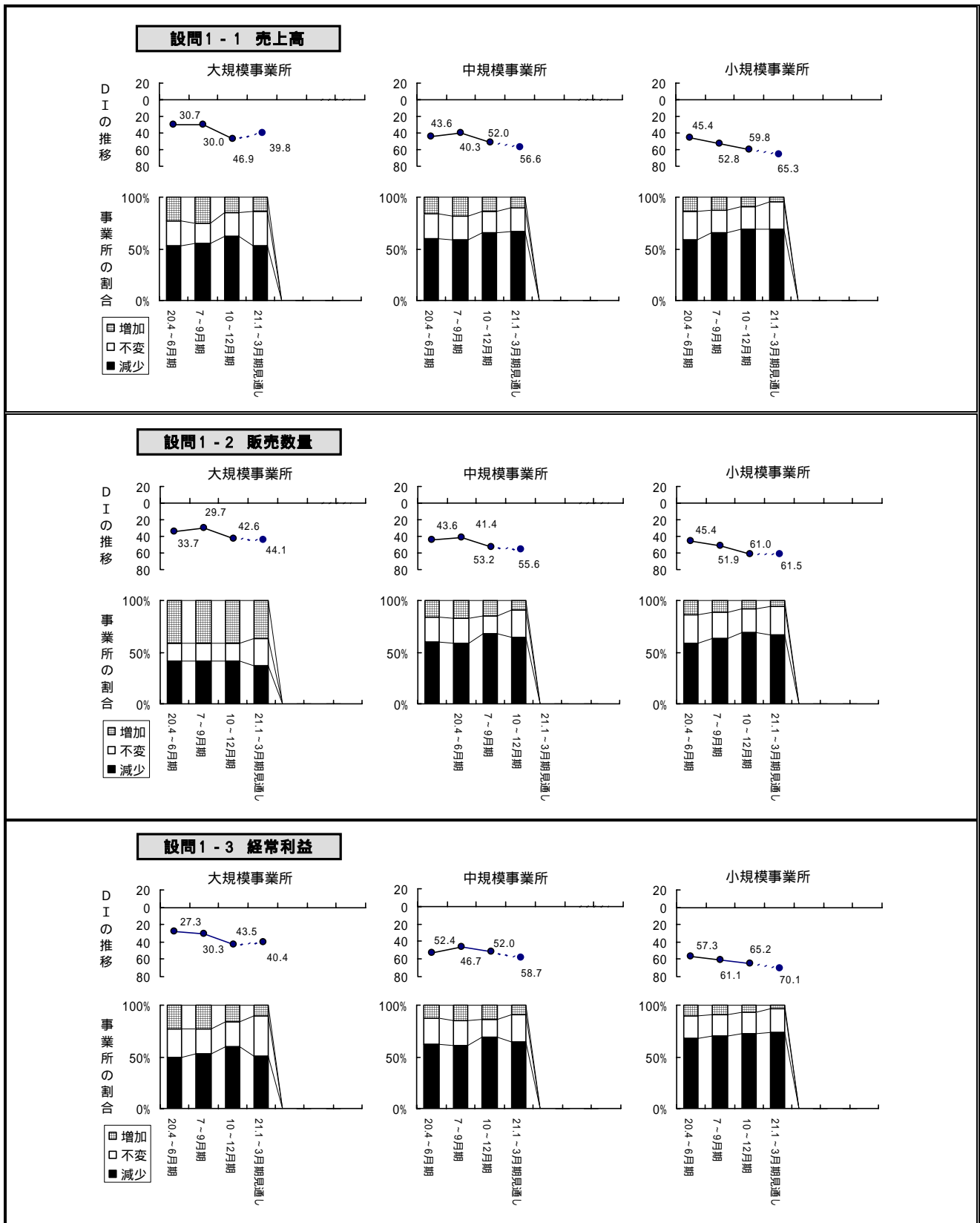
建設設計業 計画設計、調査解析、環境アセスメント等を行うこの事業所では、業況は普通であると感じている。売上げ、販売数量は前年同期並みであるものの、発注価格が下落しているため、経常利益は減少している。発注単価の低下傾向は続いており、来期の経常利益も減少する見通しである。悪化しているというほどの減少ではないものの、今後も公共工事の発注量の減少が続けば苦しくなると見込んでいる。首都圏では工事単価が圧縮されているが、工事量に大きな変化がない一方で、東北地方では単価が圧縮されるとともに工事量が減少していると感じている。

建物サービス業 施設やその敷地内の清掃を行うこの事業所では、業況は良いと感じている。営業提案型で請負業務を拡大しており、店舗を入念に下調べし、消費者の目線から新たなサービスを提案することにより、売上げの減少を補っている。業界としては、コストダウンのために最初に見直される業務であることから、顧客となる企業の売上げの増減に左右されるが、この事業所では、社会全体の景気には左右されていない。労働力は不足しているものの、資金の不足から人材の確保が難しい状況にある。

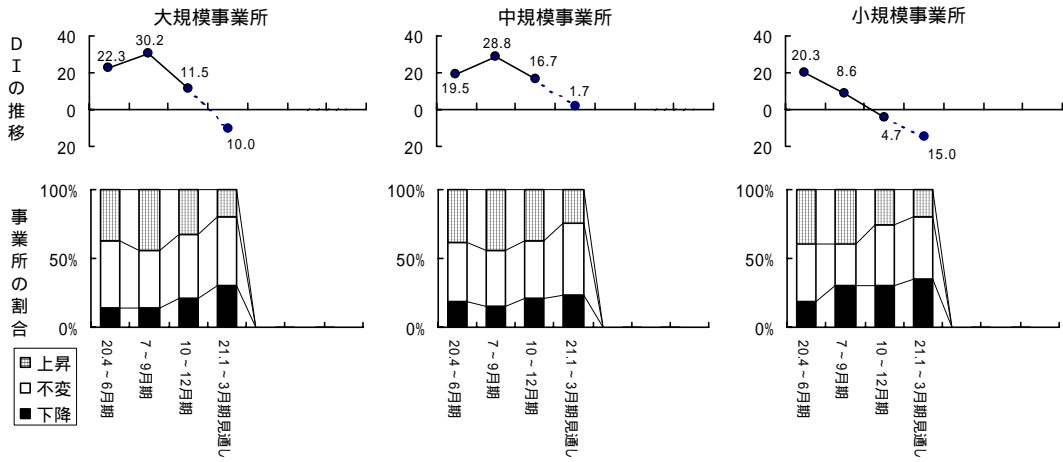
資料編

(1) 企業経営動向調査結果(DI)の詳細
規模別DI

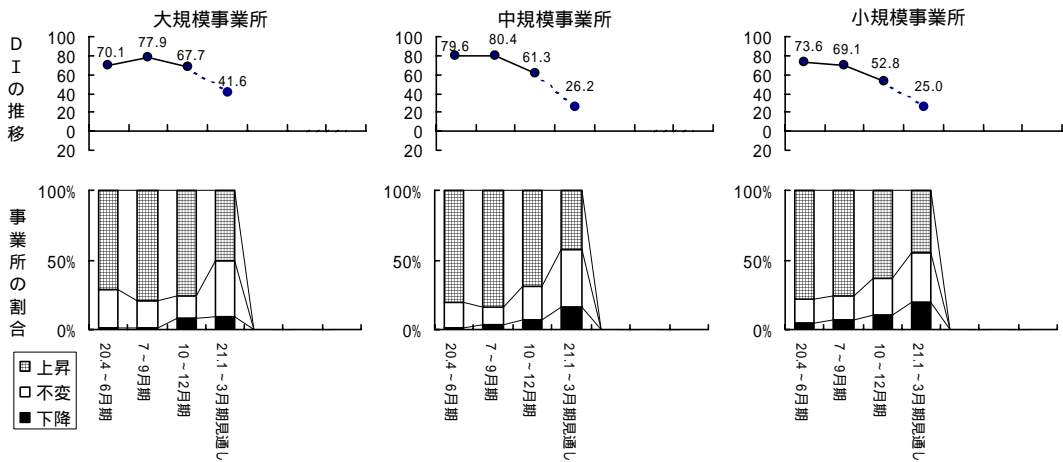
用語の説明については目次裏参照



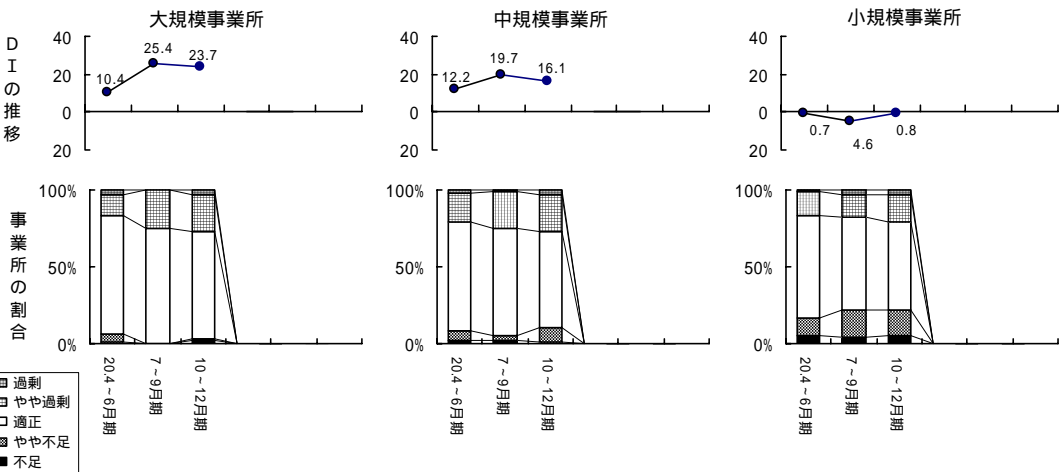
設問2-1 製(商)品単価



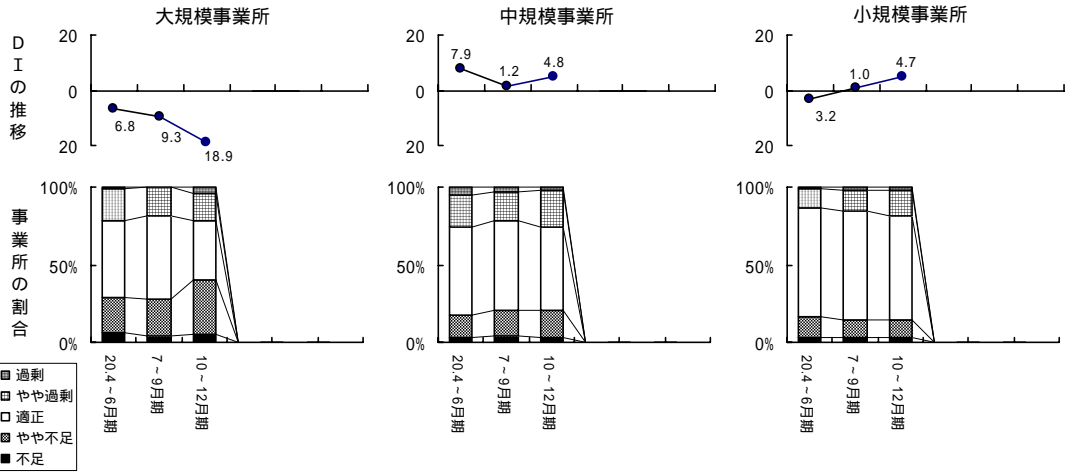
設問2-2 原材料(仕入)価格



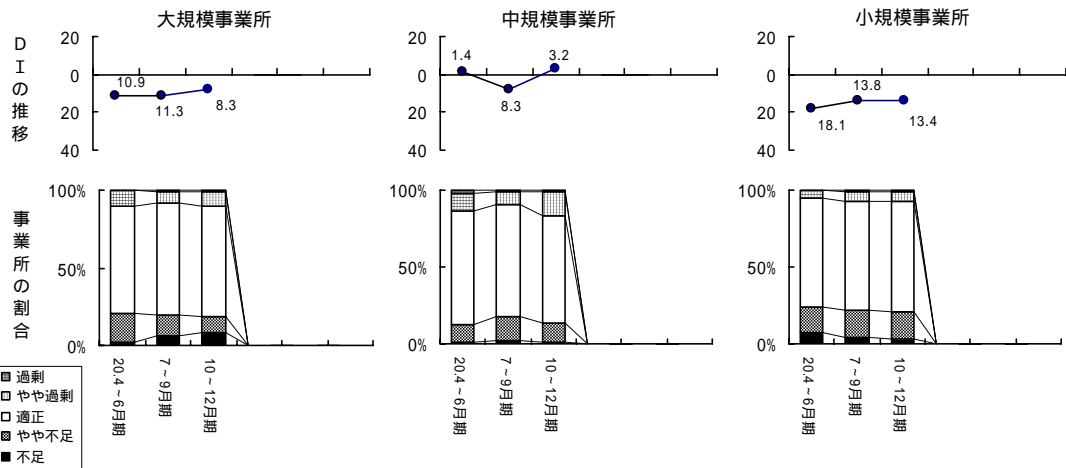
設問3-1 製(商)品在庫



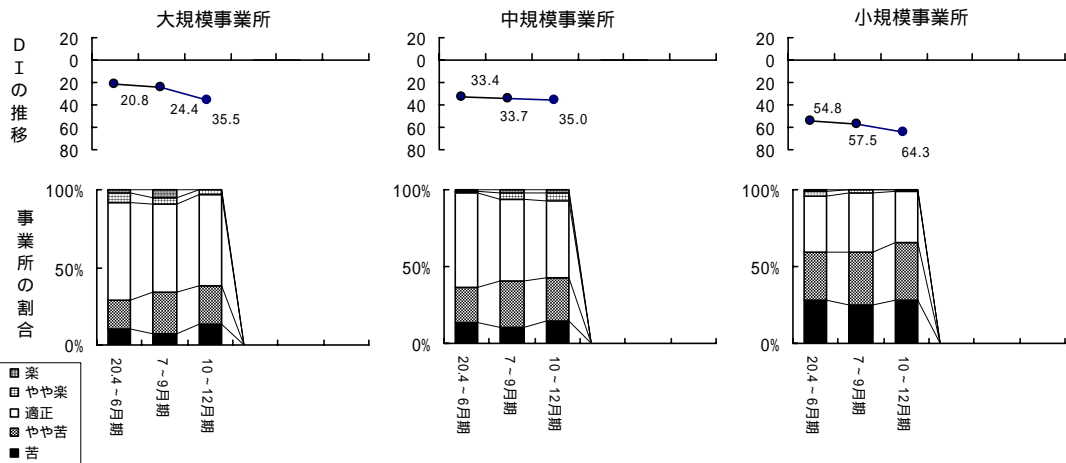
設問3-2 労働力



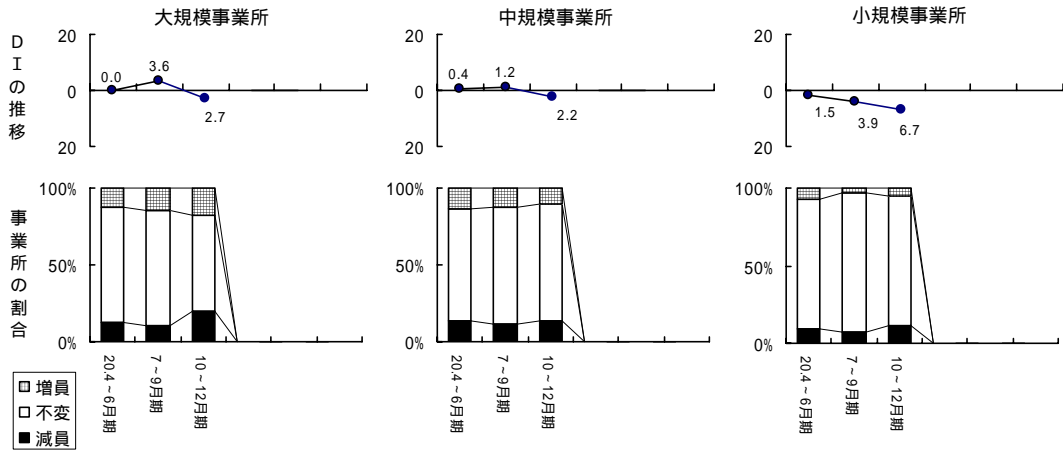
設問3-3 生産・営業用設備



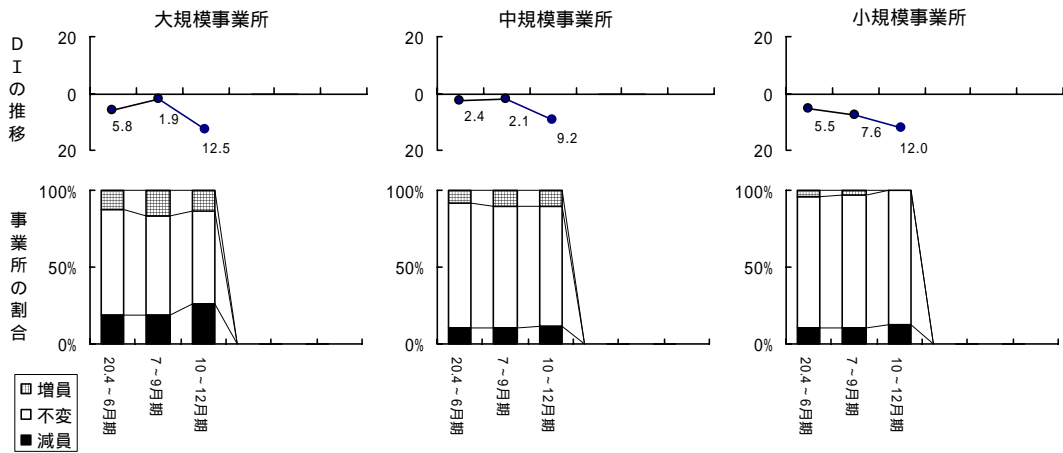
設問3-4 資金繰り



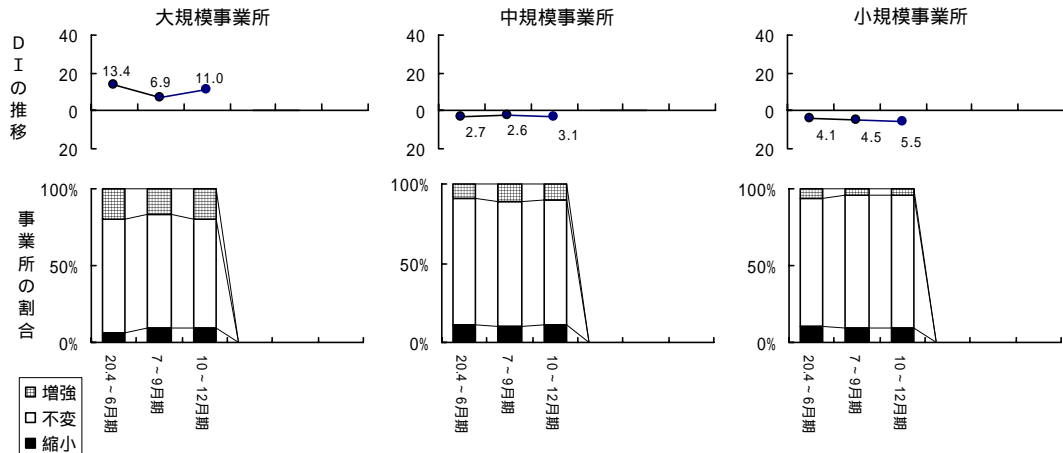
設問4 - 1 正規従業員数



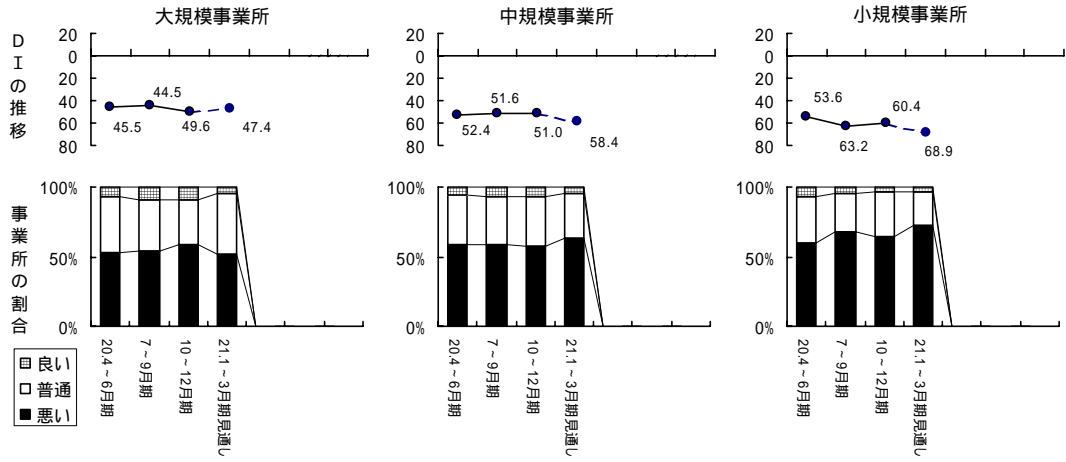
設問4 - 2 非正規従業員数



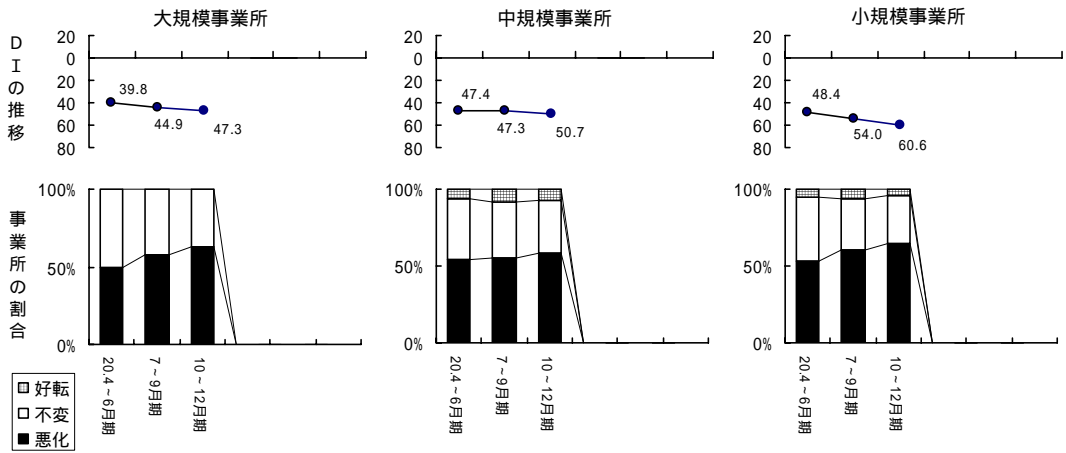
設問4 - 3 生産・営業用設備(予定)



設問5 - 1 事業所の業況(業況の良し悪し)

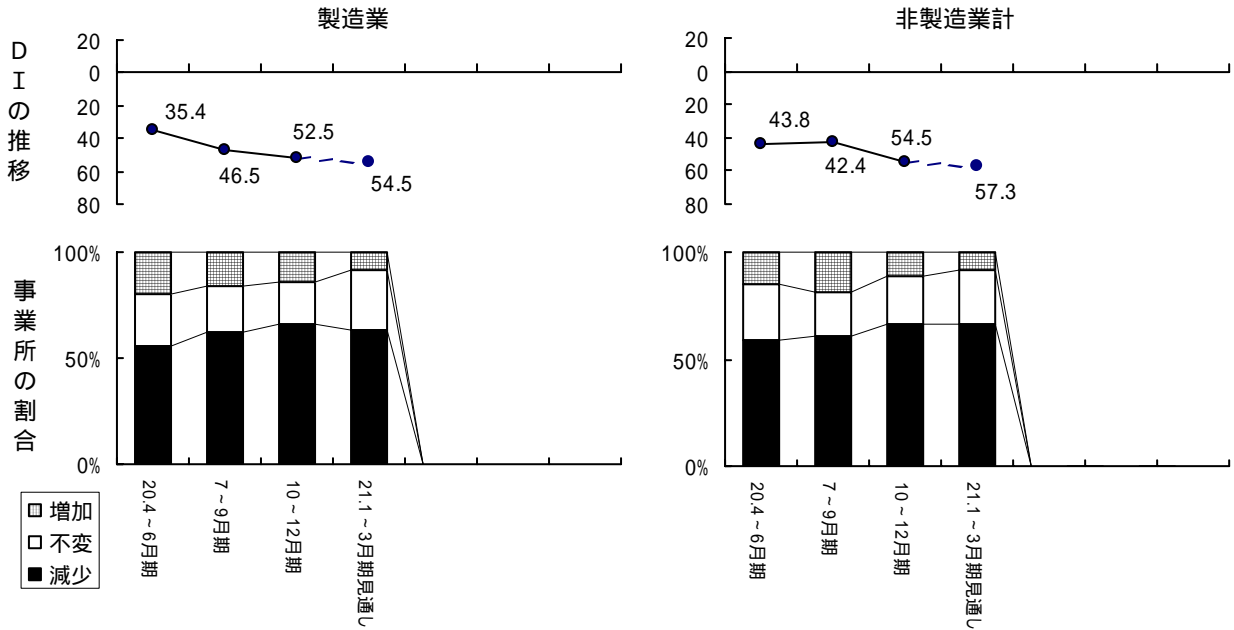


設問6 - 1 事業所の業況(業況の変化)

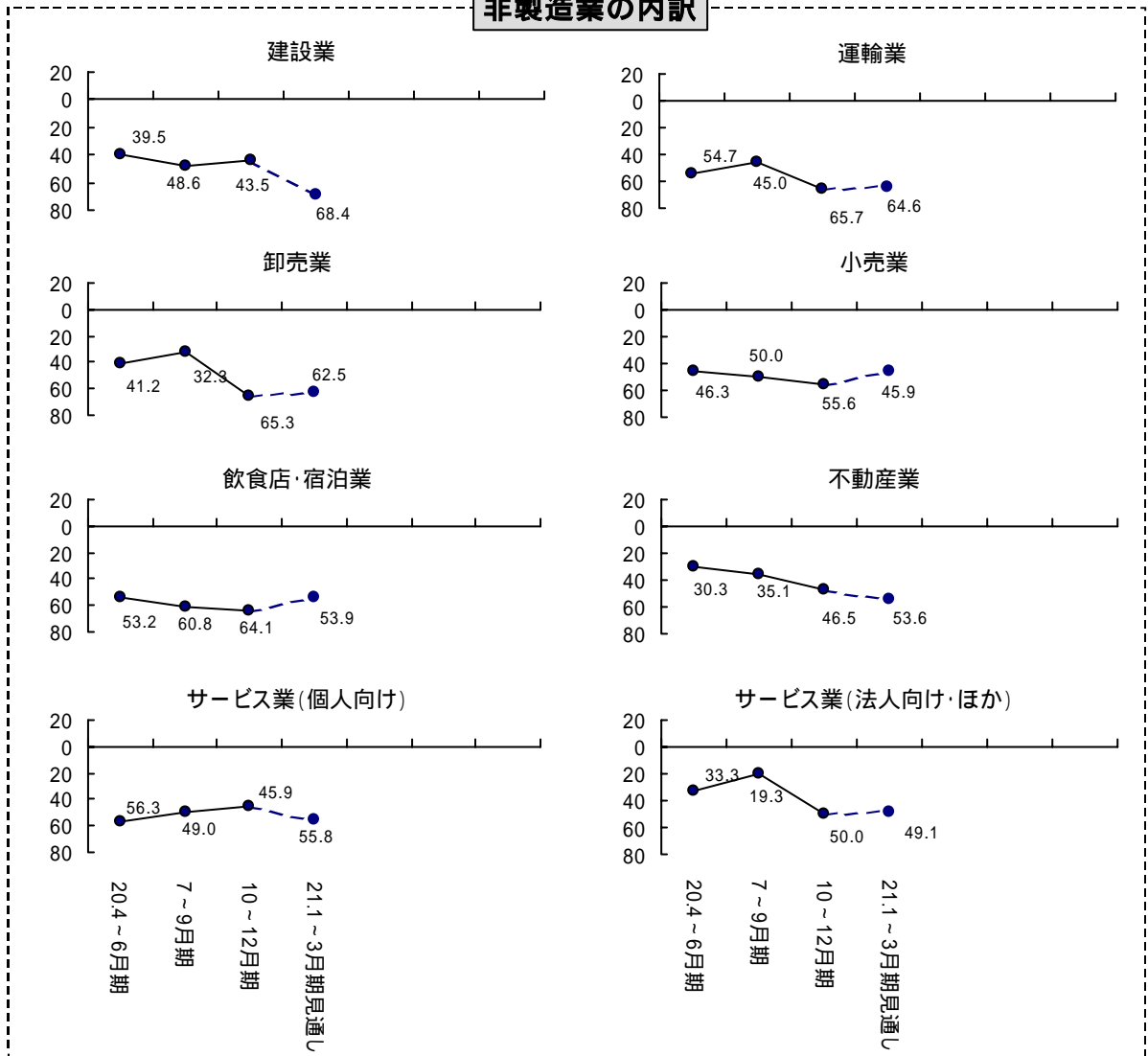


業種別 D I

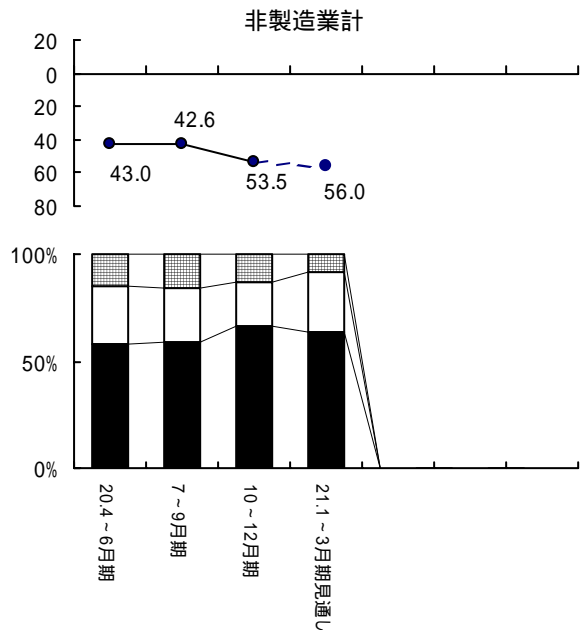
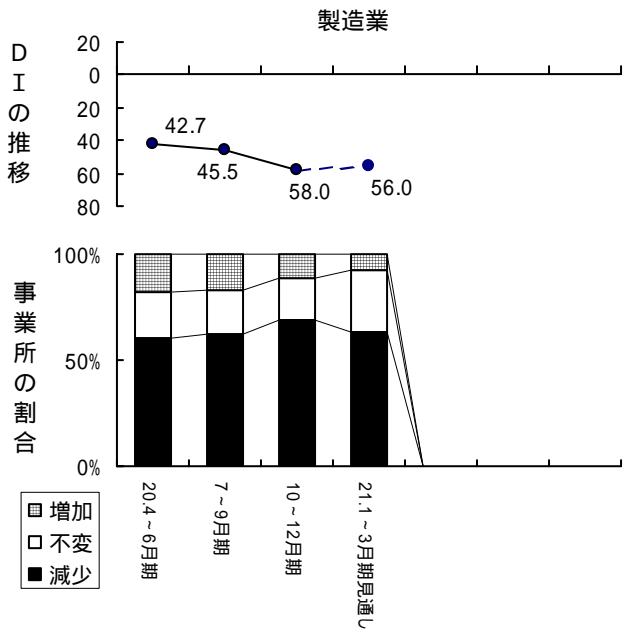
設問1 - 1 売上高



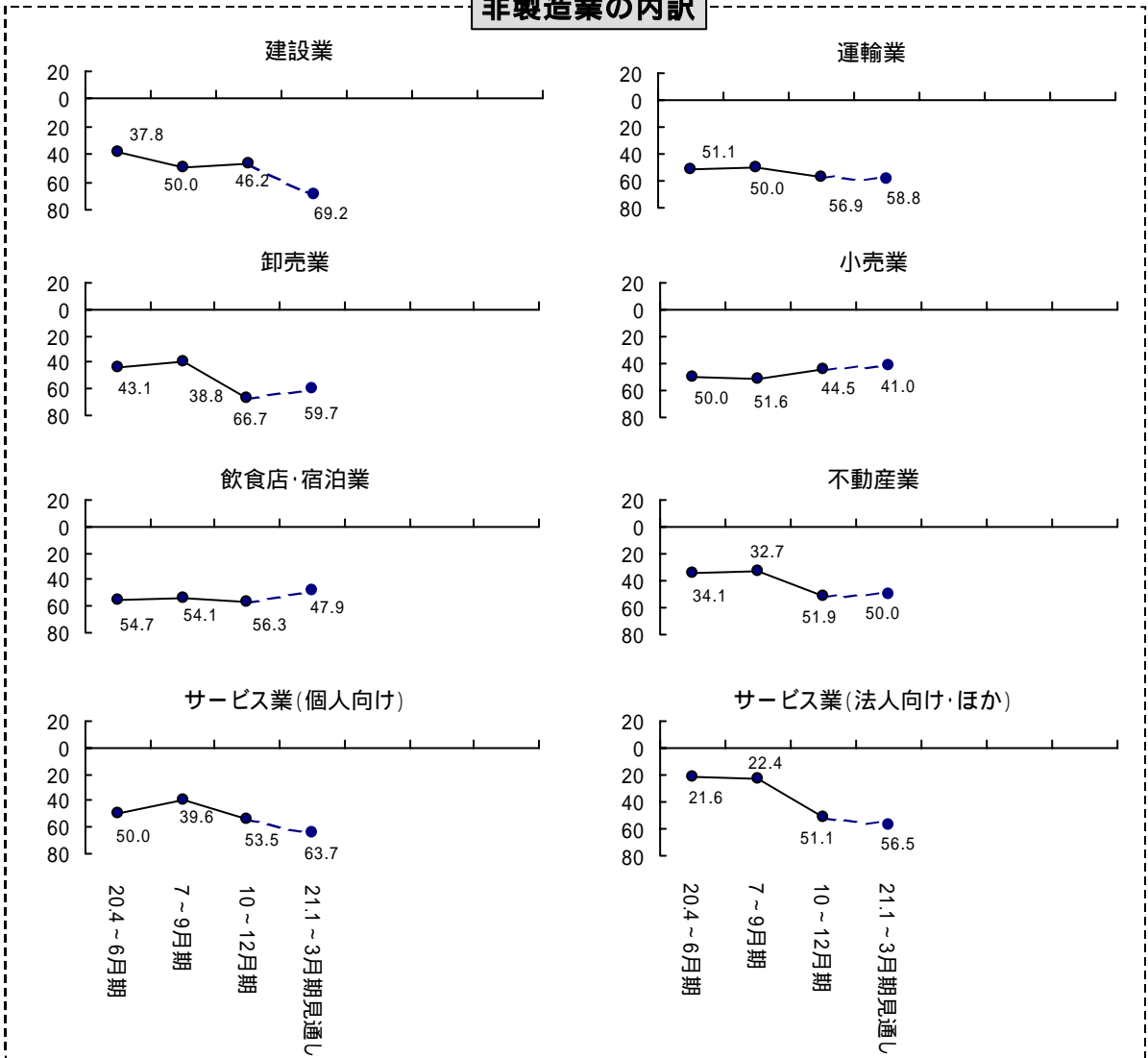
非製造業の内訳



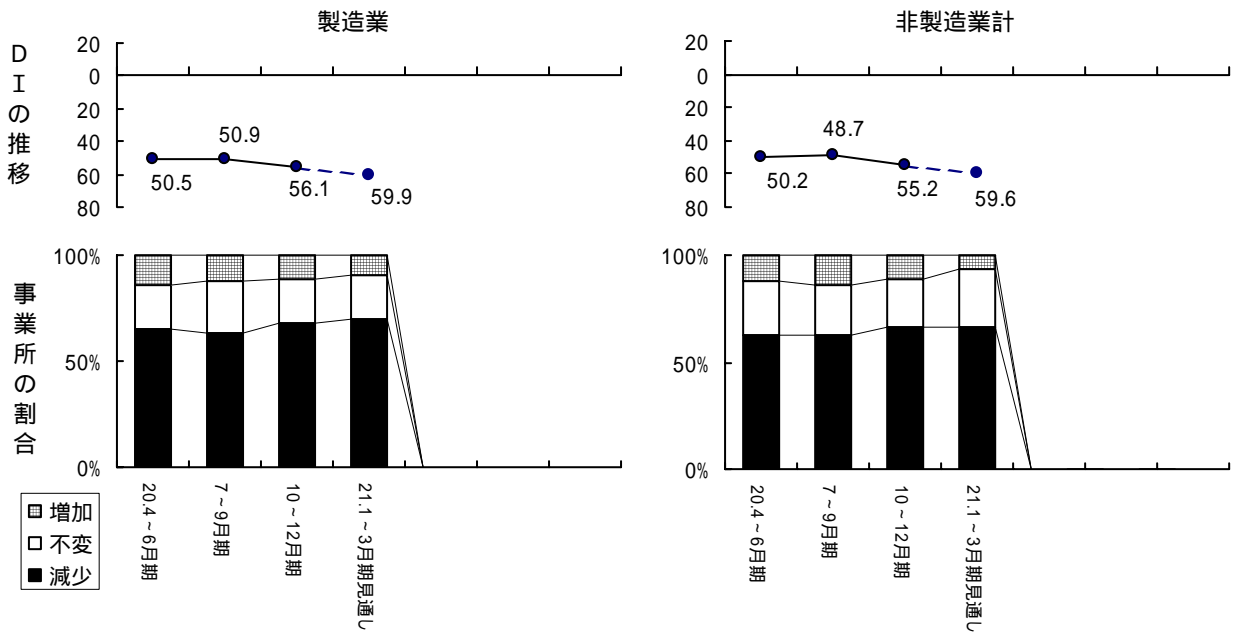
設問1 - 2 販売数量



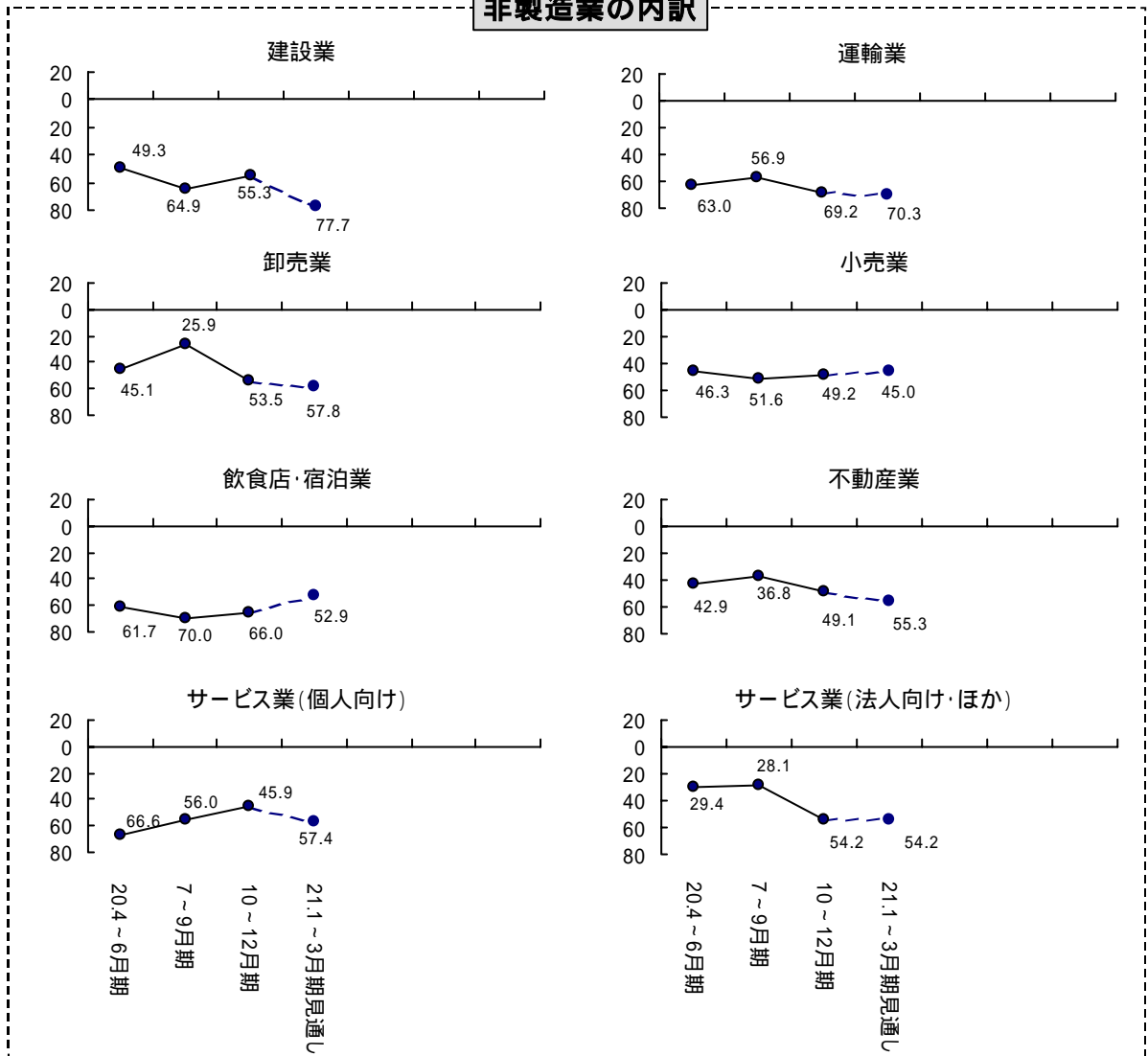
非製造業の内訳



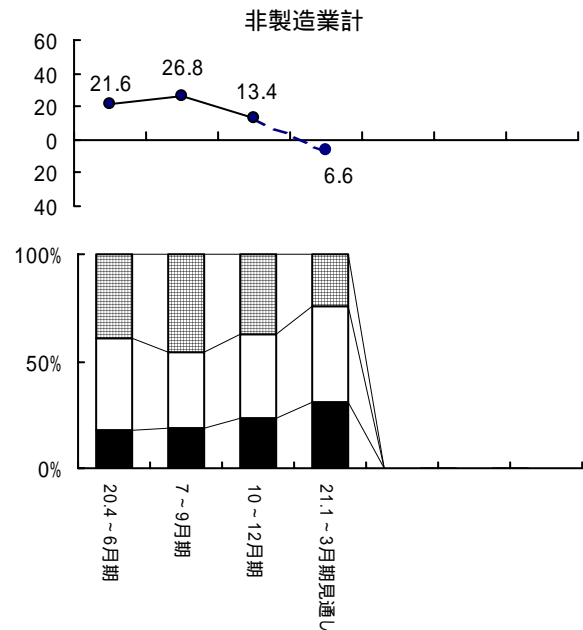
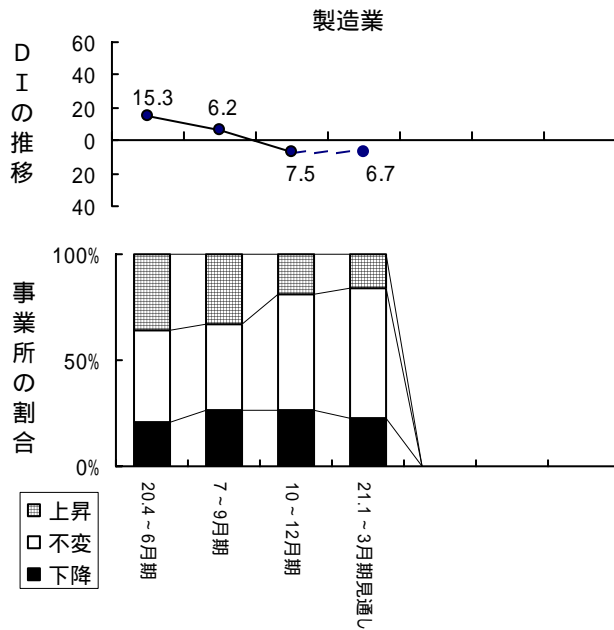
設問1-3 経常利益



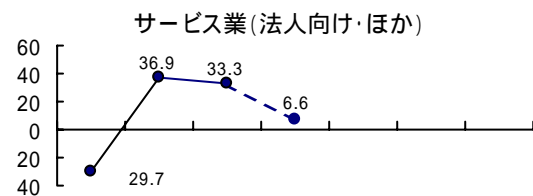
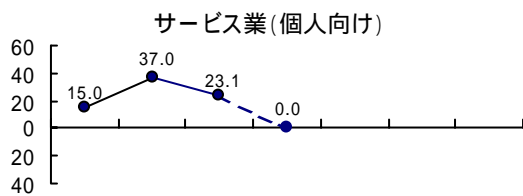
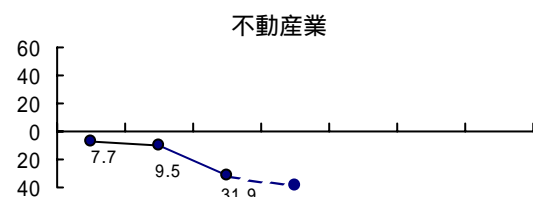
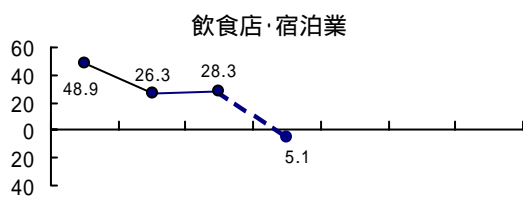
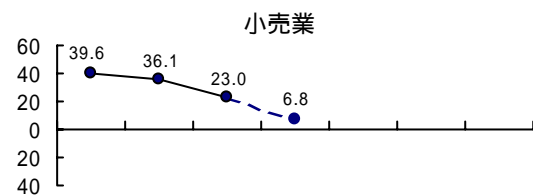
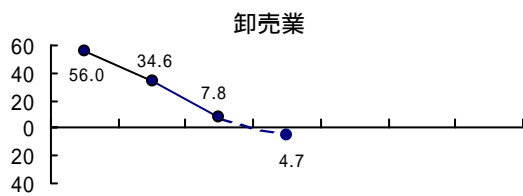
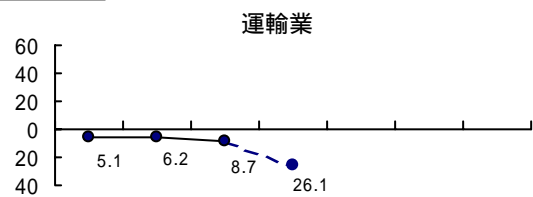
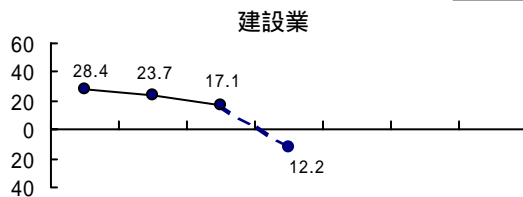
非製造業の内訳



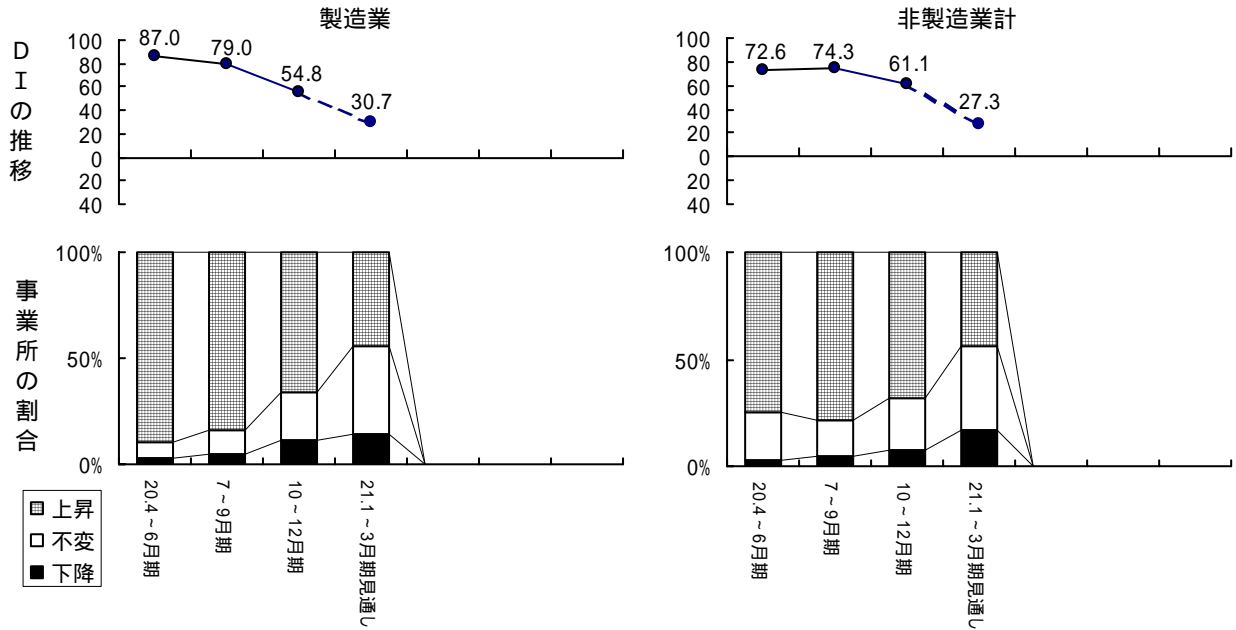
設問2 - 1 製(商)品単価



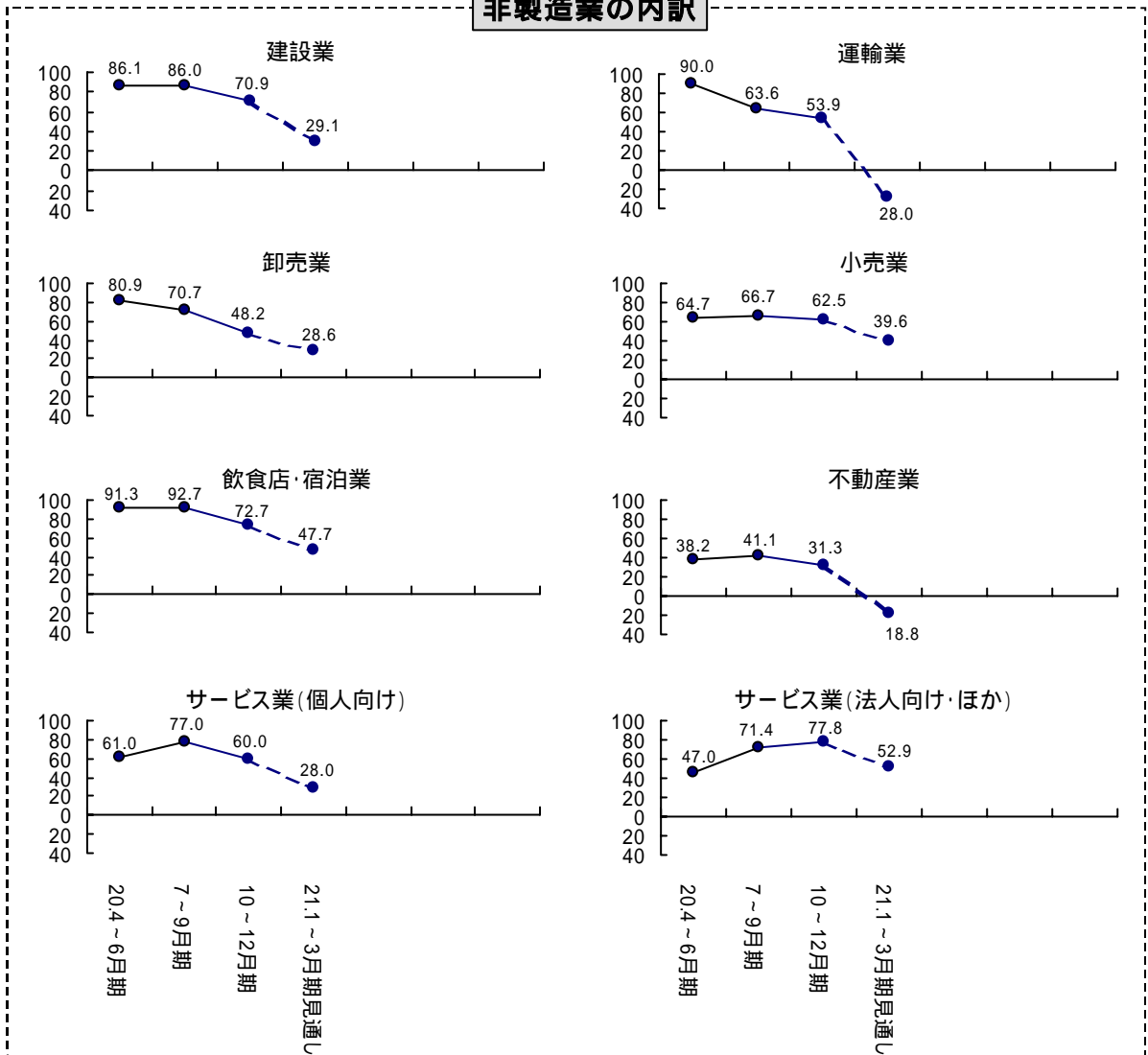
非製造業の内訳



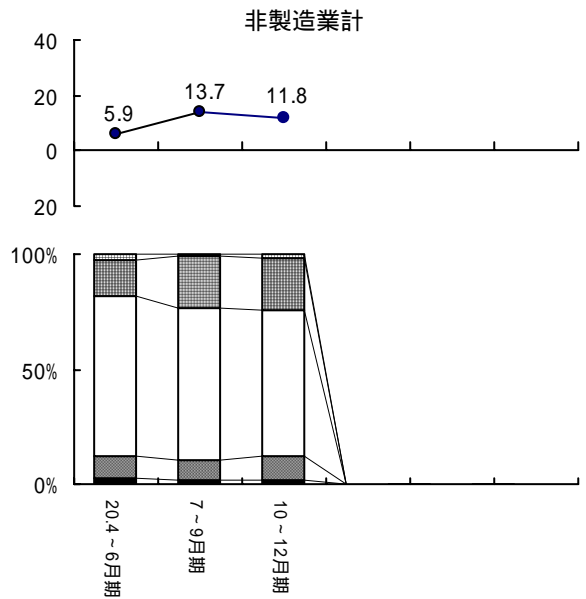
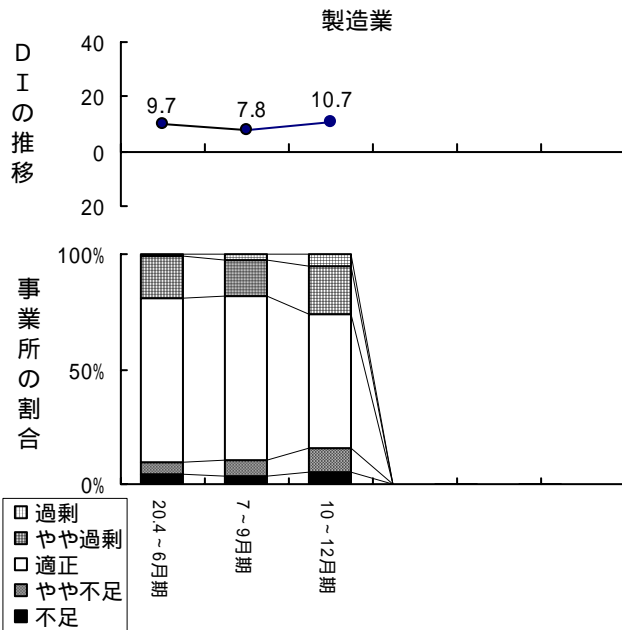
設問2 - 2 原材料(仕入)価格



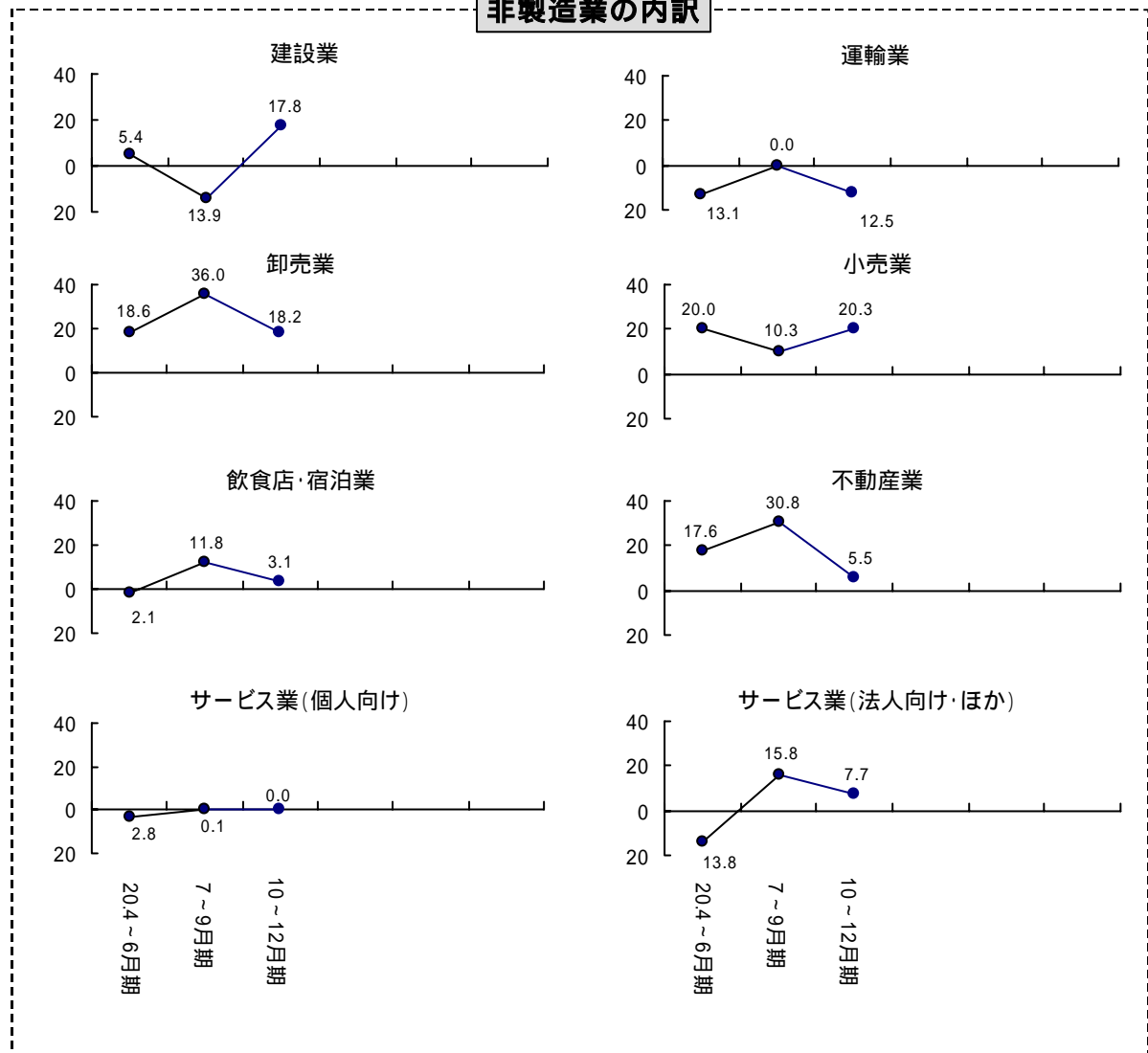
非製造業の内訳



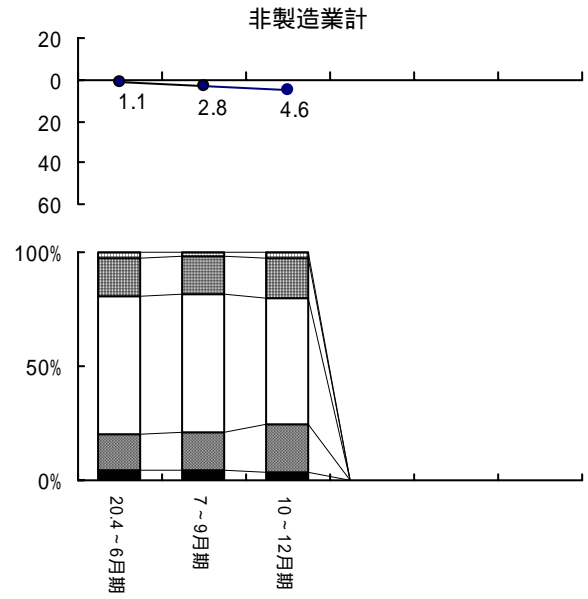
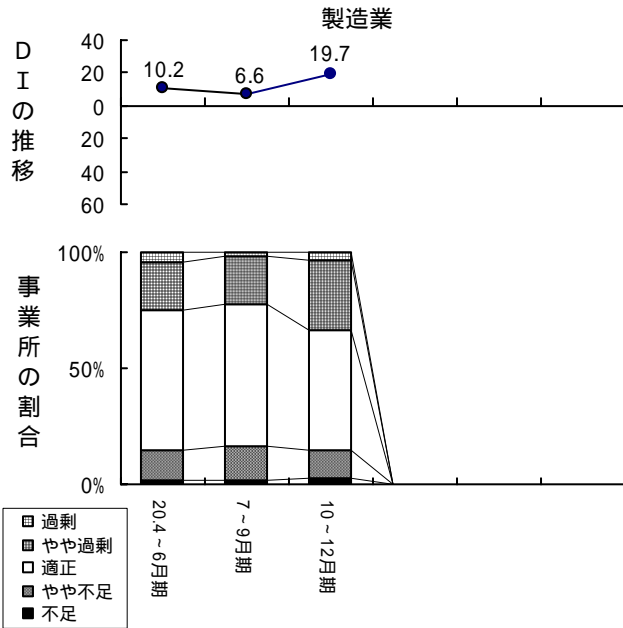
設問3 - 1 製(商)品在庫



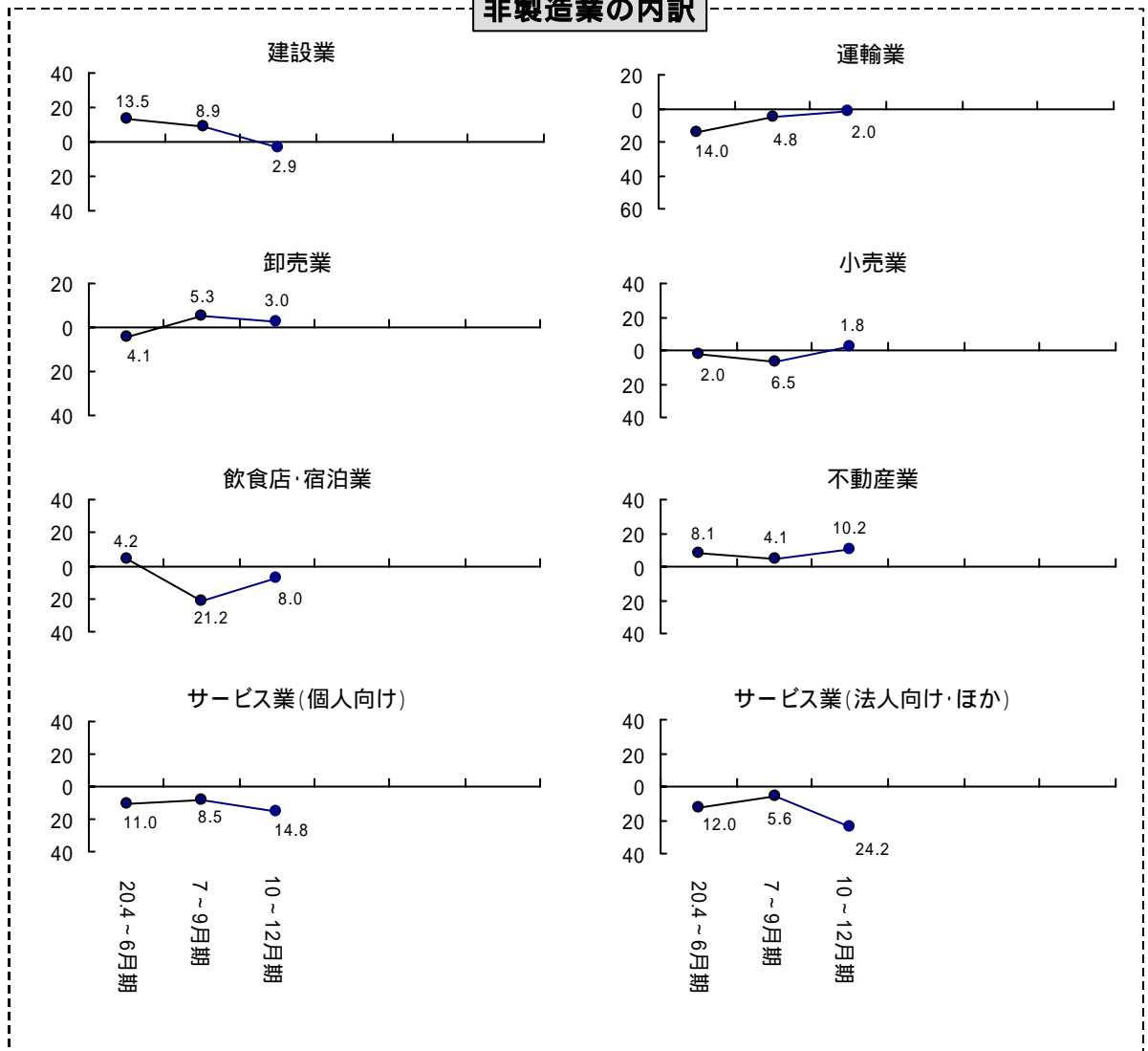
非製造業の内訳



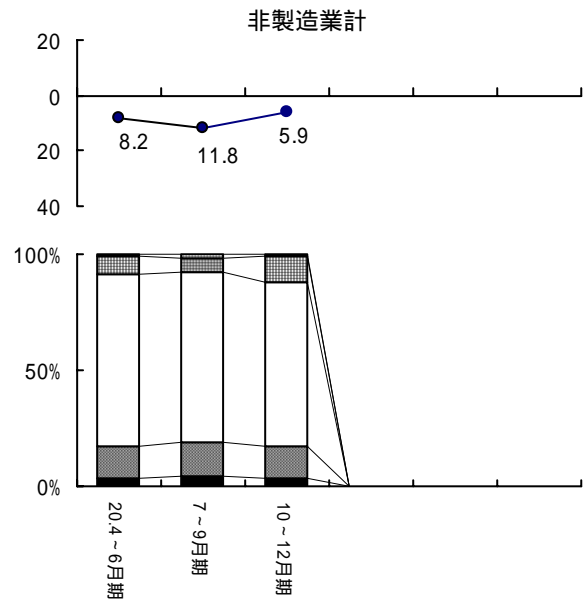
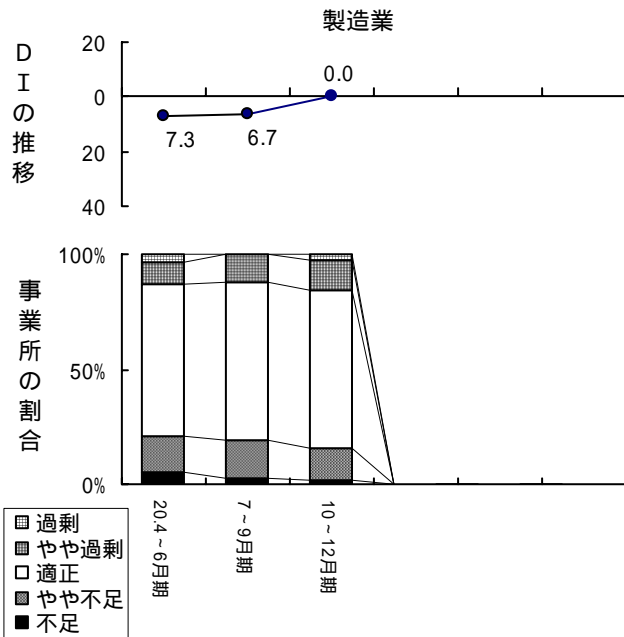
設問3 - 2 労働力



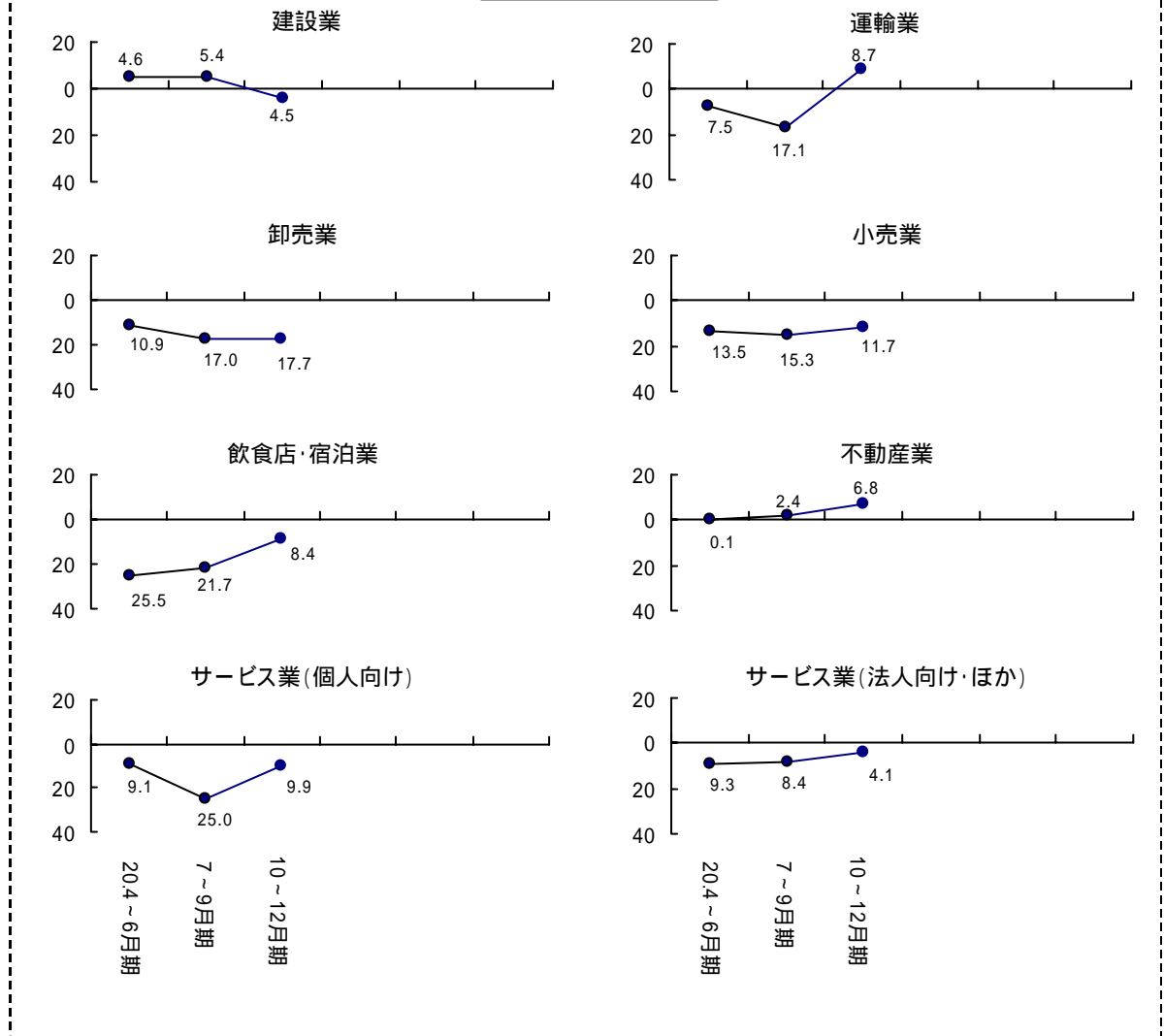
非製造業の内訳



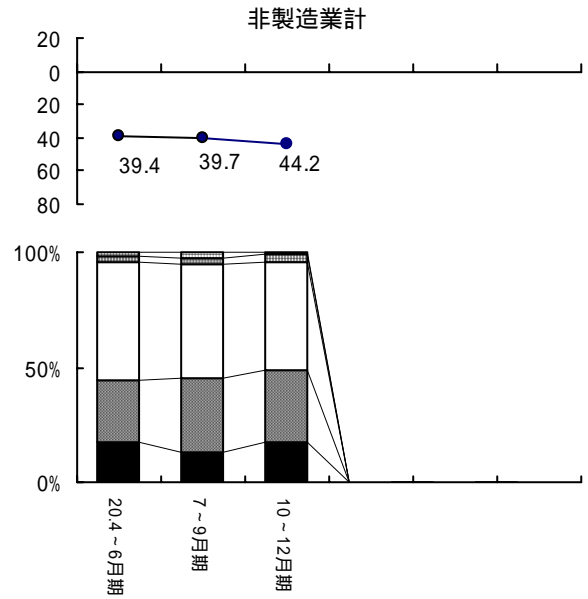
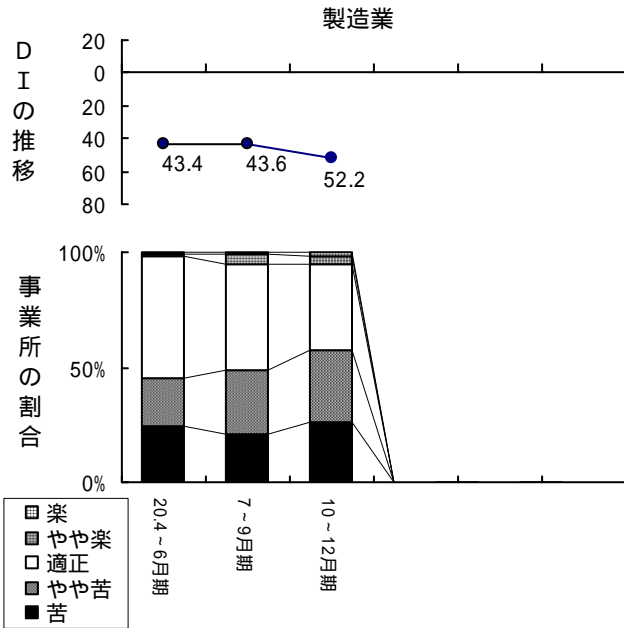
設問3 - 3 生産・営業用設備



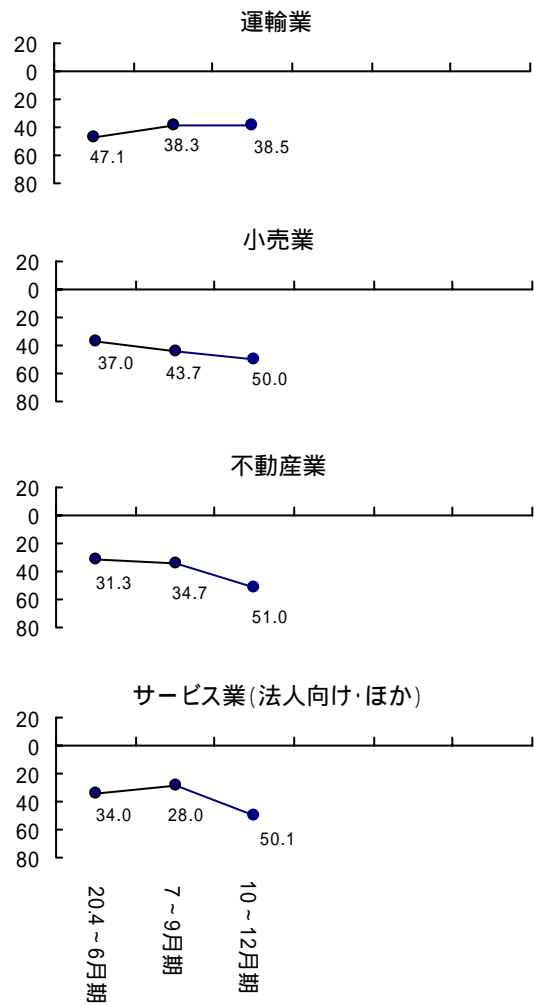
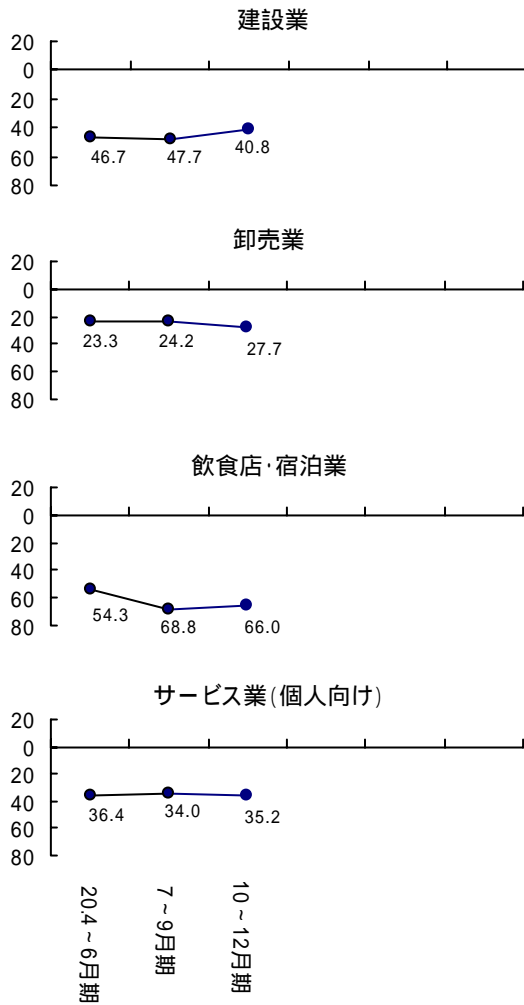
非製造業の内訳



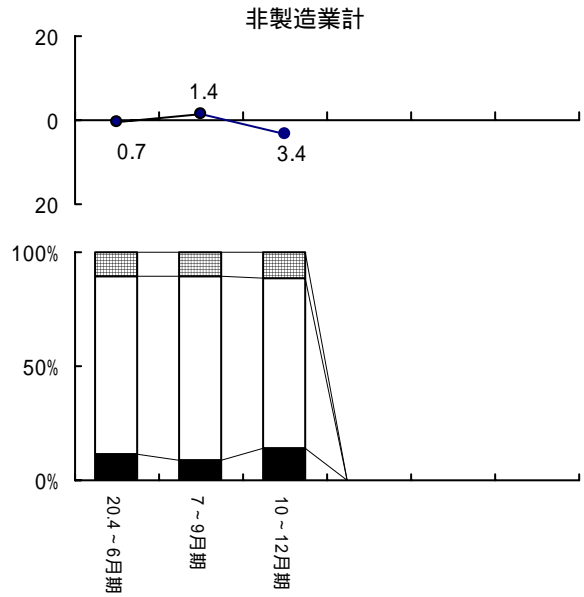
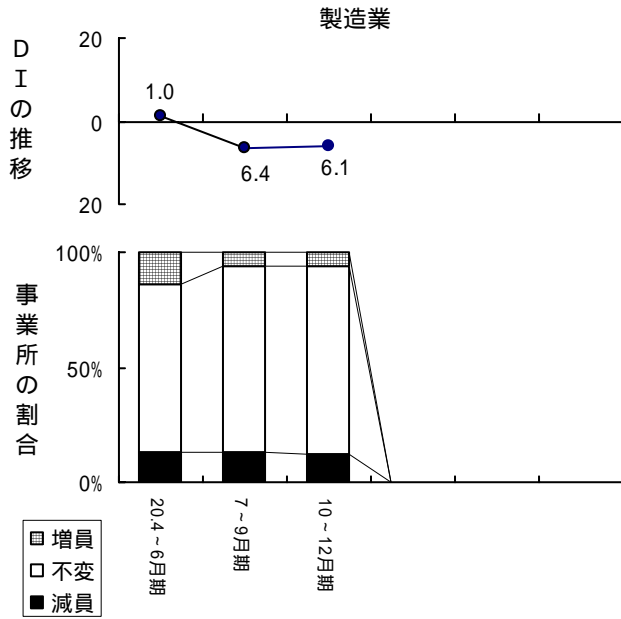
設問3 - 4 資金繰り



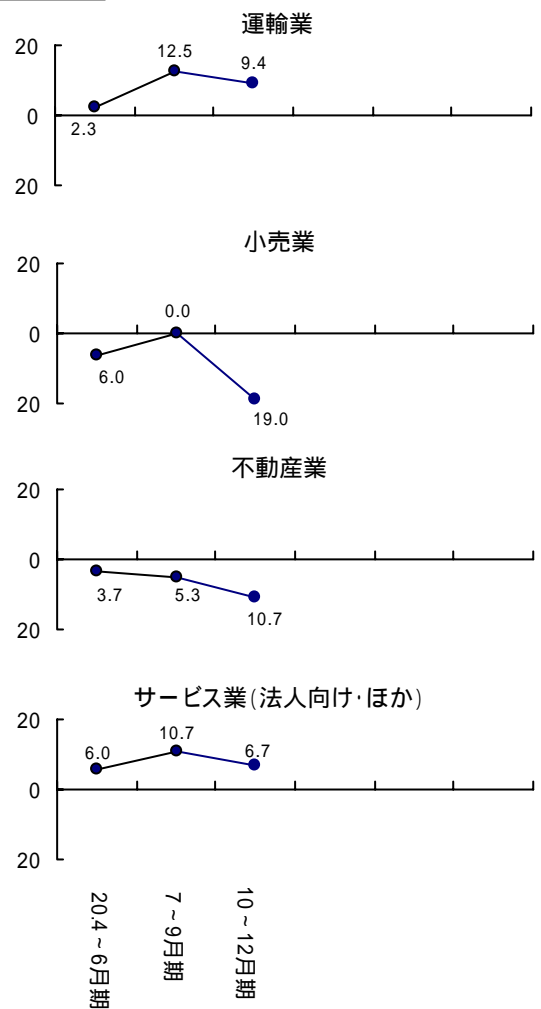
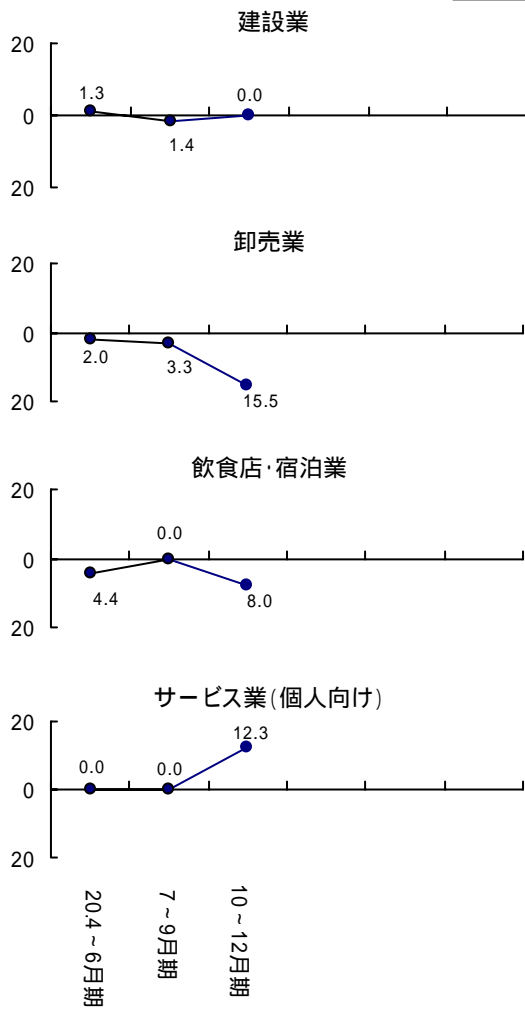
非製造業の内訳



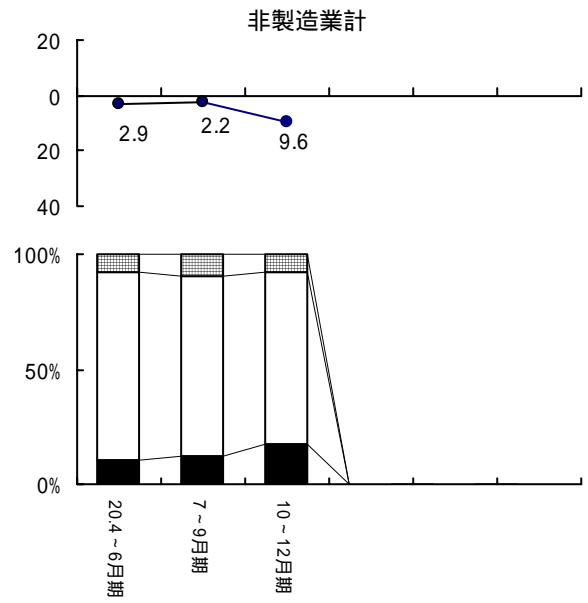
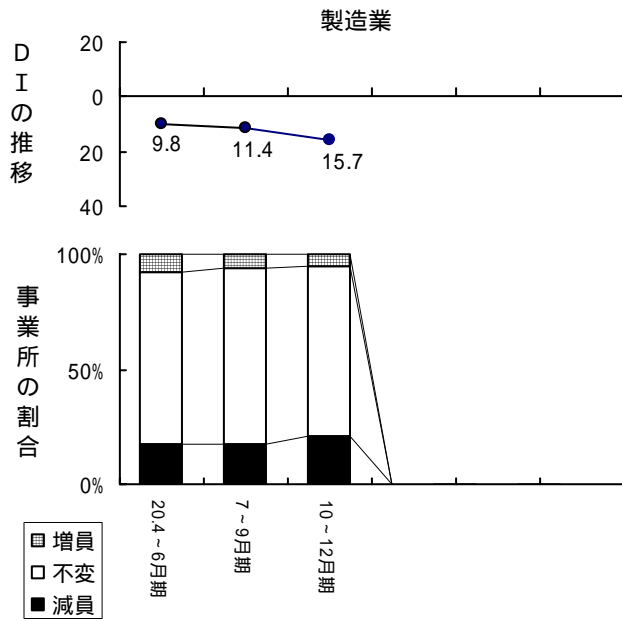
設問4 - 1 正規従業員数



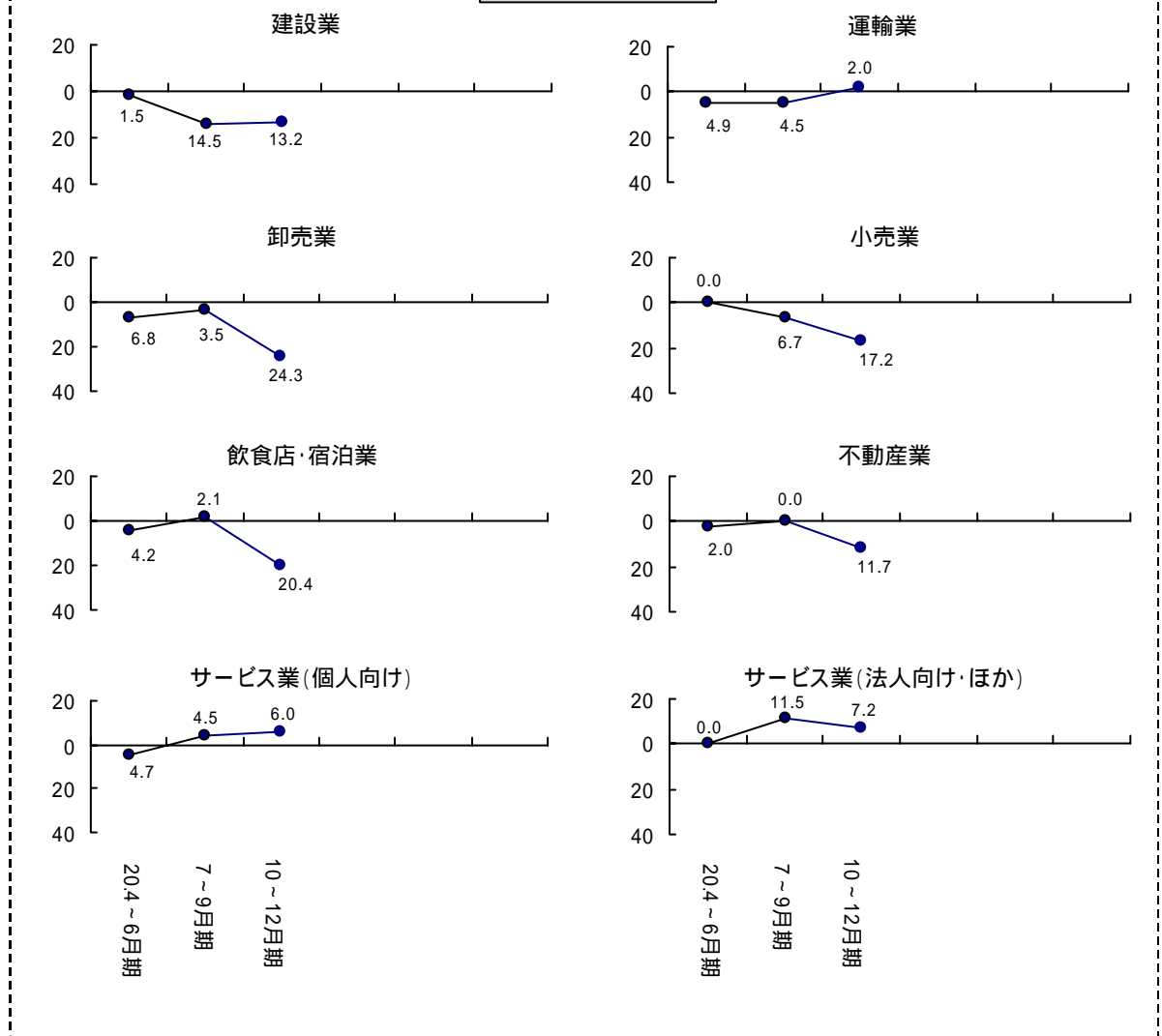
非製造業の内訳



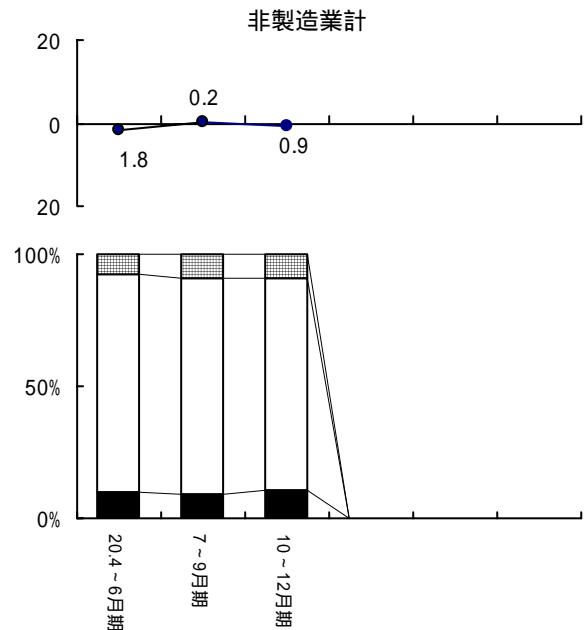
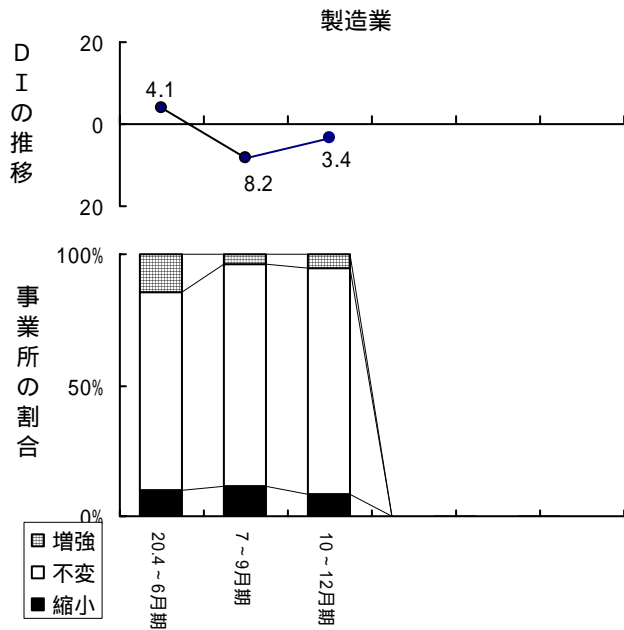
設問4 - 2 非正規従業員



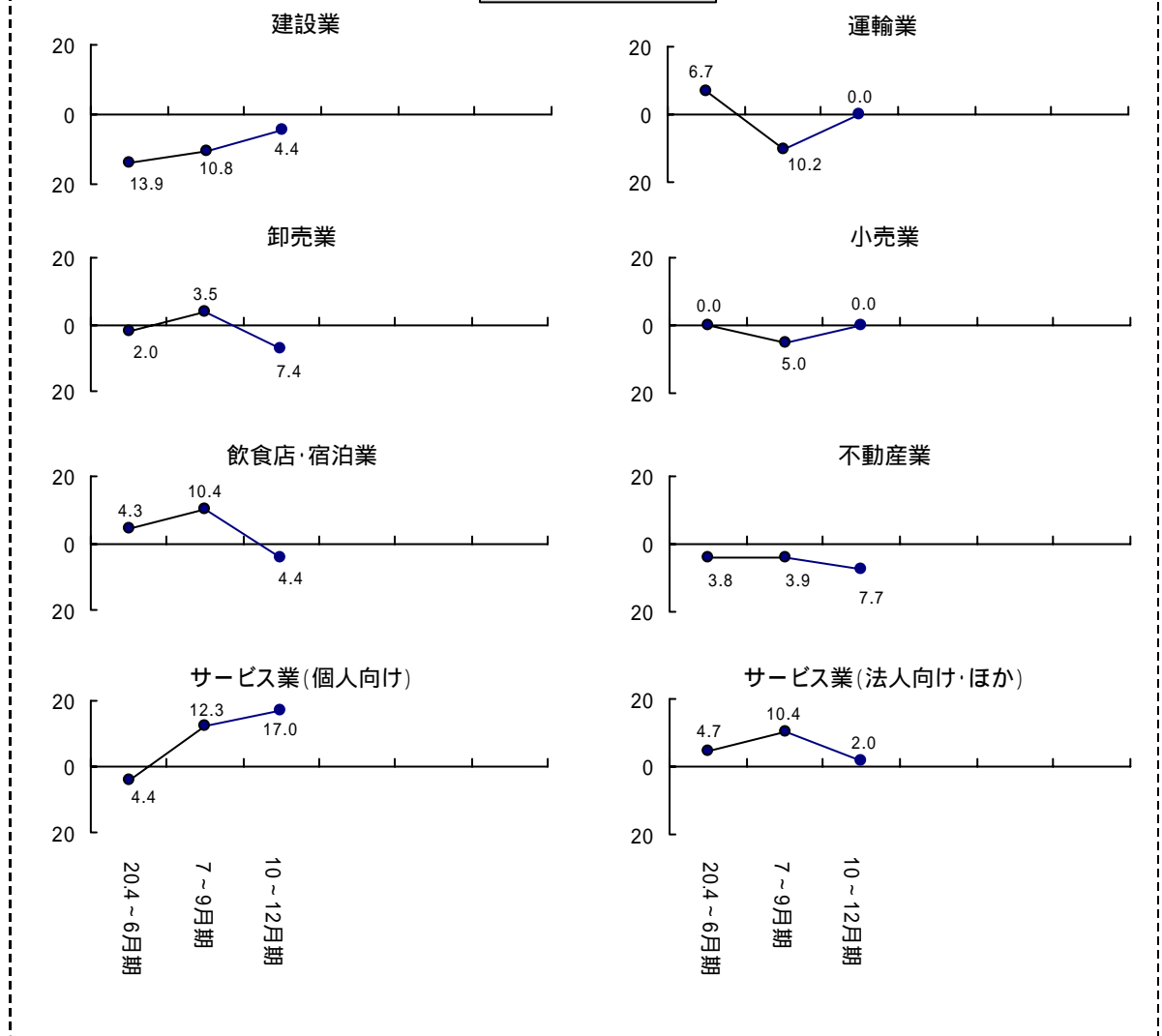
非製造業の内訳



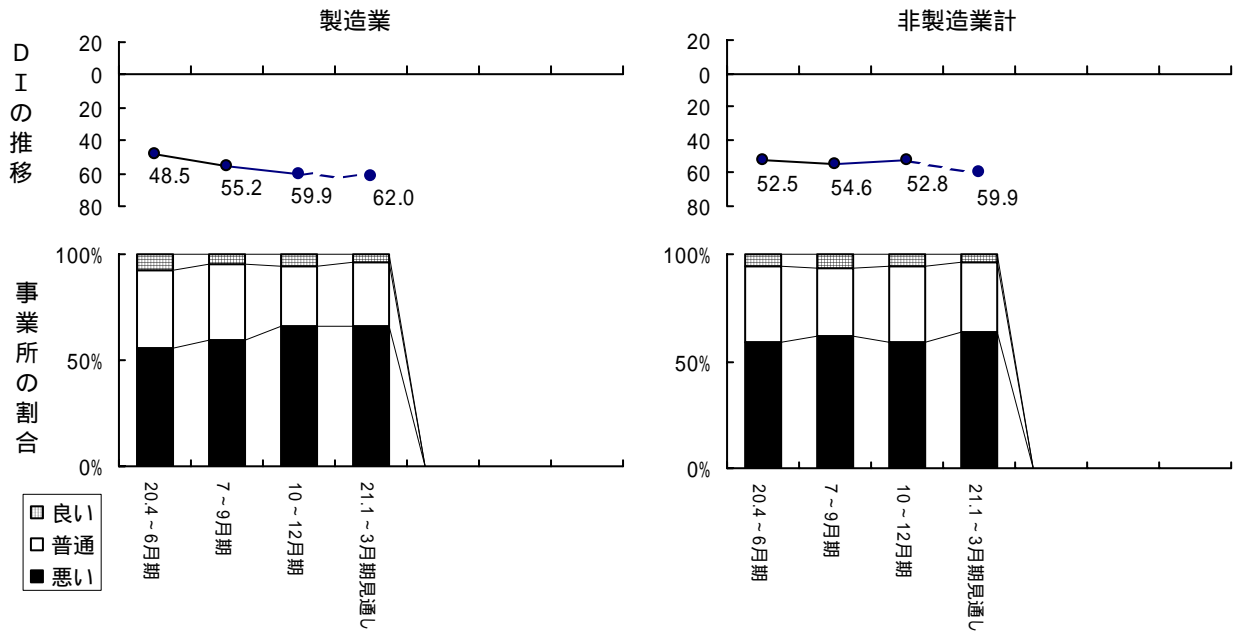
設問4 - 3 生産・営業用設備(予定)



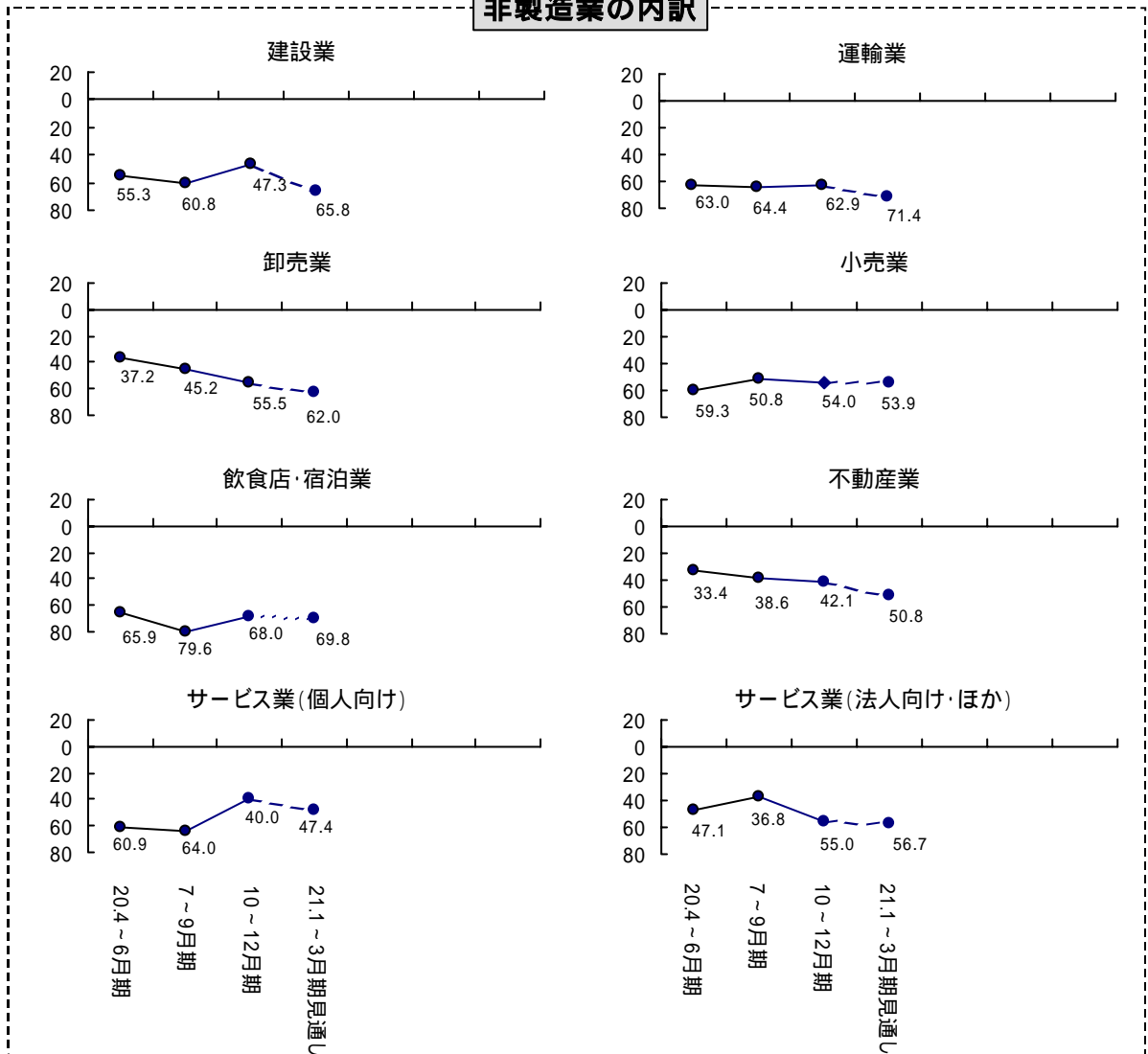
非製造業の内訳



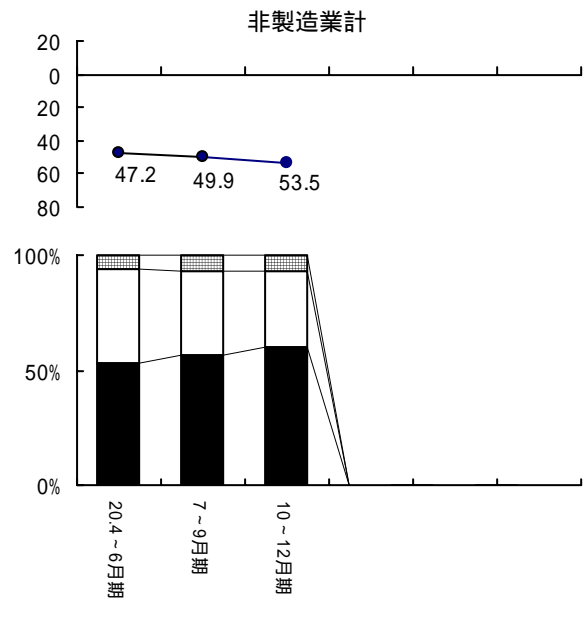
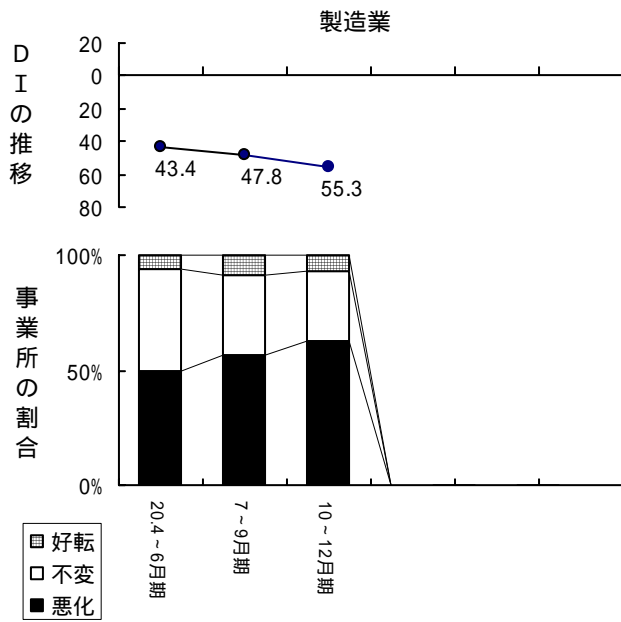
設問5 - 1 事業所の業況(業況の良し悪し)



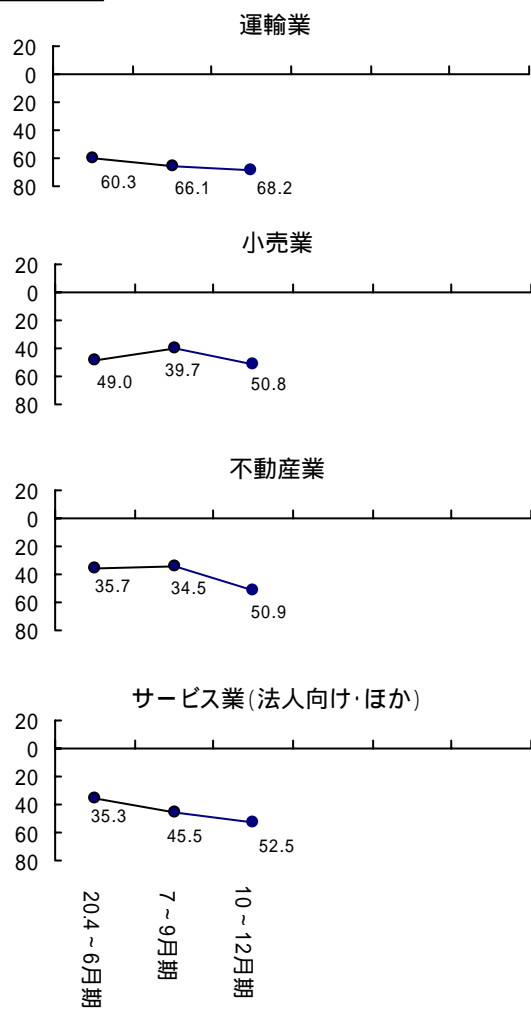
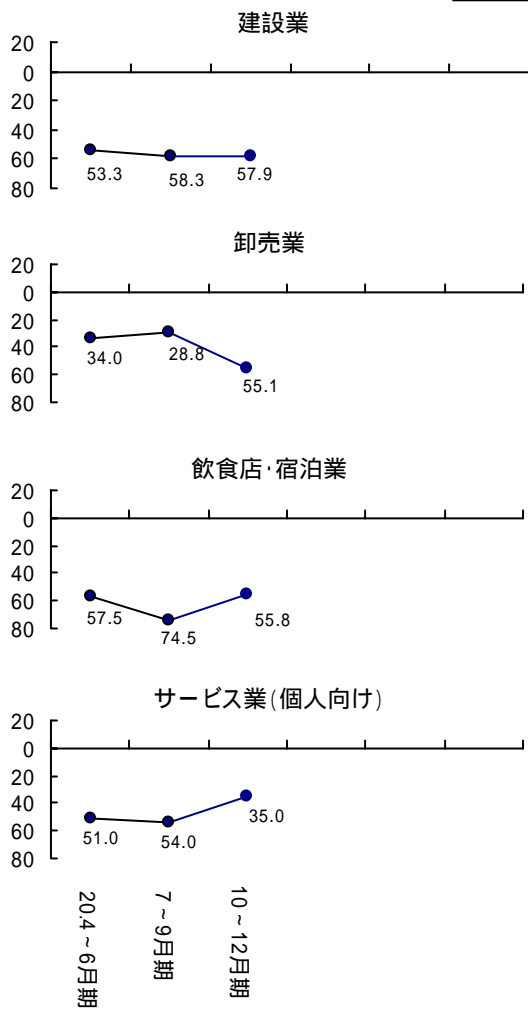
非製造業の内訳



設問6-1 事業所の業況(業況の変化)

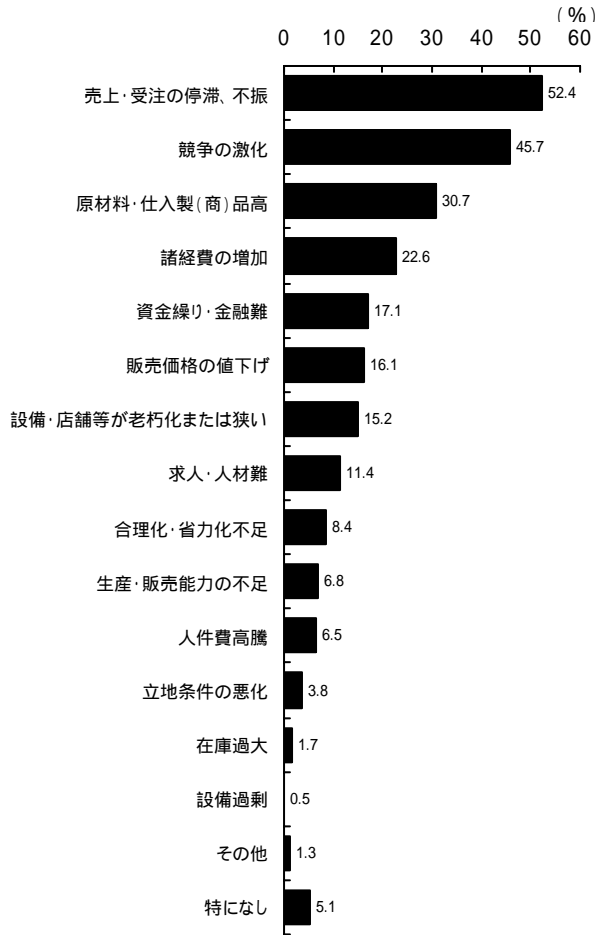


非製造業の内訳

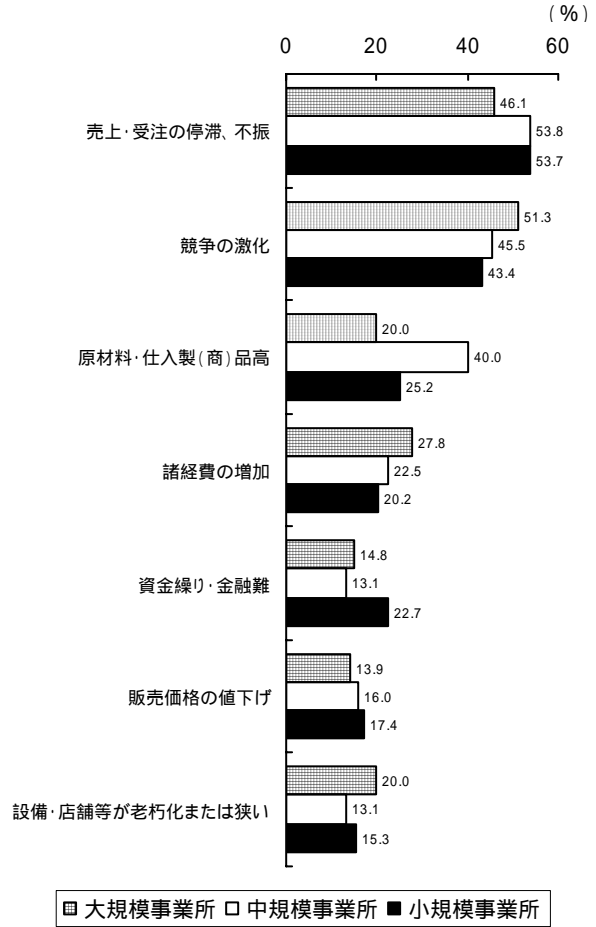


経営上の課題

当面の経営上の課題(全業種計)



当面の経営上の課題(規模別・抜粋)



当面の経営上の課題(業種別・抜粋)

製造業	非製造業
1 売上・受注の停滞、不振 (69.1%)	1 売上・受注の停滞、不振 (48.3%)
2 原材料・仕入製(商)品高 (49.6%)	2 競争の激化 (48.1%)
3 競争の激化 (35.8%)	3 原材料・仕入製(商)品高 (26.1%)

建設業	運輸業	卸売業
1 売上・受注の停滞、不振 (75.0%)	1 競争の激化 (49.2%)	1 売上・受注の停滞、不振 (63.9%)
2 競争の激化 (67.1%)	2 売上・受注の停滞、不振 (44.6%)	2 競争の激化 (50.0%)
3 原材料・仕入製(商)品高 (50.0%)	2 諸経費の増加 (44.6%)	3 原材料・仕入製(商)品高 (33.3%)

小売業	飲食店・宿泊業	不動産業
1 競争の激化 (50.8%)	1 売上・受注の停滞、不振 (50.9%)	1 競争の激化 (45.8%)
2 売上・受注の停滞、不振 (28.6%)	2 原材料・仕入製(商)品高 (45.3%)	2 設備・店舗等が老朽化または狭い (37.3%)
3 原材料・仕入製(商)品高 (27.0%)	3 競争の激化 (37.7%)	3 売上・受注の停滞、不振 (30.5%)
3 設備・店舗等が老朽化または狭い (27.0%)		3 販売価格の値下げ (30.5%)

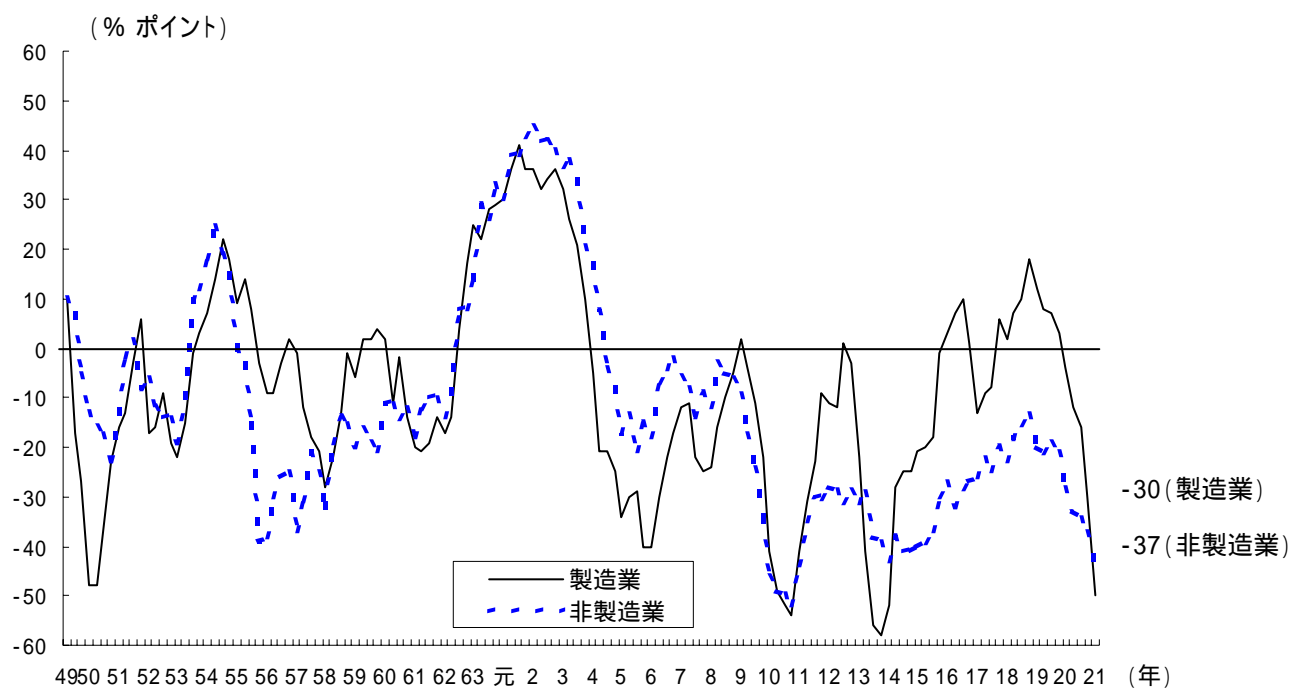
サービス業(個人向け)	サービス業(法人向け・ほか)
1 売上・受注の停滞、不振 (34.4%)	1 売上・受注の停滞、不振 (50.0%)
2 競争の激化 (34.4%)	2 競争の激化 (43.3%)
3 諸経費の増加 (31.1%)	3 諸経費の増加 (28.3%)

(2) 東北、全国の調査結果

東北

日本銀行仙台支店「全国企業短期経済観測調査結果 - 東北6県 - 」(平成20年12月15日)

東北地区の業況判断D Iの推移(日銀仙台支店「全国企業短期経済観測調査結果 - 東北6県 - 」)



業況判断D I (東北)

		前回(H20.9)調査		今回(H20.12)調査	
		最近	先行き	最近	先行き
製造業	大企業	16	20	33 (17) 1	54 (21) 2
	中堅・中小企業	15	20	30 (15)	49 (19)
	製造業計	16	20	30 (14)	50 (20)
非製造業	大企業	19	14	28 (9)	28 (0)
	中堅・中小企業	35	38	37 (2)	45 (8)
	非製造業計	34	37	37 (3)	44 (7)
全産業・全規模合計		27	30	34 (7)	46 (12)

D I値は、「良い」回答者構成比(%)から「悪い」回答者構成比(%)を差し引いた値。

値が小さいほど、業況判断は悪いということになる。 はマイナスを表す。

()内は変化幅(差)を表す。 1は前回の「最近」と今回の「最近」との変化幅。
2は今回の「最近」と今回の「先行き」との変化幅。

日本銀行仙台支店「経済の動き」(平成20年12月15日)

東北地区6県(青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島)

概況

東北地域の景気は、悪化している。

最終需要の動向をみると、公共投資がこのところ前年を上回って推移している。一方、設備投資は、企業収益の悪化などから、製造業を中心に減少している。個人消費は、所得環境の悪化や食料品の値上がりなどに伴う慎重な購買スタンスを背景に、弱めの動きが広がっている。また、住宅投資が基調としては低調に推移しているほか、生産も広範な業種において減産の動きがみられる。こうした中、雇用情勢をみると、製造業を中心に人員調整の動きがみられ始めており、弱めの動きが広がりつつある。

(1) 個人消費

個人消費は、所得環境の悪化や食料品の値上がりなどに伴う慎重な購買スタンスを背景に、弱めの動きが広がっている。

(2) 住宅投資

住宅投資は、基調としては低調に推移している。

(3) 公共投資

公共投資は、このところ前年を上回って推移している。

(4) 生産

生産(鉱工業生産)は、広範な業種において減産の動きがみられる。

(5) 雇用・所得

雇用情勢をみると、製造業を中心に人員調整の動きがみられ始めており、弱めの動きが広がりつつある。

(6) 金融情勢

預金動向は、法人預金、公金預金が前年を下回っているものの、個人預金が堅調に推移していることから、全体では前年を上回っている。

貸出動向は、住宅ローンが頭打ちとなっているものの、地方公共団体向けが増加していることから、前年を上回っている。

日本銀行仙台支店「経済の動き」「全国企業短期経済観測調査結果 - 東北地区6県 - 」
についての詳しい情報は、日本銀行仙台支店のHP

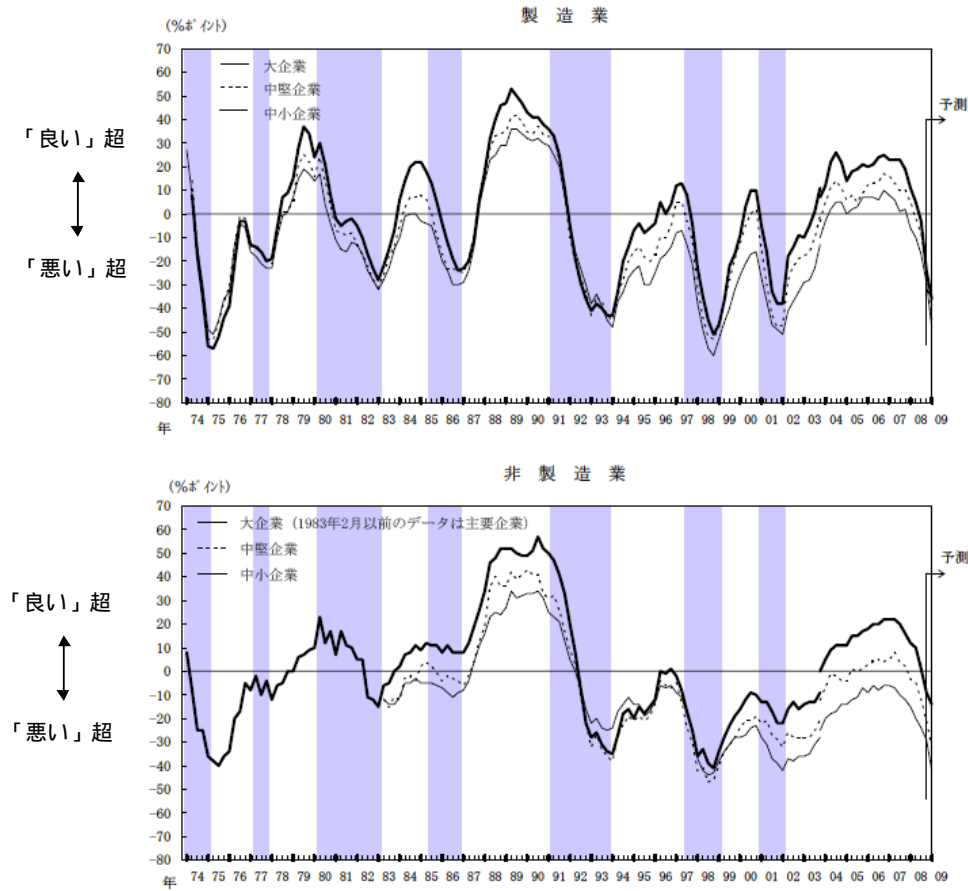
<http://www3.boj.or.jp/sendai/>

を参照してください。

全国

日本銀行「企業短期経済観測調査」(平成20年12月15日)

業況判断の推移(日銀短観 上:製造業 下:非製造業)



(注) グラフ中の網掛けは、景気後退期(内閣府調べ)

業況判断DI(日銀短観:全国)

		前回(H20.9)調査		今回(H20.12)調査	
		最近	先行き	最近	先行き
製造業	大企業	3	4	24(21) 1	36(12) 2
	中堅企業	8	12	24(16)	45(21)
	中小企業	17	25	29(12)	48(19)
	製造業計	11	16	25(14)	44(19)
非製造業	大企業	1	1	9(10)	14(5)
	中堅企業	12	17	21(9)	32(11)
	中小企業	24	31	29(5)	42(13)
	非製造業計	16	22	23(7)	33(10)
全産業・全規模合計		14	19	24(10)	38(14)

DI値は、「良い」回答者構成比(%)から「悪い」回答者構成比(%)を差し引いた値
 値が小さいほど、業況判断は悪いということになる。 はマイナスを表す。
 ()内は変化幅(差)を表す。 1は前回の「最近」と今回の「最近」との変化幅。
 2は今回の「最近」と今回の「先行き」との変化幅。

日本銀行「企業短期経済観測調査」についての詳しい情報は、日本銀行のHP
http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/tk/
 を参照してください。

(3) 主要経済指標

主要経済指標グラフ

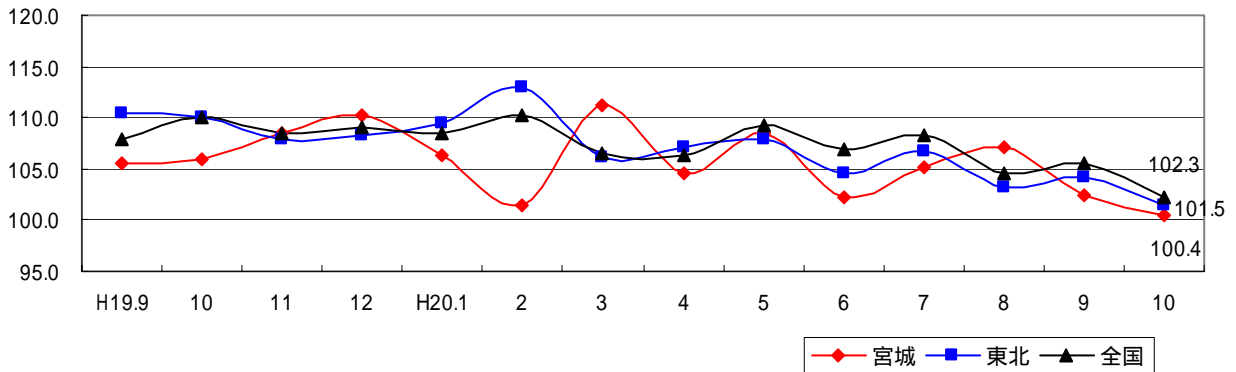
鉱工業生産指数（宮城）（資料：宮城県統計課）

宮城県における10月の鉱工業生産指数は平成17年を100として100.4となり、前月比で2.0%と2ヶ月連続の低下となった。前年同月比では5.3%と、2ヶ月連続の低下となった。

業種別にみると、前月と比べて上昇した主な業種は「化学、石油・石炭工業（上昇率8.2%）」、「電気機械工業（同7.9%）」、「非鉄金属工業（同7.7%）」、低下した主な業種は「窯業・土石製品工業（低下率13.8%）」、「電子部品・デバイス工業（同10.7%）」、「輸送機械工業（同8.8%）」となっている。

(平成17年 = 100.0)

鉱工業生産指数(平成17年 = 100)季節調整値

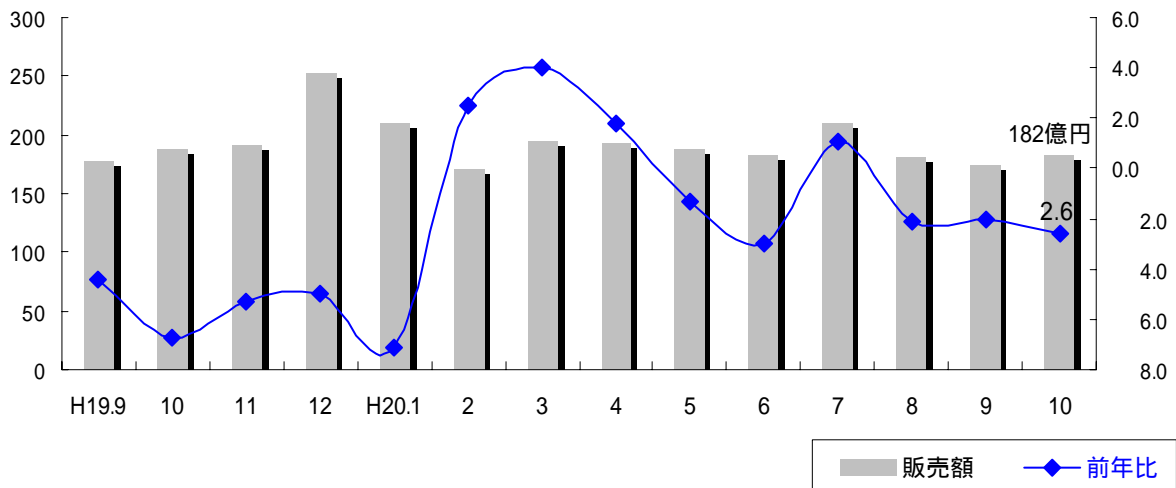


指数 区分	季節調整済指数			原指数		
	20年9月	20年10月	前月比(%)	19年10月	20年10月	前年同月比(%)
宮城県	102.4	100.4	2.0	110.4	104.6	5.3
東北	104.1	101.5	2.5	114.3	105.4	7.8
全国	105.6	102.3	3.1	113.4	105.4	7.1

大型小売店販売額（仙台）（資料：経済産業省）

百貨店＋スーパー 10月の、百貨店とスーパーの販売額の合計金額は182億円で、前年同月比で2.6%の減少となった。

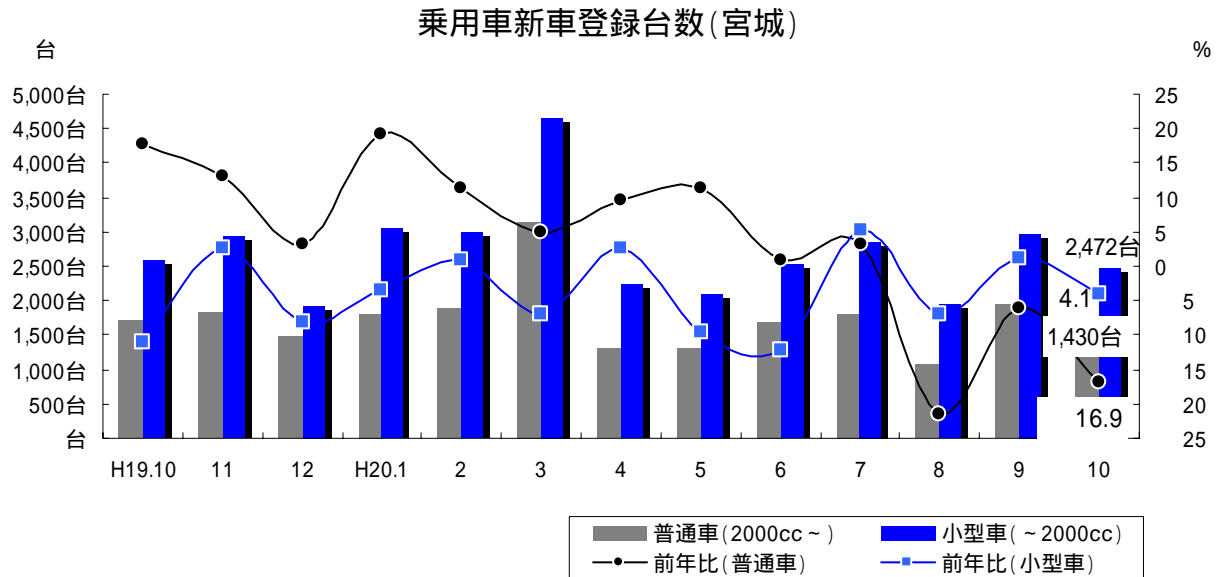
大型小売店販売額(仙台 店舗調整前)



乗用車新車登録台数（宮城）

（資料：自動車販売協会連合会宮城県支部）

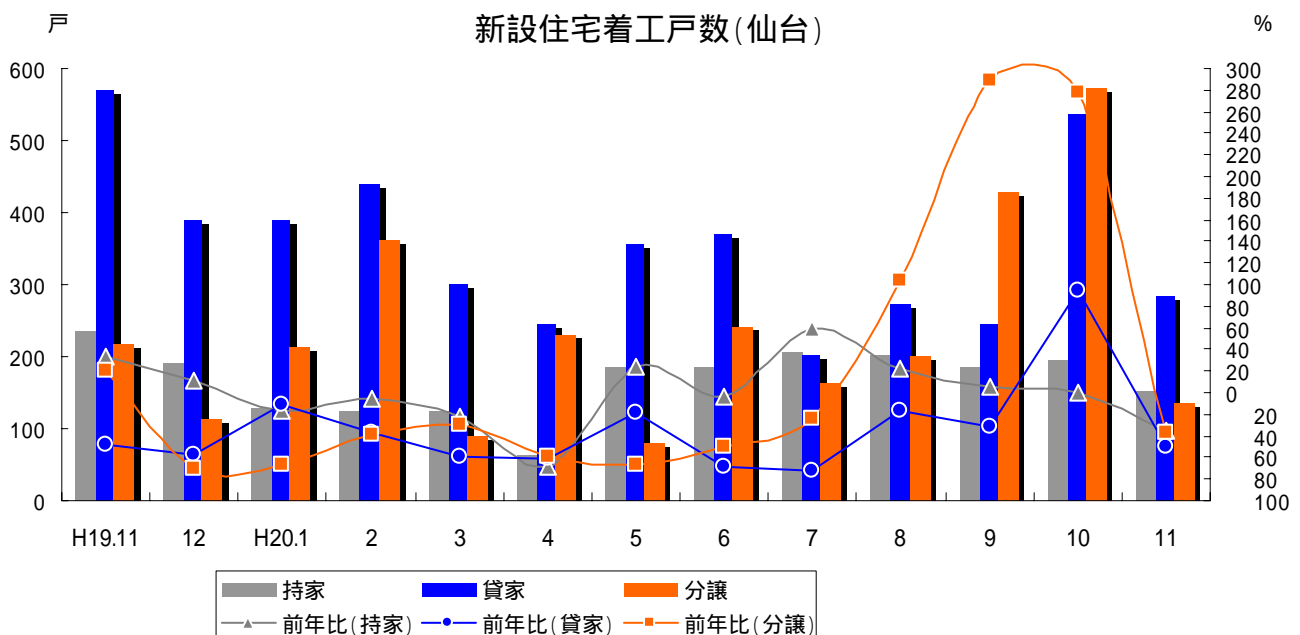
10月の乗用車新車登録台数は3,902台で、前年同月比で9.2%の減少となった。排気量2,000ccを超える普通車は1,430台で前年同月比16.9%の減少、2,000cc以下の小型車は2,472台で前年同月比4.1%の減少となっている。



新設住宅着工戸数（仙台）

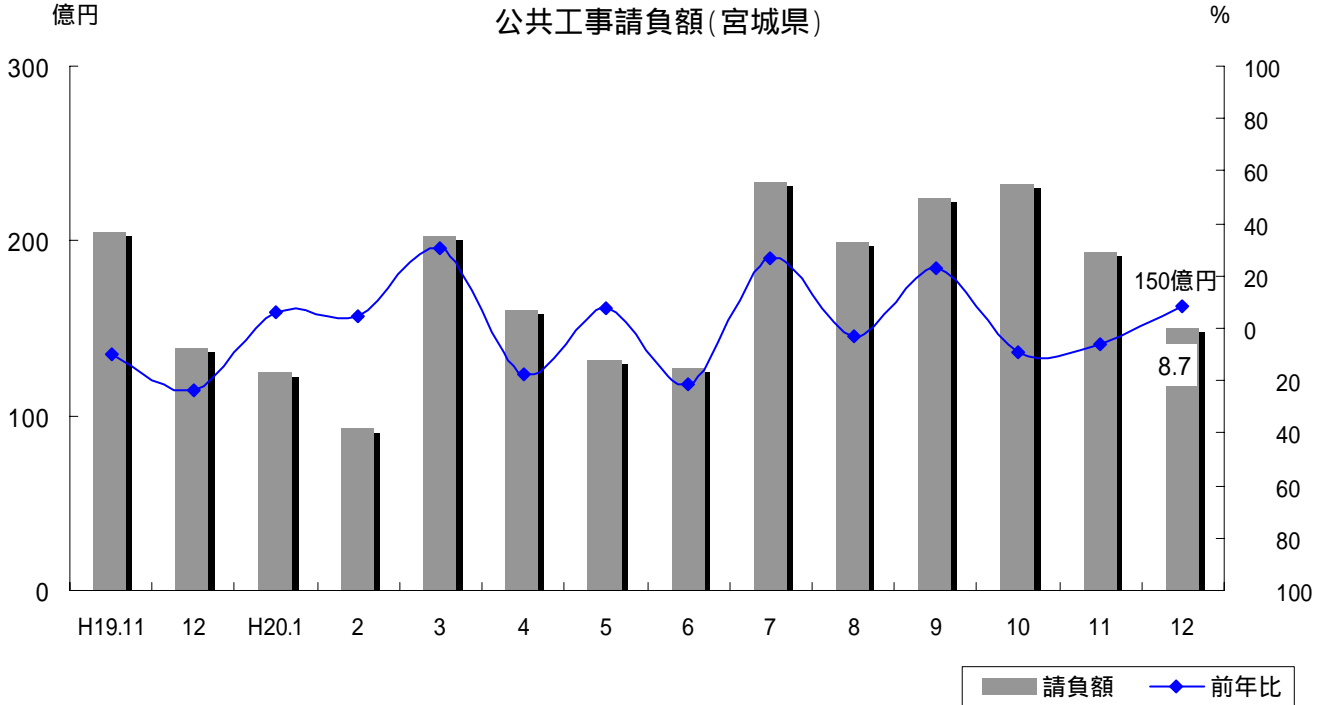
（資料：(財)建設物価調査会）

11月の新設住宅着工戸数は572戸で、前年同月比で44.2%の減少となった。主な利用関係別についてみると、「持家」が152戸で前年比35.6%の減少、「貸家」は284戸で前年比50.1%の減少、「分譲」は136戸で前年比37.3%の減少となった。



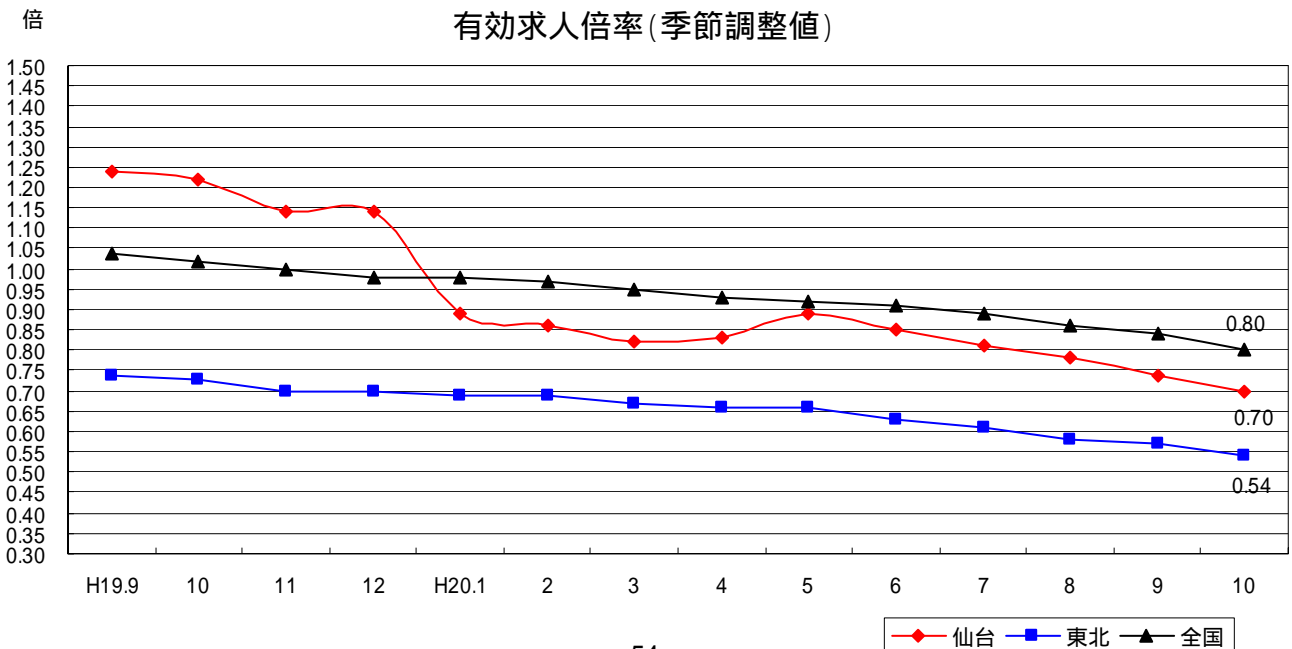
公共工事請負額（宮城）（資料：東日本建設業保証（株））

12月の公共工事請負額（宮城県内）は150億円で、前年同月比で8.7%の増加となった。



有効求人倍率（仙台及び周辺市町村）（資料：仙台公共職業安定所）

10月の仙台（ハローワークプラザ青葉および仙台学生職業センター取り扱い分）の有効求人倍率（当課の推計 パートを含む 季節調整値）は0.70倍で、前月比で0.04ポイントの減少となった。
有効求人倍率の仙台については、平成20年1月分より、ハローワークプラザ青葉取り扱い分と仙台学生職業センター取り扱い分を含めています。

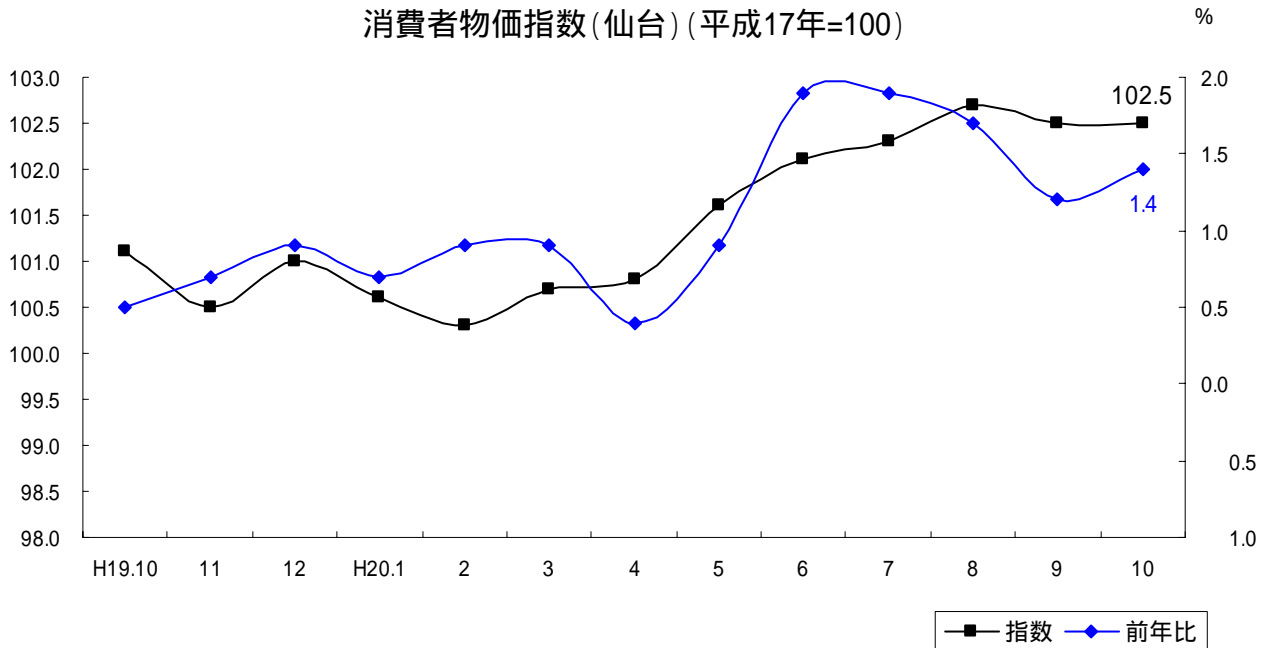


消費者物価指数（仙台）（資料：宮城県統計課）

10月の消費者物価総合指数は、平成17年を100として102.5となり、前月と比べ横ばいとなった。また、前年同月比では1.4%の上昇となった。

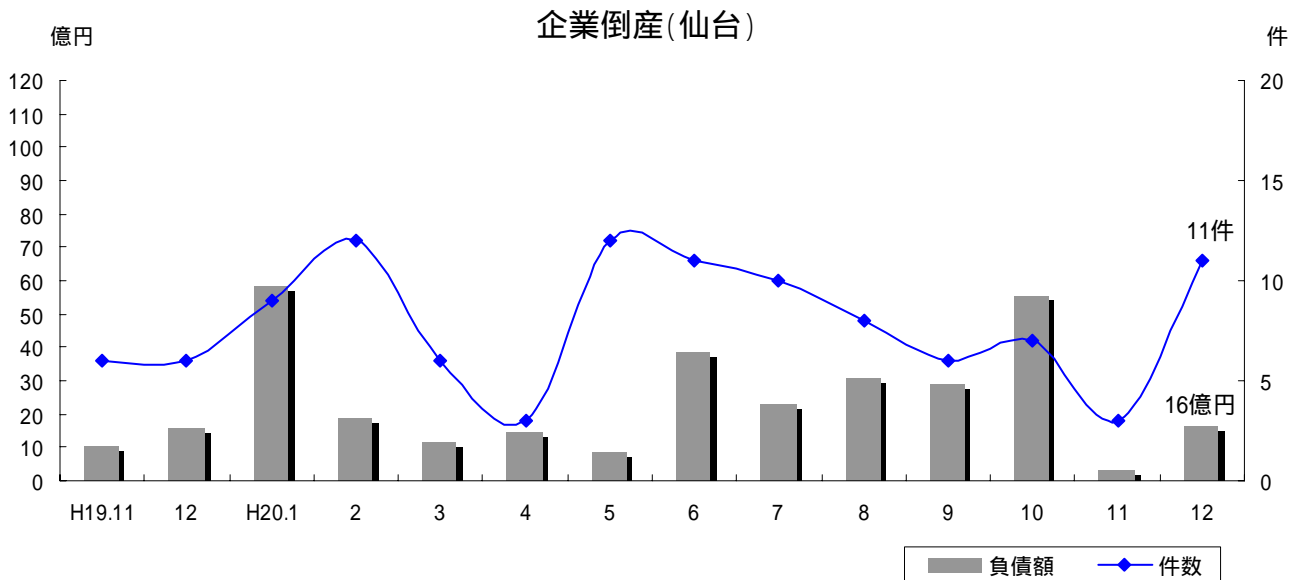
10大費目別に前年同月比をみると、食料、光熱・水道、交通・通信、教育などが上昇し、家具・家事用品、被服及び履物、保健医療などが下落した。

消費者物価指数（仙台）（平成17年=100）



企業倒産（仙台）（資料：(株)東京商工リサーチ）

12月の負債額1,000万円以上の倒産件数は11件、負債総額は16億円となった。これは前年同月比で、件数では5件の増加、負債総額は約3千万円の増加となっている。



主要経済指標一覧表

	生産									個人消費					
	鉱工業生産指数(平成17年=100) (季節調整済,前年比は原指数)									大型小売店販売額(前年比は店舗調整前) (百貨店)					
	全国			東北			宮城			全国		東北		仙台	
	指数	前月比 (%)	前年比 (%)	指数	前月比 (%)	前年比 (%)	指数	前月比 (%)	前年比 (%)	販売額 (億円)	前年比 (%)	販売額 (百万円)	前年比 (%)	販売額 (百万円)	前年比 (%)
平成15年	94.1	-	-	97.8	-	-	92.6	-	-	91,067	2.8	343,133	6.2	125,081	3.8
平成16年	98.7	-	4.9	101.3	-	3.6	102.0	-	10.2	88,536	2.8	329,872	3.9	122,894	1.7
平成17年	100.0	-	1.3	100.0	-	1.3	100.0	-	2.0	87,629	1.0	320,221	2.9	120,432	2.0
平成18年	104.5	-	4.5	103.8	-	3.8	105.8	-	5.8	86,440	1.4	304,892	4.8	110,282	8.4
平成19年	107.4	-	2.8	108.6	-	4.6	106.3	-	0.5	84,652	2.1	281,266	7.7		
19年4月～6月	106.4	0.6	2.3	108.0	0.9	3.9	104.4	3.2	1.6	20,132	0.5	66,096	7.3		
7月～9月	108.2	1.7	2.6	110.5	2.3	6.9	104.7	0.3	0.3	19,678	3.7	64,762	9.3		
10月～12月	109.2	0.9	3.3	108.7	1.6	3.1	108.3	3.4	2.6	24,019	2.4	77,914	8.0		
20年1月～3月	108.4	0.7	2.3	109.6	0.8	0.8	106.4	1.8	0.6	20,462	1.7	70,281	3.1		
4月～6月	107.5	0.8	1.0	106.5	2.8	1.4	105.1	1.2	1.0	19,228	4.5	62,627	5.2		
7月～9月	106.1	1.3	1.4	104.7	1.7	4.7	104.9	0.2	0.6	19,014	3.4	62,520	3.5	22,000	-
平成19年7月	107.0	0.1	3.1	110.2	1.6	8.7	104.8	0.5	0.9	7,906	5.7	24,769	11.4		
8月	109.7	2.5	4.6	110.8	0.5	7.8	103.8	1.0	2.0	5,744	0.5	20,324	6.4		
9月	107.9	1.6	0.2	110.4	0.4	4.4	105.5	1.6	1.6	6,028	4.0	19,669	9.4		
10月	110.0	1.9	5.3	110.1	0.3	6.1	106.0	0.5	0.5	6,862	2.8	22,894	9.1		
11月	108.4	1.5	3.2	107.8	2.1	2.9	108.5	2.4	3.3	7,565	0.5	23,729	7.9		
12月	109.1	0.6	1.5	108.3	0.5	0.3	110.3	1.7	4.1	9,592	3.6	31,291	7.4		
平成20年1月	108.5	0.5	2.9	109.5	1.1	3.1	106.3	3.6	0.2	7,399	3.1	24,857	9.4		
2月	110.2	1.6	5.1	113.0	3.2	1.8	101.5	4.5	0.7	5,833	0.2	19,599	0.3		
3月	106.5	3.4	0.7	106.2	6.0	2.0	111.3	9.7	0.9	7,231	1.6	25,826	1.2		
4月	106.3	0.2	1.9	107.1	0.8	0.8	104.6	6.0	2.6	6,381	3.3	21,359	2.2		
5月	109.3	2.8	1.1	107.8	0.7	1.4	108.4	3.6	2.2	6,405	2.6	20,889	4.9	7,368	-
6月	106.9	2.2	0.0	104.5	3.1	3.7	102.2	5.7	1.7	6,441	7.5	20,379	8.6	6,678	-
7月	108.3	1.3	2.4	106.7	2.1	1.9	105.1	2.8	1.6	7,716	2.4	23,942	3.3	9,285	-
8月	104.5	3.5	6.9	103.2	3.3	9.3	107.2	2.0	0.6	5,567	3.1	19,705	3.0	6,410	-
9月	105.6	1.1	0.2	104.1	0.9	3.2	102.4	4.5	0.3	5,731	4.9	18,873	4.0	6,305	-
10月	102.3	3.1	7.1	101.5	2.5	7.8	100.4	2.0	5.3	6,369	7.2	21,092	7.9	6,962	-
11月															
12月															
資料	経済産業省			東北経済産業局			宮城県			経済産業省					

大型小売店販売額の仙台市の平成19年7月から平成20年4月までの数値は、百貨店・スーパーを合算したものを次項スーパーの欄に記載しています。

個人消費

大型小売店販売額(前年比は店舗調整前) (スーパー)						乗用車新車登録台数									
全国		東北		仙台		全国		東北		宮城					
販売額 (億円)	前年比 (%)	販売額 (百万円)	前年比 (%)	販売額 (百万円)	前年比 (%)	総数 (台)	前年比 (%)	総数 (台)	前年比 (%)	総数 (台)	前年比 (%)	普通車 (台)	前年比 (%)	小型車 (台)	前年比 (%)
126,526	0.1	912,149	2.3	127,360	0.5	3,415,821	1.9	242,352	1.3	63,956	0.4	20,154	6.0	43,802	3.1
126,137	0.3	912,078	0.0	126,809	0.4	3,377,465	1.1	235,408	2.9	63,163	1.2	22,516	11.7	40,647	7.2
125,654	0.4	898,239	1.5	124,673	1.7	3,353,586	0.7	229,038	2.7	61,471	2.7	20,013	11.1	41,458	2.0
125,010	0.5	905,903	0.9	131,540	5.5	3,126,236	6.8	213,513	6.8	57,930	5.8	19,498	2.6	38,432	7.3
127,336	1.9	921,266	1.7	234,370	3.1	2,945,665	5.8	198,114	7.2	54,143	6.5	20,477	5.0	33,666	12.4
31,191	1.1	225,383	1.6	56,408	1.8	629,290	8.4	42,745	10.0	11,380	8.9	4,019	5.2	7,361	10.9
31,555	1.7	231,654	0.9	57,066	4.5	719,414	4.7	47,724	6.5	12,948	5.9	5,213	11.9	7,735	15.1
33,941	2.5	236,603	1.1	63,040	5.6	696,068	2.9	45,284	3.1	12,475	0.8	5,031	11.5	7,444	5.4
31,578	3.0	233,499	2.6	57,422	0.8	912,161	1.3	62,793	0.7	17,527	1.1	6,841	10.1	10,686	4.0
31,444	0.8	228,067	1.2	55,949	0.8	633,493	0.7	42,758	0.0	11,128	2.2	4,281	6.5	6,847	7.0
31,769	0.7	233,831	0.9	34,562	-	701,972	2.4	46,510	2.5	12,619	2.5	4,849	7.0	7,770	0.5
	0.0	74,813	0.4	20,777	6.0	244,239	8.5	16,476	12.7	4,474	9.9	1,761	5.1	2,713	17.6
10,949	2.9	84,853	1.6	18,526	3.0	190,130	0.9	12,536	1.8	3,459	3.0	1,367	18.3	2,092	5.0
9,899	2.4	71,988	1.5	17,764	4.4	285,045	4.9	18,712	5.9	5,015	7.8	2,085	14.1	2,930	18.9
10,299	1.7	72,968	1.1	18,718	6.7	233,295	5.5	15,949	2.4	4,297	1.4	1,720	17.8	2,577	11.1
10,559	3.6	73,426	2.1	19,078	5.3	258,013	6.7	17,505	8.2	4,768	6.3	1,825	13.1	2,943	2.5
13,083	2.1	90,209	0.4	25,244	5.0	204,760	4.2	11,830	3.0	3,410	3.5	1,486	3.3	1,924	8.2
11,400	0.8	85,731	0.4	20,922	7.1	212,842	6.5	14,448	2.9	4,867	3.8	1,804	19.2	3,063	3.5
9,706	4.5	71,459	3.2	16,966	2.5	285,320	1.5	17,565	1.5	4,872	4.7	1,890	11.4	2,982	0.8
10,472	4.2	76,309	4.5	19,534	4.0	413,999	1.4	30,780	0.7	7,788	2.6	3,147	4.8	4,641	7.1
10,431	1.1	76,271	1.7	19,021	1.8	200,833	9.4	14,290	8.0	3,541	5.1	1,302	9.7	2,239	2.6
10,546	0.7	76,494	0.6	11,399	-	190,337	4.4	12,766	3.1	3,398	2.7	1,306	11.2	2,092	9.7
10,466	0.6	75,302	1.2	11,483	-	242,323	1.8	15,702	3.9	4,189	7.3	1,673	0.9	2,516	12.1
10,945	2.2	77,361	3.4	11,728	-	267,263	9.4	17,682	7.3	4,672	4.4	1,815	3.1	2,857	5.3
10,964	0.1	84,893	0.0	11,730	-	165,653	12.9	11,021	12.1	3,022	12.6	1,075	21.4	1,947	6.9
9,859	0.4	71,577	0.6	11,105	-	269,056	5.6	17,807	4.8	4,925	1.8	1,959	6.0	2,966	1.2
10,299	0.0	73,393	0.6	11,277	-	202,117	13.4	14,341	10.1	3,902	9.2	1,430	16.9	2,472	4.1
経済産業省						(社)日本自動車販売協会連合会									

大型小売店販売額の仙台市の平成19年7月から平成20年4月までの数値は、百貨店・スーパーを合算したものです。

	家計消費						住宅投資							
	1世帯あたり消費支出(全世帯) (前年比は名目値)						新設住宅着工戸数							
	全国		東北		仙台		全国		東北		仙台			
	支出額 (円)	前年比 (%)	支出額 (円)	前年比 (%)	支出額 (円)	前年比 (%)	総数		総数		総数		持家	
戸数							前年比 (%)	戸数	前年比 (%)	戸数	前年比 (%)	戸数	前年比 (%)	
平成15年	301,841	1.3	283,595	4.1	280,386	11.8	1,160,083	0.8	64,889	8.4	10,290	14.6	2,290	2.2
平成16年	302,975	0.4	293,172	4.5	303,273	8.8	1,189,049	2.5	64,492	0.6	10,903	6.0	2,422	5.8
平成17年	300,531	0.8	286,825	2.2	319,309	5.3	1,236,175	4.0	64,617	0.2	12,904	18.4	2,293	5.3
平成18年	294,943	1.9	274,927	4.1	289,537	9.3	1,290,391	4.4	67,005	3.7	14,937	15.8	2,353	2.6
平成19年	297,782	1.0	289,345	5.2	306,736	5.9	1,060,741	17.8	56,511	15.7	12,502	16.3	2,087	11.3
19年4月～6月	296,660	0.5	293,065	3.3	316,352	8.1	325,480	2.6	16,820	10.3	4,091	12.2	547	15.2
7月～9月	289,705	1.3	282,184	6.8	291,813	8.5	207,808	37.1	12,916	26.9	2,379	32.5	472	32.5
10月～12月	310,496	1.4	297,544	10.5	322,914	10.5	248,386	27.3	14,241	21.0	2,342	48.8	622	14.6
20年1月～3月	299,406	1.7	305,798	7.5	332,778	12.5	253,924	9.0	10,821	13.7	2,173	41.1	378	15.2
4月～6月	293,591	1.0	288,013	1.7	310,113	2.0	289,663	11.0	13,706	18.5	2,063	49.6	541	1.1
7月～9月	290,318	0.2	264,721	6.2	260,884	10.6	291,301	40.2	14,132	9.4	2,126	10.6	594	25.8
平成19年7月	291,632	0.2	294,372	8.6	287,572	0.4	81,714	23.4	5,058	15.5	1,141	10.9	130	45.2
8月	296,035	1.4	301,272	8.4	294,802	13.1	63,076	43.3	3,580	33.9	590	31.4	166	20.2
9月	281,448	3.0	250,907	3.2	293,066	12.7	63,018	44.0	4,278	31.5	648	53.1	176	30.7
10月	296,984	0.8	291,552	10.8	331,132	24.4	76,920	35.0	4,396	33.3	622	62.6	195	1.0
11月	282,836	0.0	269,094	11.1	283,648	1.0	84,252	27.0	4,961	11.5	1,025	29.0	236	33.3
12月	351,667	3.1	331,986	9.8	353,963	7.3	87,214	19.2	4,884	16.3	695	52.8	191	10.4
平成20年1月	309,826	4.5	313,567	16.8	342,455	6.7	86,971	5.7	3,530	9.1	734	41.1	129	16.2
2月	275,827	1.1	270,321	2.2	314,952	20.0	82,962	5.0	3,636	13.3	926	34.8	125	5.3
3月	312,565	0.3	333,506	8.0	340,927	12.1	83,991	15.6	3,655	18.0	513	49.9	124	22.5
4月	310,695	1.7	314,788	7.6	352,525	9.9	97,930	8.7	4,517	20.1	645	53.6	170	16.3
5月	288,128	1.7	272,024	7.2	309,912	13.0	90,804	6.5	4,269	7.2	620	24.4	185	24.1
6月	281,951	0.5	277,228	4.0	267,902	24.4	100,929	16.7	4,920	25.1	798	57.6	186	4.6
7月	298,366	2.3	265,319	9.9	273,575	4.9	97,212	19.0	4,645	8.2	573	49.8	206	58.5
8月	291,154	1.6	276,361	8.3	263,472	10.6	96,905	53.6	4,368	22.0	696	18.0	202	21.7
9月	281,433	0.0	252,483	0.6	245,605	16.2	97,184	54.2	5,119	19.7	857	32.3	186	5.7
10月	291,504	1.8	268,329	8.0	260,611	21.3	92,123	19.8	5,265	19.8	1,302	109.3	194	0.5
11月											572	44.2	152	35.6
12月														
資料	総務省						国土交通省							

住宅投資				公共投資				雇用								
新設住宅着工戸数				公共工事請負金額				新規求人(パートを含む) (原数値)			有効求人倍率 (パートを含む)			所定外労働時間(製造業) (従業者規模30人以上)		
仙台				全国	東北	宮城		全国	仙台		全国	東北	仙台	全国	宮城	
貸家		分譲		前年(度)比 (%)		請負額 (百万円)	前年 (度)比 (%)	前年比 (%)	求人数 (人)	前年比 (%)	倍(季節調整値)			前年比 (%)	時間	前年比 (%)
戸数	前年比 (%)	戸数	前年比 (%)													
5,276	19.8	2,688	12.2	13.7	17.0	313,728	5.9	12.0	102,573	15.9	0.64	0.54	0.95	10.4	17.9	1.2
5,518	4.6	2,824	5.1	11.1	11.9	293,042	6.6	11.7	106,256	3.6	0.83	0.64	1.14	7.5	16.4	5.6
7,429	34.6	3,102	9.8	5.6	7.3	249,963	14.7	10.3	113,225	6.6	0.95	0.68	1.26	0.4	16.0	1.7
9,367	26.1	3,184	2.6	5.2	7.3	231,201	7.5	4.3	124,894	10.3	1.06	0.77	1.37	3.5	17.3	7.8
6,750	27.9	3,557	11.7	4.1	5.0	201,324	12.9	6.4	116,964	6.3	1.04	0.76	1.40	0.7	16.7	2.6
2,211	7.0	1,287	109.3	0.7	5.4	47,975	8.4	4.2	29,238	2.6	1.06	0.78	1.51	0.9	16.4	0.3
1,435	32.6	421	38.5	7.3	6.6	57,206	10.1	8.1	27,716	10.2	1.05	0.76	1.35	0.4	16.3	0.6
1,233	58.5	483	54.2	2.9	12.8	59,929	13.2	9.6	24,978	22.5	1.00	0.71	1.16	2.4	18.4	9.8
1,129	39.7	666	51.2	5.2	11.9	42,077	16.2	13.8	24,081	31.3	0.97	0.68	0.85	0.9	15.7	0.0
970	56.1	552	57.1	8.4	22.4	41,943	12.6	15.3	22,733	22.2	0.92	0.65	0.85	1.9	15.1	7.7
720	49.8	790	87.6	4.7	7.7	65,697	14.8	16.1	21,895	21.0	0.86	0.59	0.78	5.4	15.2	6.6
748	9.7	213	40.0	4.0	8.9	18,380	14.2	4.1	9,625	4.4	1.06	0.77	1.43	0.6	17.0	5.9
326	32.8	98	41.0	5.1	4.5	20,611	4.5	6.7	9,716	4.2	1.05	0.76	1.37	0.6	15.7	3.8
361	62.4	110	32.5	12.1	20.4	18,215	29.9	13.2	8,375	21.5	1.04	0.74	1.24	1.2	16.1	3.6
275	71.9	151	69.3	3.2	17.5	25,591	8.8	3.9	10,145	15.4	1.02	0.73	1.22	2.8	18.0	13.5
569	47.3	217	19.9	4.3	16.0	20,526	10.2	10.9	8,726	22.2	1.00	0.70	1.14	3.2	19.1	13.8
389	57.5	115	69.8	1.1	1.8	13,812	23.8	15.1	6,107	32.2	0.98	0.70	1.14	1.1	18.2	2.6
390	12.0	215	66.8	3.5	2.7	12,488	6.3	9.8	7,938	31.2	0.98	0.69	0.89	0.0	14.6	4.5
439	36.6	362	39.1	13.1	34.0	9,289	4.7	9.9	8,613	28.2	0.97	0.69	0.86	0.5	16.6	3.1
300	59.2	89	28.8	12.6	10.0	20,300	30.2	21.3	7,530	34.5	0.95	0.67	0.82	2.2	16.0	1.3
245	60.9	230	58.9	4.7	27.2	16,052	17.8	12.6	7,276	20.5	0.93	0.66	0.83	2.2	15.6	5.5
355	17.8	80	66.5	9.6	15.4	13,135	7.4	15.6	8,376	18.1	0.92	0.66	0.89	0.6	14.7	8.1
370	67.9	242	50.4	11.3	19.4	12,756	21.3	17.9	7,081	28.2	0.91	0.63	0.85	2.7	15.0	9.6
204	72.7	163	23.5	13.8	8.4	23,335	27.0	13.5	7,585	21.2	0.89	0.61	0.81	3.2	15.8	7.1
272	16.6	200	104.1	6.0	2.1	19,919	3.4	21.3	6,624	31.8	0.86	0.58	0.78	6.2	14.5	7.7
244	32.4	427	288.2	5.5	12.4	22,443	23.2	13.4	7,686	8.2	0.84	0.57	0.74	7.0	15.3	5.0
537	95.3	571	278.1	0.4	7.5	23,157	9.5	18.1	6,887	32.1	0.80	0.54	0.70			
284	50.1	136	37.3			19,308	5.9	23.7			0.76	0.50				
						15,019	8.7									
国土交通省				保証事業会社協会	東日本建設業保証(株)			厚生労働省	仙台公共職業安定所	厚生労働省	東北6県労働局	仙台公共職業安定所	厚生労働省	宮城県		

有効求人倍率の仙台については、平成20年1月分より、ハローワークプラザ青葉取り扱い分と仙台学生職業センター取り扱い分を含めています。

	物 価						金 融							
	消費者物価指数 (平成17年 = 100)						金融機関預金残高(末残)				金融機関貸出残高(末残)			
	全 国			仙 台			全 国	東 北	仙 台		全 国	東 北	仙 台	
	指数	前月比 (%)	前年比 (%)	指数	前月比 (%)	前年比 (%)	前年(度)比 (%)		残高 (億円)	前年 (度)比 (%)	前年(度)比 (%)		残高 (億円)	前年 (度)比 (%)
平成15年	100.3	-	0.3	100.9	-	0.0	1.9	0.7	68,154	4.0	3.7	2.3	45,068	4.7
平成16年	100.3	-	0.0	100.6	-	0.3	1.3	0.2	68,411	0.4	2.4	1.9	44,223	1.9
平成17年	100.0	-	0.3	100.0	-	0.6	1.5	0.2	68,741	0.5	1.1	0.5	44,618	0.9
平成18年	100.3	-	0.3	100.3	-	0.3	0.7	0.1	69,231	0.7	1.4	0.3	45,220	1.3
平成19年	100.3	-	0.0	100.5	-	0.2	3.0	1.5	72,142	4.2	0.1	1.3	44,876	0.8
19年4月～6月	100.2	0.4	0.1	100.4	0.7	0.2	2.1	1.5	70,325	3.1	0.2	0.3	44,926	2.1
7月～9月	100.4	0.2	0.2	100.9	0.5	0.3	2.2	0.8	70,395	2.9	0.2	1.0	45,422	0.8
10月～12月	100.8	0.4	0.5	100.9	0.0	0.7	3.0	1.5	72,142	4.2	0.1	1.3	44,876	0.8
20年1月～3月	100.7	0.1	0.9	100.5	0.4	0.8	2.6	1.0	71,772	4.7	1.2	0.1	45,012	0.2
4月～6月	101.6	0.9	1.4	101.5	1.0	1.1	2.9	1.8	72,339	2.9	1.7	0.6	45,810	2.0
7月～9月	102.6	1.0	2.2	102.5	1.0	1.6			72,084	2.4			46,275	1.9
平成19年7月	100.1	0.1	0.0	100.4	0.2	0.3	2.7	0.9	69,758	2.8	0.2	0.8	44,789	1.4
8月	100.6	0.5	0.2	101.0	0.6	0.1	2.3	0.9	70,285	2.8	0.1	1.0	44,712	0.5
9月	100.6	0.0	0.2	101.3	0.3	0.6	2.2	0.8	70,395	2.8	0.2	1.0	45,422	0.8
10月	100.9	0.3	0.3	101.1	0.2	0.5	2.6	1.1	70,583	3.7	0.1	1.3	44,723	0.8
11月	100.7	0.2	0.6	100.5	0.6	0.7	2.8	1.1	70,981	4.0	0.3	1.3	44,853	0.4
12月	100.9	0.2	0.7	101.0	0.5	0.9	3.0	1.5	72,142	4.2	0.1	1.3	44,876	0.8
平成20年1月	100.7	0.2	0.7	100.6	0.4	0.7	3.0	1.6	71,867	4.5	0.6	1.3	44,648	1.1
2月	100.5	0.2	1.0	100.3	0.3	0.9	3.0	1.7	72,263	4.6	1.3	1.0	44,792	0.0
3月	101.0	0.5	1.2	100.7	0.4	0.9	2.6	1.0	71,186	3.8	1.2	0.1	45,596	1.1
4月	100.9	0.1	0.8	100.8	0.1	0.4	2.3	1.2	72,957	3.0	1.2	0.1	45,647	0.9
5月	101.7	0.8	1.3	101.6	0.8	0.9	1.8	1.7	71,458	2.7	2.1	0.6	45,824	1.8
6月	102.2	0.5	2.0	102.1	0.5	1.9	2.9	1.8	72,601	3.2	1.7	0.6	45,960	2.3
7月	102.4	0.2	2.3	102.3	0.2	1.9	2.2	2.3	72,135	3.4	2.1	1.1	46,028	2.8
8月	102.7	0.3	2.1	102.7	0.4	1.7	2.4	2.7	72,589	3.3	2.0	1.1	45,822	2.5
9月	102.7	0.0	2.1	102.5	0.2	1.2			71,529	1.6			46,974	3.4
10月				102.5	0.0	1.4								
11月														
12月														
資 料	総務省			宮城県			日本銀行	東北財務局	宮城県銀行協会		日本銀行	東北財務局	宮城県銀行協会	

金融機関預金・貸出残高の全国・東北には、信用組合・農林漁業金融機関・労働金庫分は含まない。

倒産（負債総額1千万円以上）											
倒産件数						負債額					
全国		東北		仙台		全国		東北		仙台	
件数 (件)	前年比 (%)	件数 (件)	前年比 (%)	件数 (件)	前年比 (%)	負債額 (億円)	前年比 (%)	負債額 (億円)	前年比 (%)	負債額 (万円)	前年比 (%)
16,255	14.8	912	28.2	117	35.0	115,818	16.0	3,704	31.6	8,176,800	7.2
13,679	15.8	790	13.4	118	0.9	78,177	32.5	3,239	12.6	6,223,300	23.9
12,998	5.0	810	2.5	125	5.9	67,035	14.3	2,731	15.7	3,095,900	50.3
13,245	1.9	793	2.1	96	23.2	55,006	17.9	2,407	11.9	2,636,600	14.8
14,091	6.4	781	1.5	93	3.1	57,279	4.1	2,756	14.5	2,591,600	1.7
3,616	10.2	200	3.6	15	40.0	13,001	14.5	1,022	59.3	245,900	86.8
3,465	6.6	182	17.3	23	9.5	16,809	66.4	489	28.2	606,200	343.5
3,570	6.1	203	5.2	24	14.3	13,951	10.8	607	1.9	497,400	50.1
3,715	8.0	217	10.7	27	12.9	14,194	5.0	673	5.4	879,900	29.2
3,829	5.9	236	18.0	26	73.3	17,602	35.4	887	13.3	614,500	149.9
4,034	16.4	239	31.3	24	0.0	68,958	310.2	933	90.8	823,200	35.8
1,215	15.6	56	23.3	4	20.0	3,498	12.8	183	34.7	107,500	497.2
1,203	2.9	79	8.2	10	25.0	8,705	113.6	129	56.9	96,300	84.1
1,047	1.7	47	36.5	9	12.5	4,606	57.3	177	72.4	402,400	506.0
1,260	8.1	77	10.0	12	100.0	4,613	25.2	227	36.8	236,600	309.3
1,213	11.2	56	12.0	6	0.0	4,926	11.5	187	71.3	103,500	30.8
1,097	1.1	70	4.1	6	33.3	4,413	12.7	193	51.0	157,300	27.0
1,174	7.6	65	0.0	9	40.0	5,812	1.3	258	69.8	579,600	18.9
1,194	8.3	71	2.9	12	140.0	3,652	26.1	154	40.1	188,100	221.0
1,347	8.0	81	30.6	6	45.5	4,730	3.2	261	13.9	112,200	83.9
1,215	8.4	77	28.3	3	0.0	7,181	16.5	449	39.5	141,600	461.9
1,290	1.5	82	24.2	12	100.0	5,498	49.1	128	16.0	86,100	49.7
1,324	11.7	77	4.1	11	83.3	4,924	56.1	310	142.4	386,800	679.8
1,372	12.9	82	46.4	10	150.0	6,653	90.2	333	82.4	228,700	112.7
1,254	4.2	79	0.0	8	20.0	8,680	0.2	255	97.9	307,500	219.3
1,408	34.5	78	66.0	6	33.3	53,625	1,064.2	345	94.5	287,000	28.7
1,429	13.4	95	23.4	7	41.7	10,077	118.5	252	11.1	546,000	130.8
				3	50.0					30,100	70.9
				11	83.3					160,700	2.2

(株)東京商工リサーチ

(4) 調査票



仙台市企業経営動向調査票 (平成20年12月調査)

仙台市経済局

お手数ですが、最初に「ご記入者」「電話番号」欄をご記入ください。
なお、貴事業所の「名称」「所在地」に誤りがございましたら、恐縮ですが、訂正願います。

名称	所在地		
ご記入者	部課名	役職	ご芳名
	事業所	小分類	Tel
			記号

貴事業所が本店・本社の場合は仙台市内全事業所を通じての判断を、支店・支社の場合は貴事業所関係分のみの判断を記入してください

設問1 貴事業所の、売上、収益等の状況について、おたずねします。

それぞれ、該当する番号を1つ選び、をつけてください。

今期(平成20年10月～12月期)の実績	➡	前年同期(平成19年10月～12月期)と比べて。
来期(平成21年1月～3月期)の見通し	➡	前年同期(平成20年1月～3月期)と比べて。

設問1-1 売上高

今期の実績	1. 増加した	2. 変化がなかった	3. 減少した
来期の見通し	1. 増加する	2. 変化はない	3. 減少する

設問1-2 販売数量

今期の実績	1. 増加した	2. 変化がなかった	3. 減少した
来期の見通し	1. 増加する	2. 変化はない	3. 減少する

設問1-3 経常利益

今期の実績	1. 増加した	2. 変化がなかった	3. 減少した
来期の見通し	1. 増加する	2. 変化はない	3. 減少する

設問2 貴事業所の、製品単価、原材料価格の状況について、おたずねします。

それぞれ、該当する番号を1つ選び、をつけてください。

今期(平成20年10月～12月期)の実績	➡	前期(平成20年7月～9月期)と比べて。
来期(平成21年1月～3月期)の見通し	➡	今期(平成20年10月～12月期)と比べて。

設問2-1 製(商)品単価 製(商)品を持たない業種の場合は未記入で結構です。

今期の実績	1. 上昇した	2. 変化がなかった	3. 下降した
来期の見通し	1. 上昇する	2. 変化はない	3. 下降する

設問2-2 原材料(仕入)価格 原材料を持たない業種の場合は未記入で結構です。

今期の実績	1. 上昇した	2. 変化がなかった	3. 下降した
来期の見通し	1. 上昇する	2. 変化はない	3. 下降する

設問3 貴事業所の、今期の在庫、労働力、設備、資金繰りの状況について、おたずねします。

それぞれ、該当する番号を1つ選び、 をつけてください。

今期（平成20年10月～12月期）の状況

設問3-1 製（商）品在庫 製（商）品を持たない業種の場合は未記入で結構です。

今期の状況	1. 過剰	2. やや過剰	3. 適正	4. やや不足	5. 不足
-------	-------	---------	-------	---------	-------

設問3-2 労働力 パートタイム、アルバイト等の非正規雇用従業員を含みます。

今期の状況	1. 過剰	2. やや過剰	3. 適正	4. やや不足	5. 不足
-------	-------	---------	-------	---------	-------

設問3-3 生産・営業用設備

今期の状況	1. 過剰	2. やや過剰	3. 適正	4. やや不足	5. 不足
-------	-------	---------	-------	---------	-------

設問3-4 資金繰り

今期の状況	1. 楽である	2. やや楽である	3. 普通	4. やや苦しい	5. 苦しい
-------	---------	-----------	-------	----------	--------

設問4 貴事業所の、今後の従業員数、設備投資の予定について、おたずねします。

来期以降の方向について、それぞれ該当する番号を1つ選び、 をつけてください。

設問4-1 正規従業員数

今後の予定	1. 増員する	2. 変化させない	3. 減員する
-------	---------	-----------	---------

設問4-2 非正規従業員数 季節的な要因を除いてご回答ください。

今後の予定	1. 増員する	2. 変化させない	3. 減員する
-------	---------	-----------	---------

設問4-3 生産・営業用設備

今後の予定	1. 増強する	2. 変化させない	3. 縮小する
-------	---------	-----------	---------

設問5 貴事業所の業況について、おたずねします。

それぞれ、該当する番号を1つ選び、 をつけてください。季節的な要因を除いてご回答ください。

今期（平成20年10月～12月期）の実績

来期（平成21年1月～3月期）の見通し

設問5-1 事業所の業況（業況の良し悪し）

今期の実績	1. 良い	2. 普通	3. 悪い
-------	-------	-------	-------

来期の見通し	1. 良い	2. 普通	3. 悪い
--------	-------	-------	-------

設問 6 貴事業所の業況の変化について、おたずねします。

今期(平成20年10月～12月期)の実績 ➡ 前年同期(平成19年10月～12月期)と比べて。

設問 6 - 1 事業所の業況(業況の変化)

該当する番号を1つ選び、をつけてください。

今期の実績	1. 好転した	2. 変化なし	3. 悪化した
-------	---------	---------	---------

< 設問 6 - 1 で、「1.好転した」とお答えの方へ。 >

設問 6 - 2 好転の要因

好転の要因と考えられる事項を、下の欄にご記入ください。

「好転」 の要因	例.) 昨年より気温が高めで、夏物の動き出しが早く、売上が増加した。

< 設問 6 - 1 で、「3.悪化した」とお答えの方へ。 >

設問 6 - 3 悪化の要因

悪化の要因と考えられる事項を、下の欄にご記入ください。

「悪化」 の要因	例.) 原材料の値上がり分を、価格に上乗せできず、収益が減少した。

設問 7 貴事業所の経営上の課題について、おたずねします。

設問 7 - 1 経営上の課題

該当する番号を3つまで選び、をつけてください。

1. 合理化・省力化不足	2. 設備・店舗等の老朽化又は狭い	3. 原材料・仕入製(商)品高
4. 設備過剰	5. 売上・受注の停滞、不振	6. 資金繰り・金融難
7. 求人・人材難	8. 人件費高騰	9. 在庫過大
10. 販売価格の値下げ	11. 競争の激化	12. 生産・販売能力の不足
13. 諸経費の増加	14. 立地条件の悪化	15. その他()
16. 特になし		

最後に、本市の産業政策に関するご意見・ご要望等がございましたら、以下にご記入ください。

ご協力、誠にありがとうございました。

お問い合わせ先

仙台市 経済局 産業政策部 経済企画課
 電話: 022-214-8275 FAX: 022-267-6292 E-mail: kei008010@city.sendai.jp

(5) 調査票の変更について

第38回(平成20年6月調査)より、調査内容を見直した。主な変更点は以下の通りである。

事業所の業況判断DIについて

季節性を除去するため、前期比での業況の変化を問うていた従来の設問「事業所の景気」から、業況の水準を問う設問「事業所の業況(業況の良し悪し)」に変更した。本報告書における「業況判断DI」とは、この「事業所の業況(業況の良し悪し)」のDIを指す。

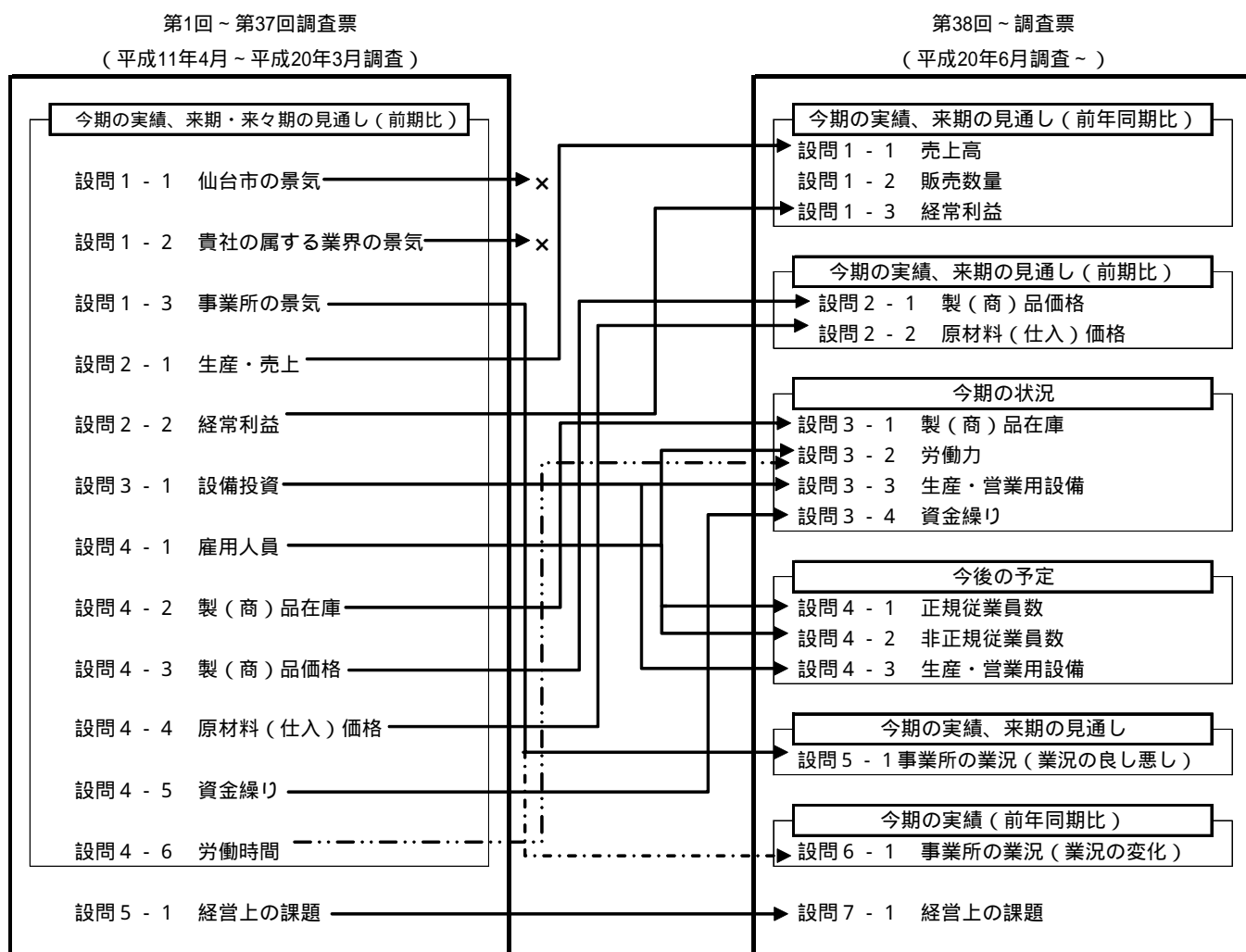
なお、事業所の業況の変化については、「事業所の業況(業況の変化)」として、前年同期比で変化を問う設問として設置した。

前年同期比の設問の導入

季節性を除去するため、売上高DI、販売数量DI、経常利益DI、事業所の業況(業況の変化)DIについて、比較対象を前年同期とした。

設問順の変更について

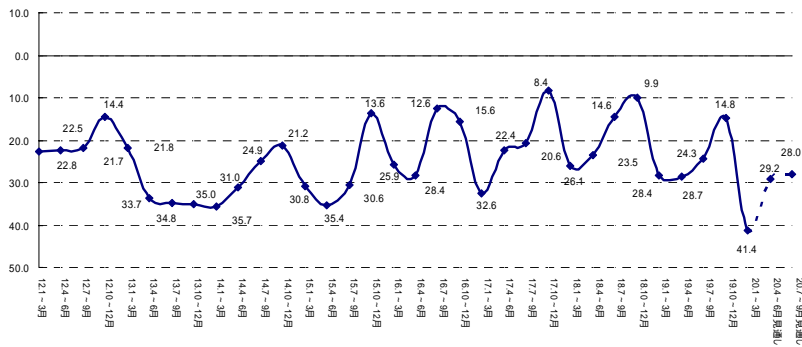
回答者が事業所の経営状況を確認しながら、業況判断を行うことができるよう、設問順を下記の通り変更した。



(6) 過去の調査結果

仙台市企業経営動向調査結果総括

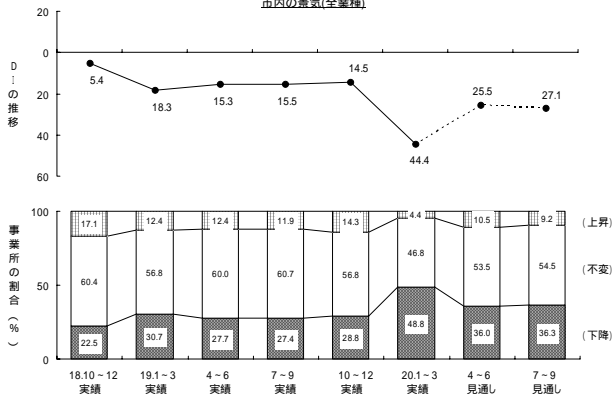
業況判断(事業所の景気)D1の推移



企業経営動向調査結果の概要(全業種)

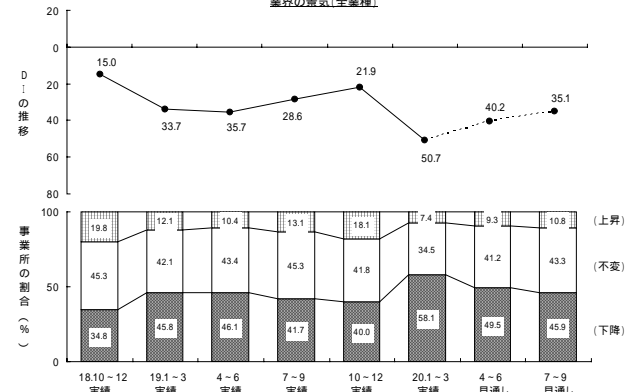
市内の景気

市内の景気(全業種)



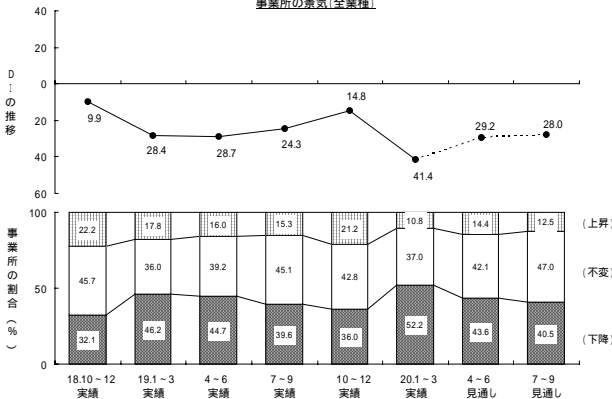
自社の属する業界の景気

業界の景気(全業種)



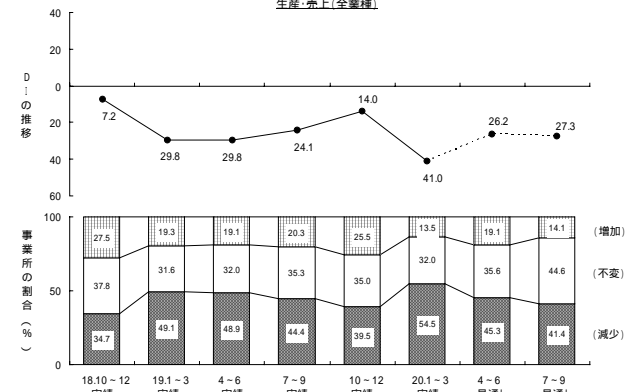
自社(事業所)の景気

事業所の景気(全業種)



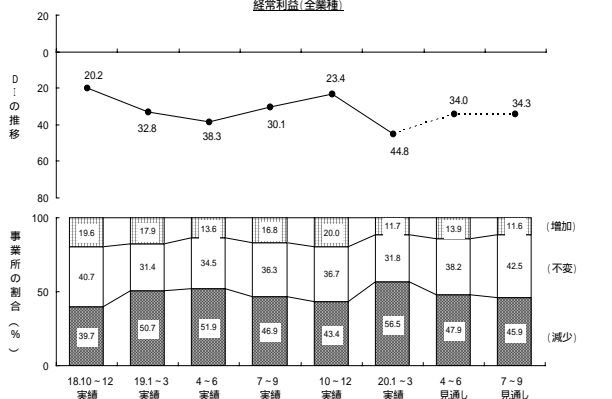
生産・売上げ

生産・売上(全業種)



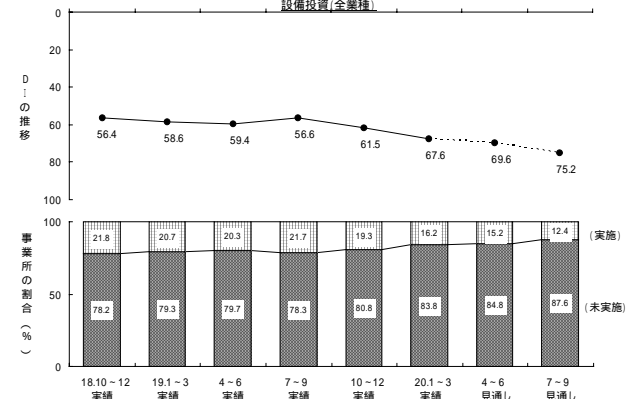
経常利益

経常利益(全業種)

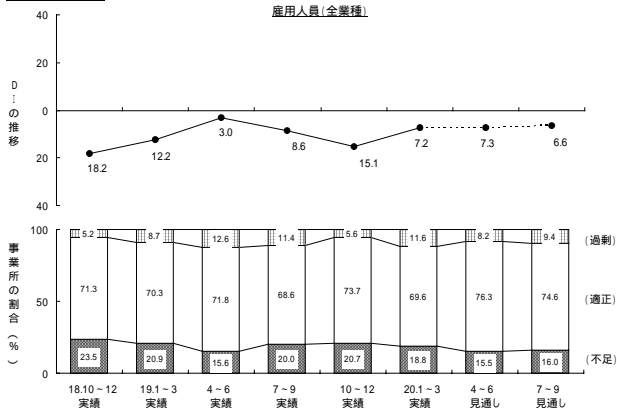


設備投資

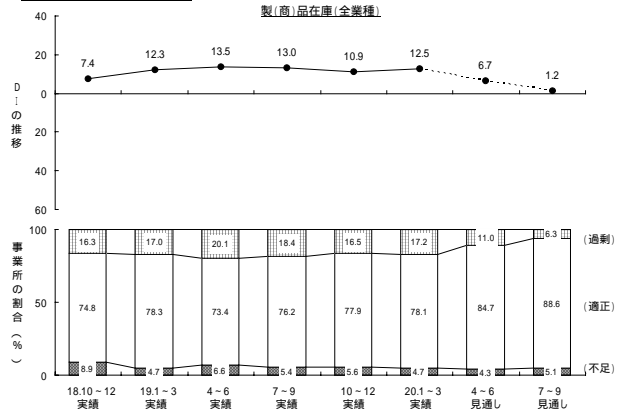
設備投資(全業種)



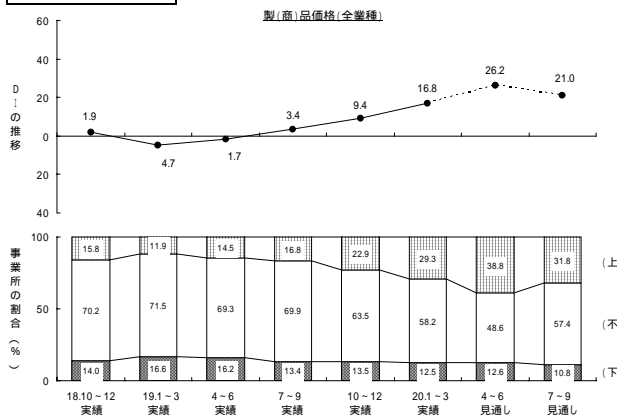
雇用人員



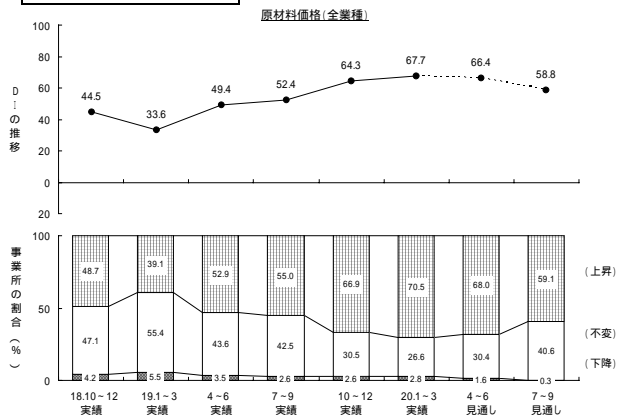
製(商)品在庫



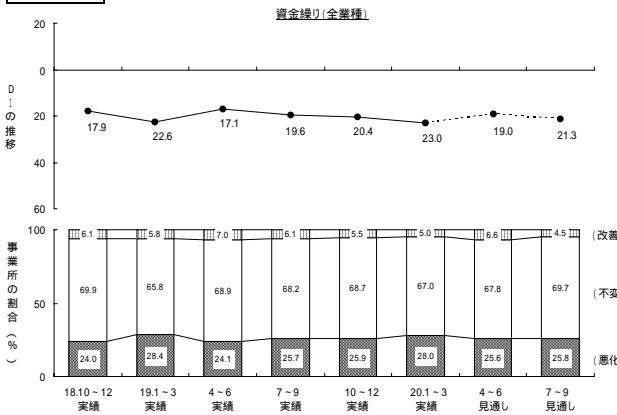
製(商)品価格



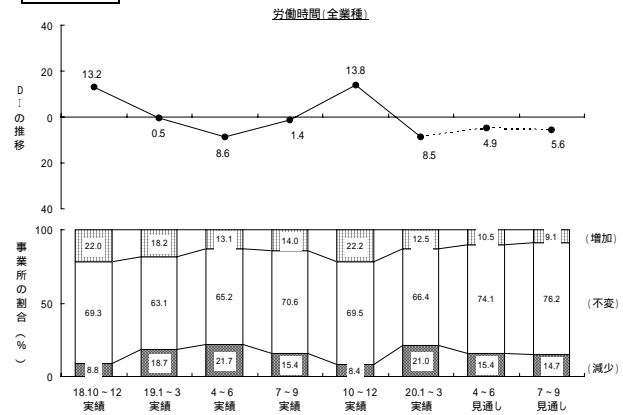
原材料(仕入)価格



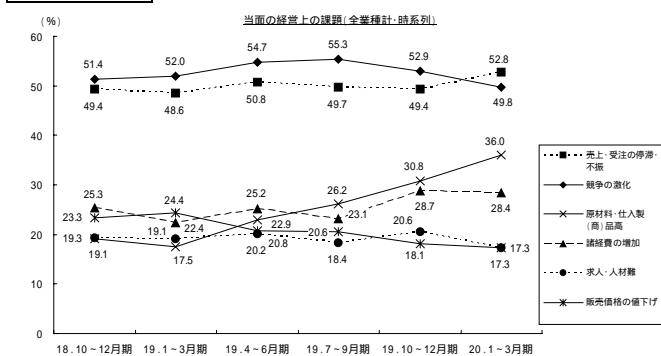
資金繰り



労働時間



経営上の課題



D I 一覧表 (全業種)

		(第3 平成 2回 18年 10月 12月 期)	(第3 平成 3回 19年 1月 3月 期)	(第3 平成 4回 19年 4月 6月 期)	(第3 平成 5回 19年 9月 7月 期)	(第3 平成 6回 19年 10月 12月 期)	(第3 平成 7回 20年 1月 3月 期)
設問1-1 仙台市内の景気	今期の実績	5.4	18.3	15.3	15.5	14.5	44.4
	来期の見通し	21.1	5.7	0.5	6.1	31.7	25.5
	来々期の見通し	4.2	2.3	0.4	20.7	19.4	27.1
設問1-2 貴社の属する業界の景気	今期の実績	15.0	33.7	35.7	28.6	21.9	50.7
	来期の見通し	31.6	23.1	20.1	15.7	39.4	40.2
	来々期の見通し	23.6	20.4	13.2	32.3	32.2	35.1
設問1-3 事業所の景気	今期の実績	9.9	28.4	28.7	24.3	14.8	41.4
	来期の見通し	27.8	18.7	15.5	8.3	33.5	29.2
	来々期の見通し	17.5	16.0	8.5	27.8	23.3	28.0
設問2-1 生産・売上	今期の実績	7.2	29.8	29.8	24.1	14.0	41.0
	来期の見通し	30.3	17.7	11.6	5.3	30.1	26.2
	来々期の見通し	16.6	14.3	8.5	29.3	23.7	27.3
設問2-2 経常利益	今期の実績	20.2	32.8	38.3	30.1	23.4	44.8
	来期の見通し	36.9	24.1	23.4	17.5	34.8	34.0
	来々期の見通し	27.2	22.7	15.2	31.5	31.2	34.3
設問3-1 設備投資	今期の実績	56.4	58.6	59.4	56.6	61.5	67.6
	来期の見通し	63.4	60.8	67.4	56.8	66.8	69.6
	来々期の見通し	70.2	68.6	65.4	62.8	65.4	75.2
設問4-1 雇用人員	今期の実績	18.2	12.2	3.0	8.6	15.1	7.2
	来期の見通し	11.4	9.5	9.7	17.0	10.8	7.3
	来々期の見通し	9.9	10.7	15.8	10.1	6.5	6.6
設問4-2 製(商)品在庫	今期の実績	7.4	12.3	13.5	13.0	10.9	12.5
	来期の見通し	5.5	8.3	6.2	7.6	4.1	6.7
	来々期の見通し	4.5	3.3	3.3	4.7	3.8	1.2
設問4-3 製(商)品価格	今期の実績	1.9	4.7	1.7	3.4	9.4	16.8
	来期の見通し	0.9	0.3	1.1	13.5	13.9	26.2
	来々期の見通し	0.5	3.7	5.1	5.2	9.8	21.0
設問4-4 原材料(仕入)価格	今期の実績	44.5	33.6	49.4	52.4	64.3	67.7
	来期の見通し	33.2	32.3	45.1	51.4	56.3	66.4
	来々期の見通し	31.2	28.1	43.8	43.5	49.7	58.8
設問4-5 資金繰り	今期の実績	17.9	22.6	17.1	19.6	20.4	23.0
	来期の見通し	20.3	18.6	18.5	17.2	19.5	19.0
	来々期の見通し	17.4	16.5	13.3	22.1	18.2	21.3
設問4-6 労働時間	今期の実績	13.2	0.5	8.6	1.4	13.8	8.5
	来期の見通し	1.9	3.6	1.1	5.8	3.5	4.9
	来々期の見通し	0.2	2.0	7.4	7.2	5.5	5.6

過去の報告書については、仙台市経済局ホームページ上で公開している。

URL <http://www.city.sendai.jp/keizai/kikaku/index.html>

発行

仙台市経済局産業政策部経済企画課

〒980-8671 仙台市青葉区国分町3 - 7 - 1

電話 022-214-8275

FAX 022-267-6292

E-mail kei008010@city.sendai.jp

URL <http://www.city.sendai.jp/keizai/kikaku/>